

枚方市立図書館

第3次グランドビジョン

平成28年3月

枚方市教育委員会

目次

第1章	はじめに	2
(1)	第3次グランドビジョン策定の背景と趣旨	2
(2)	計画の期間	4
(3)	第3次グランドビジョンの策定体制	4
第2章	市立図書館をとりまく状況	5
(1)	市立図書館をとりまく社会的な状況	5
(2)	市立図書館の現状	6
第3章	市立図書館の成果と課題	13
(1)	第2次グランドビジョンの成果と課題	13
(2)	第2次グランドビジョン策定以降明らかとなった課題を含む市立図書館の課題一覧	17
第4章	市立図書館運営の基本的な考え方	19
(1)	これからの市立図書館運営を考える際の背景	19
(2)	これからの市立図書館運営の基本的な考え方	20
第5章	市立図書館の運営方針	23
(運営方針①)	基礎的な図書館サービスを充実します	24
(運営方針②)	家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します	25
(運営方針③)	教育的役割を重視した取り組みを推進します	25
(運営方針④)	魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します	26
第6章	運営方針の具体化とその推進	28
(1)	運営方針の具体化	28
(2)	第3次グランドビジョンの進捗状況の管理と評価	34
[別紙]	第3次グランドビジョンの検討組織と検討経過	41

第1章 はじめに

(1) 第3次グランドビジョン策定の背景と趣旨

少子高齢化、グローバル化の進展、地域社会・家族の変容など激しく変化する社会状況の中で、文部科学省は、第2期教育振興基本計画を策定し、教育行政の4つの基本的方向性(注1)、8つの成果目標(注2)、30の基本施策(注3)を定め、図書館を含む社会教育行政については、社会教育推進体制の強化を基本施策として打ち出し、その具体化のための方向性として、地域の様々な主体との連携・協働による地域課題解決への支援を行うことをあげています。

枚方市教育委員会(以下「教育委員会」という)では、国の考え方等も踏まえながら、「人とふれあい、ともに学び、豊かな心を育む」という本市の教育全体を包含する教育目標を定め、枚方市立図書館(以下「市立図書館」という)については「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービスの充実」を基本目標と定めて、図書館運営を行ってきました。

そして現在、本市では、これからの教育行政の方向性を含む、行政全体の今後の施策を大きく方向付ける、第5次枚方市総合計画の策定作業を進めており、市立図書館に関する施策も今後方向付けを行う予定です。

このような状況の中で、市立図書館は、平成23年度から平成27年度までの図書館サービスの方向性を示した「枚方市立図書館第2次グランドビジョン」(以下「第2次グランドビジョン」という)に基づき、図書館運営を行い、枚方市社会教育委員会(以下「社会教育委員会」という)において毎年度その進捗状況と評価について報告を行うとともに、意見をいただいて、その後の図書館運営に活かしてきました。

また、このたび第2次グランドビジョンの計画期間の終期を迎えたことを踏まえて、教育委員会は、第2次グランドビジョンの総括を行い、その成果と課題を明らかにするとともに、社会教育委員会において、その総括に係る意見をいただきました。

第2次グランドビジョンに基づき図書館運営を行っていた間も、社会は急激な変化を続け、市民が適応を迫られている新たな課題が次々に出現しており、図書館は、その有するノウハウを活かして、市民の課題解決に向けた支援を今まで以上に進めることが現在求められています。

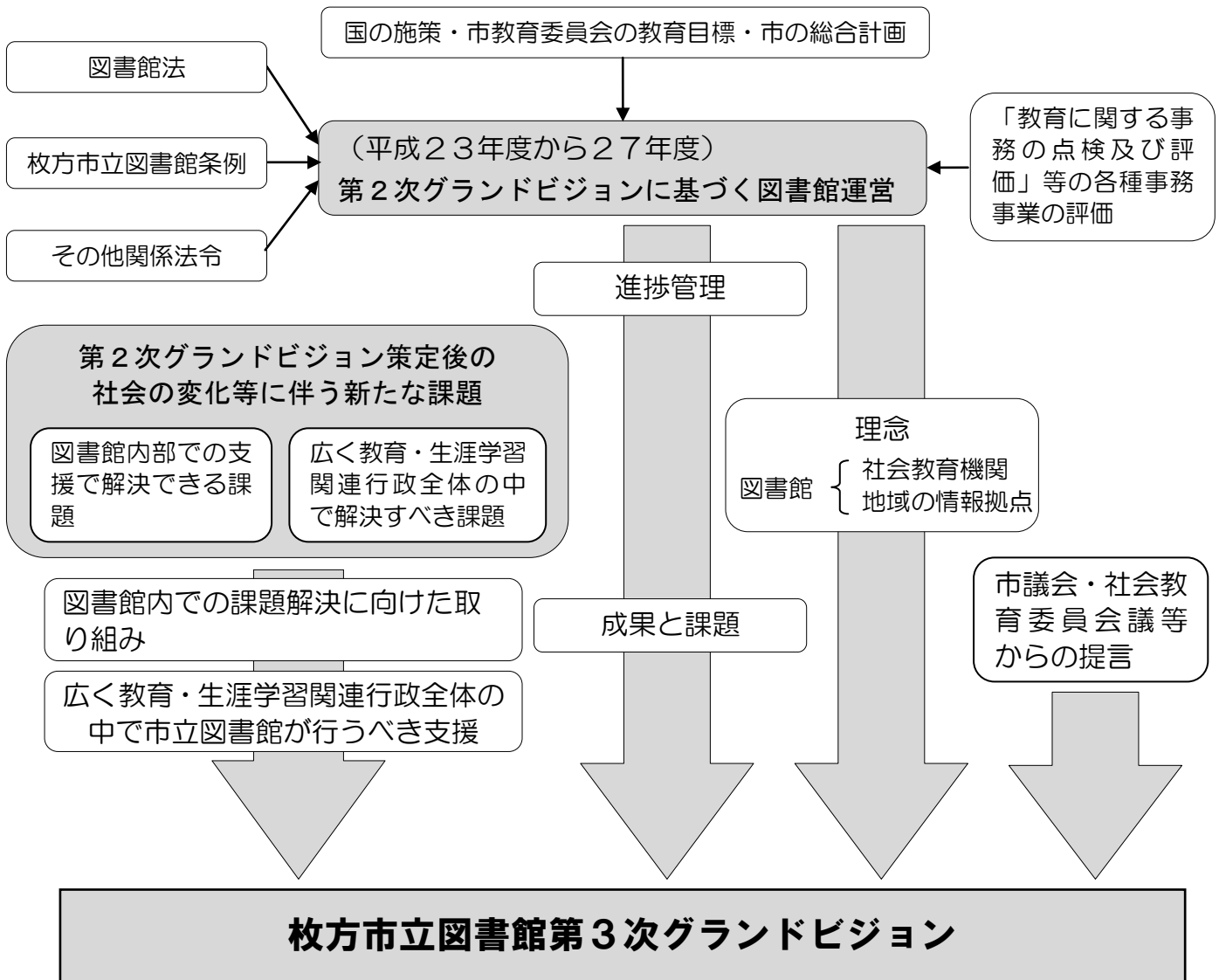
また、市民の課題解決を支援するためには、図書館による支援だけでは不十分で、図書館がその教育的役割を踏まえ、教育委員会、市長部局と連携した取り組みを進めることが必要です。

変化の激しい社会において、魅力的かつ効果的・効率的な図書館運営を安定的に行っていくためには、終期を迎えた第2次グランドビジョンに続く、平成28年度以降の図書館運営・サービスを方向付ける新たなビジョンの存在が不可欠です。

そこで、第2次グランドビジョンの成果と課題とともに、第2次グランドビジョンで長期的な位置づけを行った市立図書館の理念(市立図書館は社会教育機関と地域の情報拠点の2側面を持つ)や第2次グランドビジョン策定以降明らかとなった、社会の変化等に伴う市立図書館の新たな課題、市議会からいただいた、今後の市立図書館の運営に係る提言、社会教育委員会からの意見、さらに市民意見等も踏まえながら、平成28年度以降の図書館運営の方向性を示す枚方市立図書館第3次グランドビジョン(以下「第3次グランドビジョン」という)を策定しました。

今後市立図書館は、図書館内での基礎的なサービス提供や課題解決支援の取り組みを進めるとともに、図書館が有するノウハウや教育的役割を踏まえ、他部署が進める教育・生涯学習関連事業の支援を行うなど、広く教育・生涯学習関連行政全体の中で、市立図書館が担うべき役割を果たしていきます。

(参考) 第3次グランドビジョン策定の趣旨 (概要図)



(注1) 教育行政の4つの基本的方向性・・・①社会を生き抜く力の養成、②未来への飛躍を実現する人材の養成、③学びのセーフティネットの構築、④絆(きずな)づくりと活力あるコミュニティの形成

(注2) 8つの成果目標・・・

(方向性①「社会を生き抜く力の養成」の成果目標)

(1)生きる力の確実な育成(幼稚園～高校)、(2)課題探求能力の習得(大学～)、(3)自立・協働・創造に向けた力の習得(生涯全体)、(4)社会的・職業的自立に向けた力の育成

(方向性②「未来への飛躍を実現する人材の養成」の成果目標)

(5)新たな価値を創造する人材の育成

(方向性③「学びのセーフティネットの構築」の成果目標)

(6)意欲ある全ての者への学習機会の確保、(7)安全・安心な教育研究環境の確保

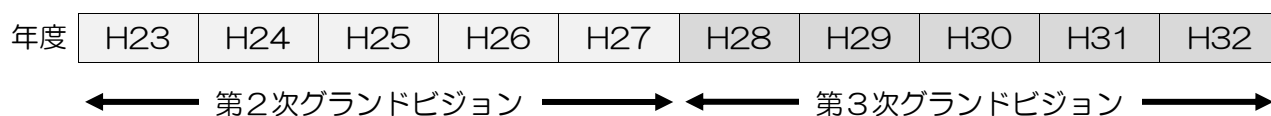
(方向性④「絆(きずな)づくりと活力あるコミュニティの形成」の成果目標)

(8)互助・共助による活力あるコミュニティの形成

(注3) 30の基本施策・・・それぞれの成果目標のもとに計30の基本施策を設定し、社会教育関連施策は、成果目標(1)～(8)にまたがる「施策30 社会教育推進体制の強化」を設定している。

(2) 計画の期間

第3次グランドビジョンの計画期間については、変化の激しい社会の中で、ビジョンで示した市立図書館の運営・サービスの方向性が、市立図書館をめぐる状況の変化と乖離し、時代状況に合わなくなるようなことがないよう、第2次グランドビジョンの計画期間と同じ5年間の中期的な計画とします。



(3) 第3次グランドビジョンの策定体制

①枚方市社会教育委員会議による審議

第3次グランドビジョンの策定にあたっては、社会教育、家庭教育、学校教育に係る学識経験者や市内各種団体の代表者等で構成される社会教育委員会議に対し諮問を行い、幅広い観点から議論していただき、「枚方市立図書館第3次グランドビジョン(案)」として答申いただきました。

②パブリックコメントの実施（「枚方市立図書館第3次グランドビジョン（教育委員会素案）」）

a. 実施期間

平成27年12月4日(金)から12月24日(木)まで(21日間)

b. 実施方法

(1) 意見募集箱の設置による意見募集

[意見募集箱設置場所]

* 各図書館施設 19 施設

* 本庁舎別館受付及び3支所

(2) 市ホームページでの意見募集

(3) F A X 等による意見募集

以上のほか、市立図書館各施設には、常時ご意見箱を設置しており、そこでいただいた市立図書館運営に関するご意見や、館内で実施した行事等の参加者に対するアンケート結果、平成27年8月に実施した「枚方市立図書館利用者アンケート」及び「図書館の魅力アップに関するアンケート」のアンケート結果等も第3次グランドビジョンの策定にあたり参考としました。

第2章 市立図書館をとりまく状況

(1) 市立図書館をとりまく社会的な状況

①我が国全体をとりまく社会的状況

我が国は現在、少子・高齢化、人口減少、知識基盤社会(新しい知識や情報・技術などが経済のみならず、社会のあらゆる領域における活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会)の進展状況の中での我が国の国際的な存在感の低下、雇用環境の変容による若年者の失業率・非正規雇用の割合の増加、地域社会・家族の変容に伴う人々の孤立化、環境問題、エネルギー問題等の世界規模での課題に対処するための、持続可能な社会の構築に向けた取り組みの必要性の高まりなど、さまざまな課題を抱えており、これは本市においても例外ではありません。

これらの状況は、生産年齢人口の減少、地域経済の規模の縮小、税収の減少、社会保障費の拡大、地域社会等のつながりの希薄化や支え合いによるセーフティネット機能の低下等を引き起こし、ひいては今まで培われてきた文化・規範の次世代への継承が困難となるおそれや、これらの状況と相まって、格差の再生産・固定化により、社会の活力低下や不安定化につながる事が指摘されています。

また、環境問題、エネルギー問題などの地球的規模の課題については、すべての生命の維持に危機的な状況をもたらしていることから、地球環境保全の観点での取り組みが求められています。

本市においては持続可能な社会の構築に向けて、現在これらの課題に全市を挙げて取り組んでおり、今後さらに取り組みを進めるべき課題となっています。

②全国の図書館をめぐる状況

文部科学省が設置した「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が平成18年にまとめた「これからの図書館像 ～地域を支える情報拠点をめざして～(報告)」では、我が国をとりまく社会状況等を踏まえ、これからの図書館サービスに求められる新たな視点として、①図書館活動の意義の理解促進、②レファレンスサービス(注4)の充実と利用促進、③課題解決支援機能の充実をあげ、これからの図書館が目指すべき図書館像として、「役に立つ図書館」をそのキーワードとしてあげています。

同報告書では、住民が日常生活をおくる中で生じる課題の解決のための図書館による支援を重要視し、その支援の中身として、行政支援、学校教育支援、ビジネス(地場産業)支援、子育て支援等をあげ、そのほか、医療・健康、福祉、法務等に関する情報や地域資料など、地域の実情に応じた情報提供サービスの必要性も説いています。

この流れと軌を一にして、静岡市立御幸町図書館のビジネス支援や鳥取県立図書館の行政支援、市川市立図書館の学校図書館支援等、課題解決に向けた支援に積極的に取り組む図書館が目目されるようになり、現在に至っています。

特徴的なサービスを行う図書館も注目されており、コンシェルジュが本を案内する千代田区立千代田図書館や、自宅やお店の玄関先のスペースに本棚を置いてもらって、地域の人々に本を提供することで、人々がつながることを目指す「まちじゅう図書館構想」を打ち出した長野県小布施町の取り組み、施設に図書館機能だけでなく複合機能を持たせ、みんなが集まる「広場」を作り出そうとしているような武蔵野プレイスの取り組み、マスコミで報道され話題となったTSUTAYAを運営するカルチャーコンビニエンスクラブ(CCC)と武雄市が組んで、カフェを併設し、図書・雑誌の販売も行う武雄市図書館など、今までにな

かった図書館が次々に登場しています。

また、図書館サービスに欠かせない資料・情報の収集・提供についても、現代社会においては、インターネット経由の情報検索・収集が主流となっていることを踏まえ、従来の活字やオーディオ・ビジュアル資料を中心としたものから、電子データにも重点を置いた、より多様な形態の資料を収集・提供するハイブリッド型へと移行しつつあり、現在はその過渡期にあります。

市立図書館は、これらの考え方や事例を参考にしながら、枚方市の実情に即した、より魅力的で効果的・効率的な図書館像を提示することを求められています。

(注4)レファレンスサービス・・・図書館利用者が必要な情報・資料などを求めた際に、図書館職員がそれを支援するサービス
(調べもの相談)

③厳しい本市の財政

一方、本市の財政状況に目を向けて見ると、市税収入については、平成27年度以降、平成35年度までの財政見通しでは、ほぼ横ばいの傾向が続くと予想されています。

ただし、歳出については、扶助費の増大や市民ニーズの多様化への対応が必要であるため、収支で見ると財政状況に余裕があるわけではありません。

本市では、財政構造の弾力性の向上、財政運営の堅実性の確保、人口減少を見据えた次世代の負担軽減を基本姿勢として財政運営を行っており、図書館運営においても、厳しい財政状況を踏まえ、経費を増大させることなく、サービス向上を図る基本的な姿勢が求められています。

(2) 市立図書館の現状

市立図書館は、現在、以上のような市立図書館をとりまく状況のもとで運営を行っており、また、その法的な位置づけや歴史、運営状況等は以下のとおりです。

①図書館とは

図書館は、社会教育法により、社会教育のための機関として位置づけられています。

図書館法に示されたその目的は、収集した資料の提供を通じて、教養・調査研究・レクリエーション等に資することであり、さらにそのサービス提供において、一般公衆の希望に応え、また学校教育を支援し、家庭教育の向上に資するために以下のようなサービス提供を行うよう努めることとされています。

(図書館サービスの中身)

- * 資料・情報の収集・保存・提供
- * 資料・情報等に関する知識・経験を有する職員によるレファレンス
- * 図書館の設置
- * 自動車文庫の巡回
- * 各種行事等の開催および開催の援助
- * 人々が社会教育・生涯学習により学んだ成果を活かす機会の提供
- * 学校ほか関連機関との連携・協力

②市立図書館の歴史

本市における図書館活動は、昭和27年の大阪府立枚方ブックステーションの設置にはじまり、枚方市が運営する図書館施設については、昭和40年の枚方市図書センターの設置にはじまります。

この枚方市図書センターは、集会施設等を備えた枚方市市民会館3階に設置されました。現在、市内6ヶ所に、生涯学習施設と図書館の複合施設が設置されていますが、市立図書館のはじまりが、複合施設内への設置であったことは、本市の図書館の特徴を表すよい例です。

その後、昭和48年の枚方市立図書館条例の施行により、枚方市図書センターが枚方市立図書館となり、その後は以下のような歴史をたどり、現在に至っています。

～昭和48年3月

- *大阪府立枚方ブックステーション (S27)
- *枚方市図書センター (S40)
- *活発な家庭文庫・地域文庫活動 (17文庫 [S47])

昭和48年～56年

図書館条例に基づく

枚方市立図書館のはじまり

→分室と自動車文庫を中心として、図書館サービスを普及

- *枚方市立図書館条例施行 (S48)
- *枚方市立図書館開設 (S48) [その後名称が「枚方図書館」に]
- *自動車文庫運行開始 (S48)
- *あいつぐ分室の開室
- *香里ヶ丘図書館開館 (S49)
- *自動車文庫ステーション53ヶ所に (S56)

昭和57年～平成2年

分館整備期

→地域のサービス拠点の整備

- *あいつぐ図書館(分館)の開館
 - ・楠葉 (S57) ・菅原 (S58/H9 移転) ・山田 (S60)
 - ・蹠跽 (S61) ・御殿山 (S62) ・牧野 (S63) ・津田 (H2)
- *3分室開室

平成3年～平成16年

サービス拡充期

→ハードの整備が一段落し、ソフトを充実

- *分館建設が一段落しサービス拡充期へ
- *貸出冊数が増大 (228万冊[H3]から324万冊[H16])
- *市民病院の小児病棟への自動車文庫によるサービス開始 (H3)
- *聴覚障害者にマンガの貸出を開始 (H7)
- *各図書館にコンピュータシステム導入 (H9～)

平成17年4月～

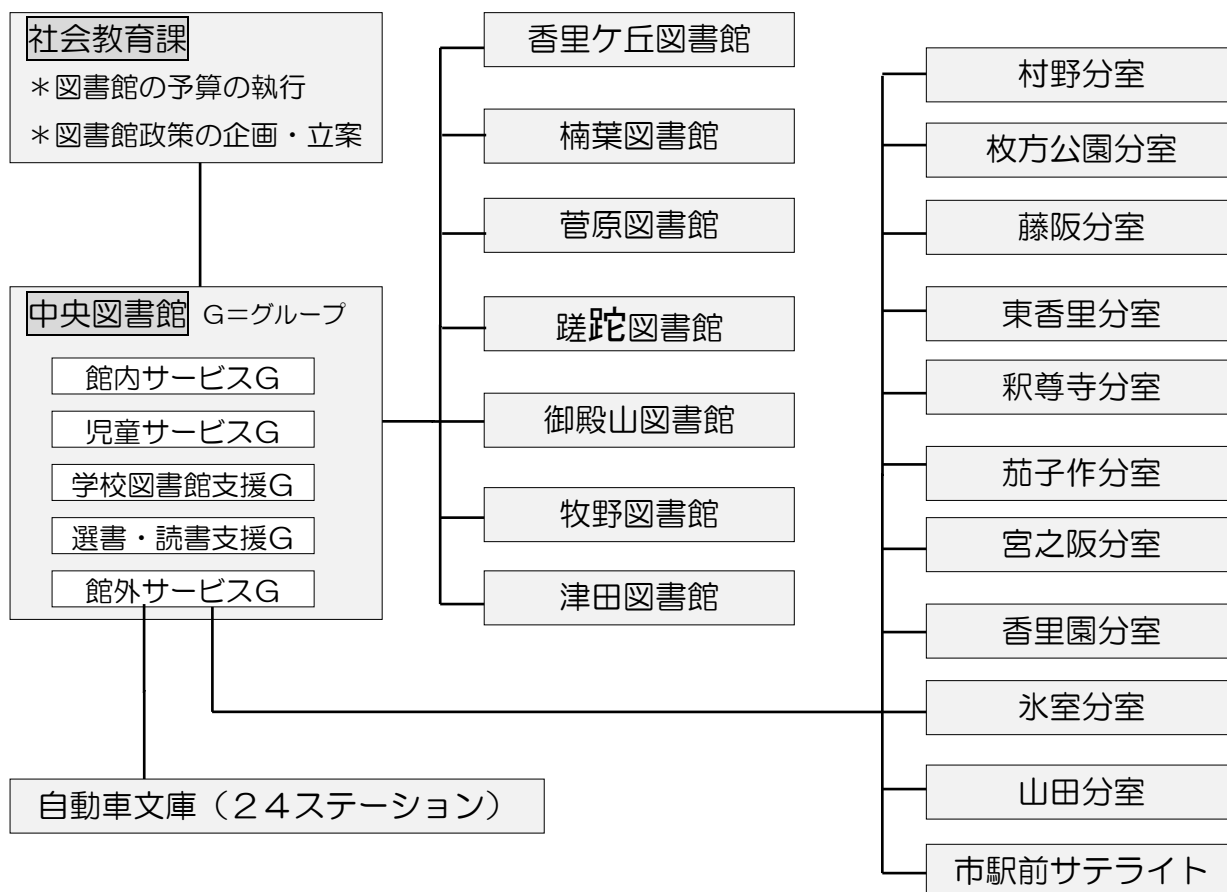
中央図書館開設

→中央図書館をネットワークの要とした全館一体となったサービスを展開

- *全館のネットワークの要としての中央図書館開館 (H17)
- *市駅前サテライト開室 (H18)
- *政令指定都市と特別区を除き、貸出冊数日本一になる (H20・H21)
- *インターネット予約システム導入 (H21)

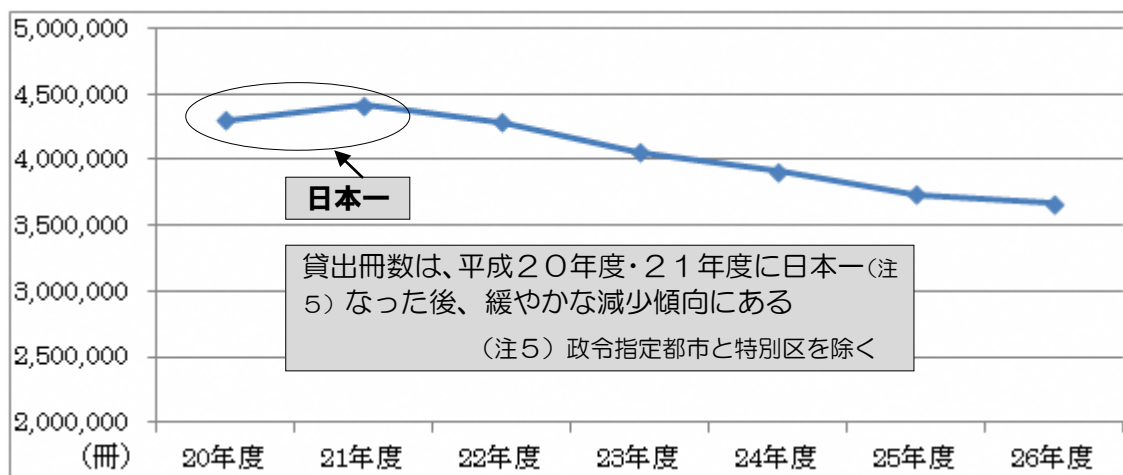
③施設等の状況

市立図書館は、現在、中央図書館、7分館（うち香里ヶ丘図書館を除く6分館が生涯学習施設との併設）、11分室の固定施設を設置し、固定施設を利用しにくい地域には自動車文庫（1台）の24のステーションを設置して運営しています。

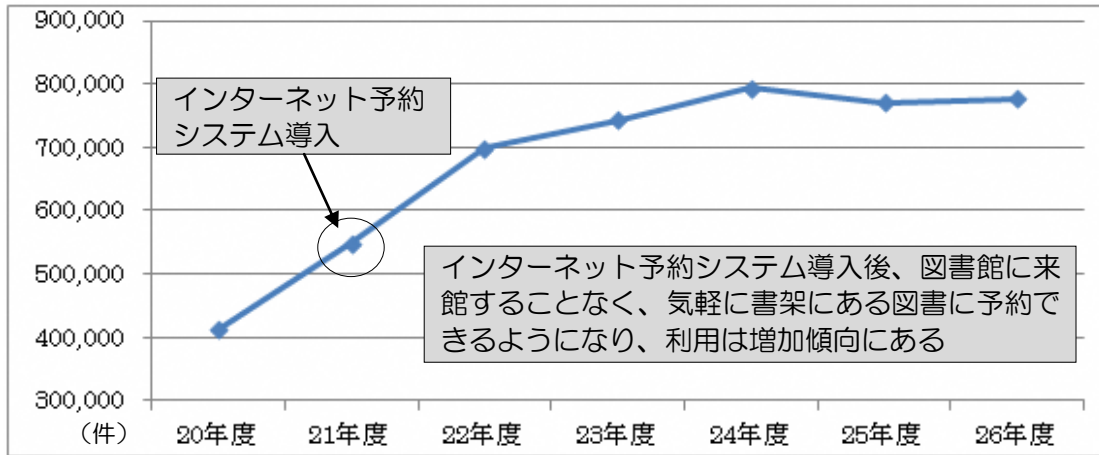


④図書館のサービス状況の推移

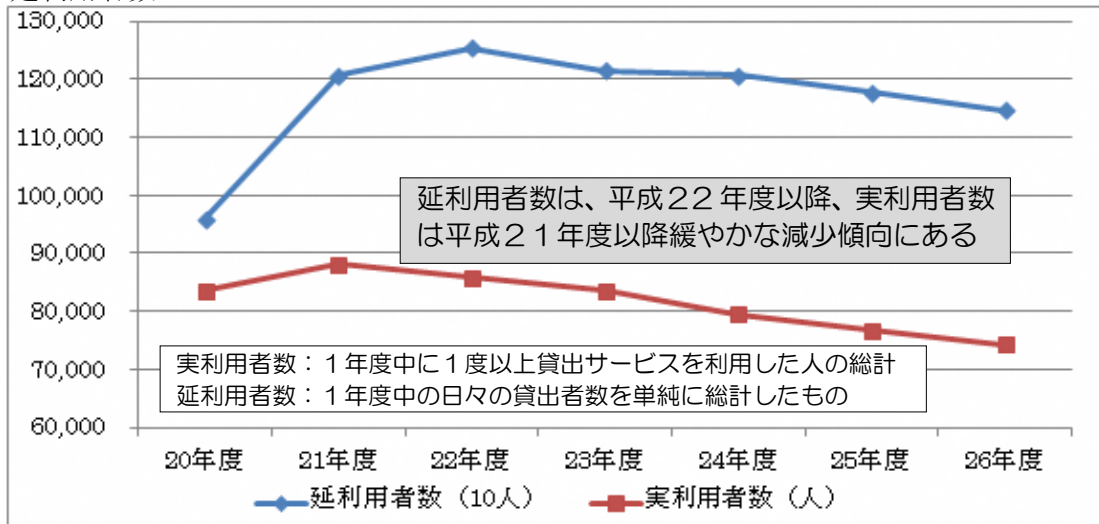
a. 貸出冊数



b. 予約件数



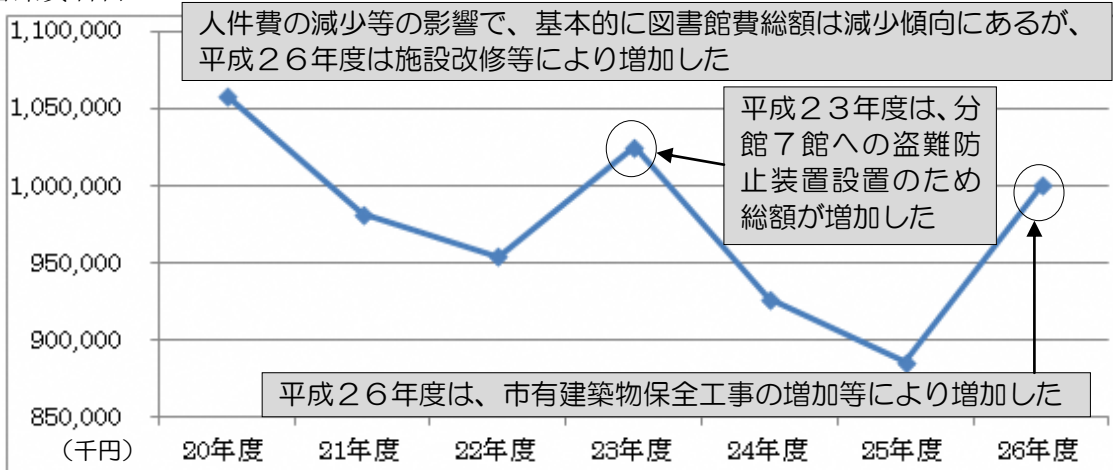
c. 実・延利用者数



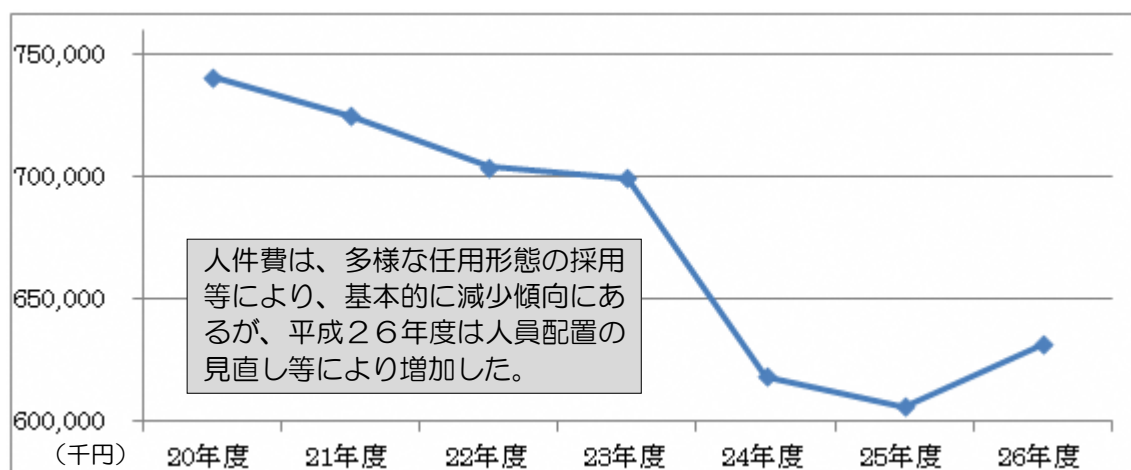
サービス状況全体としては、予約が伸びている一方で、貸出冊数・利用者数ともに緩やかな減少傾向にあり、利用者ニーズを踏まえた蔵書の分析を行い、今後の資料収集に役立てます。

⑤ 図書館運営経費の推移

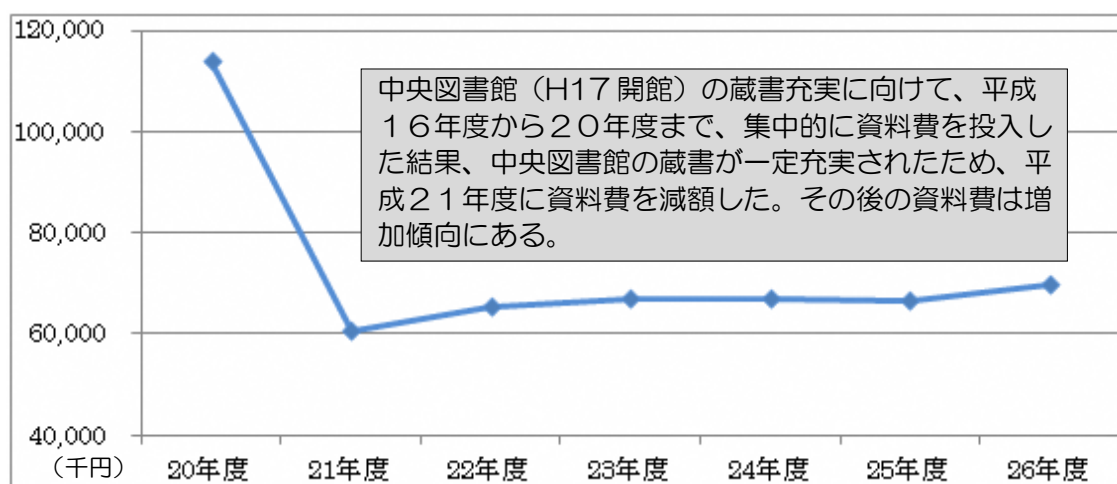
a. 図書館費合計



b. 人件費



c. 資料費(図書、雑誌、オーディオ・ビジュアル資料等の購入経費)



⑥市立図書館の特色

a. 市域を網羅する図書館サービス網

市立図書館では、多くの図書館施設と自動車文庫のサービスステーションによって、市域全体に図書館サービスの網をかけ、市民の身近な場所での図書館サービスを実現(これを「全域サービス」と言います)しており、これは市立図書館の特徴の一つです。

全域サービスを行うことによって、子ども・障害者・高齢者を含む市民誰もが、普段の暮らしの中で読書に親しむことができるようになるだけでなく、市民の読書習慣の維持・向上に役立てることができます。

また、平成26年度からは、有料宅配サービスを開始し、図書館の開館日や開館時間帯等に関わりなく、図書館サービスが利用できるようになり、より市民に身近な図書館サービスを提供できるようになりました。

b. 充実した障害者サービス

市立図書館では、音訳・点訳協力者の協力を得て、視覚障害者等のための対面読書、録音・点字資料の貸出と製作を行っています。また、聴覚障害者等を対象とした、字幕付き映像資料の貸出と製作、聴覚障害者を含むすべての市民を対象にした、さまざまな本を紹介するバリアフリーブックトーク(注6)やバリアフリーおはなし会(注7)などを実施しています。

公共図書館において、対面読書を実施したり、録音・点字図書、字幕付き映像資料等の貸出を実施している図書館は、他の自治体でも見られますが、自ら録音図書や字幕付き映像資料を製作して貸し出したり、手話を交えたブックトークやおはなし会を実施している枚方市立図書館は、数多くの公共図書館の中でも稀有な事例であり、本市の特徴的な図書館サービスと言えます。

また、音訳協力者については、市民公募を行い、養成講座を必要に応じて実施することで、スキルアップに努めていただいております。常に質の高いサービスを提供できる体制が整っています。

(注6)バリアフリーブックトーク・・・テーマを立てて、主に子どもを聞き手として何冊かの本を紹介するブックトークを手話を交えて行うもの

(注7)バリアフリーおはなし会・・・手話を交えて行うおはなし会

c. 多様な子ども読書活動の推進

子ども読書活動の推進は、第2次グランドビジョンにおいて、市立図書館の特徴の1つとして位置付けているものです。

日常的に職員や養成講座を受講したボランティアによるおはなし会を実施しているほか、子どもを対象としたさまざまな行事の開催、学校との連携事業として、調べ学習コンクールや朗読大会、学校に出向いてのおはなし会等を実施しています。

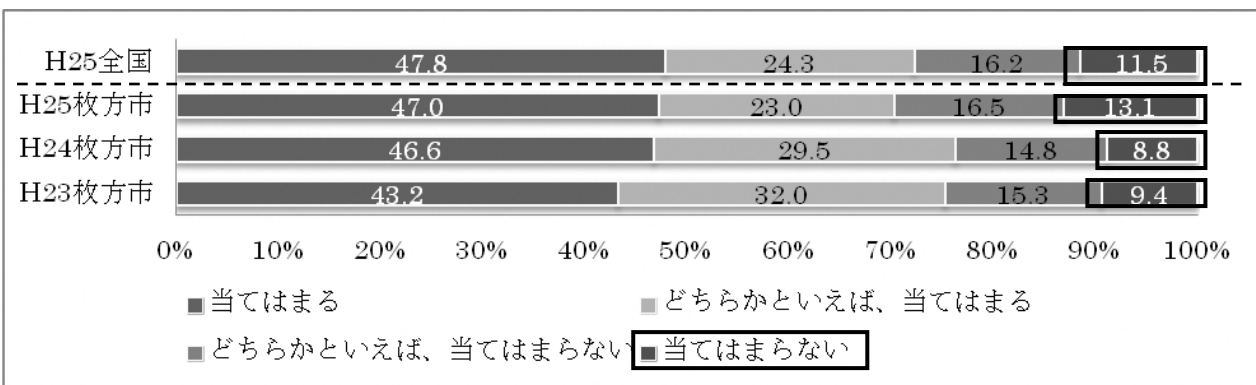
さらに平成26年度からは、市立中学校3校に学校司書各1人を派遣し、図書館運営に係る専門的なアドバイスや学校図書館の整備、学校図書館を活用した授業への協力、生徒や教員が求める資料の収集と貸出など、学校と協力しながら、子どもの読書環境の充実に努めています。

また、同じく平成26年度から、市立図書館と学校を直接結び、団体貸出図書を配送する学校巡回便も運行(試行)しており、近年は、学校との連携・協力による、これからの枚方市やひいては我が国を担っていく子どもの読書環境の充実に特に力点を置いています。

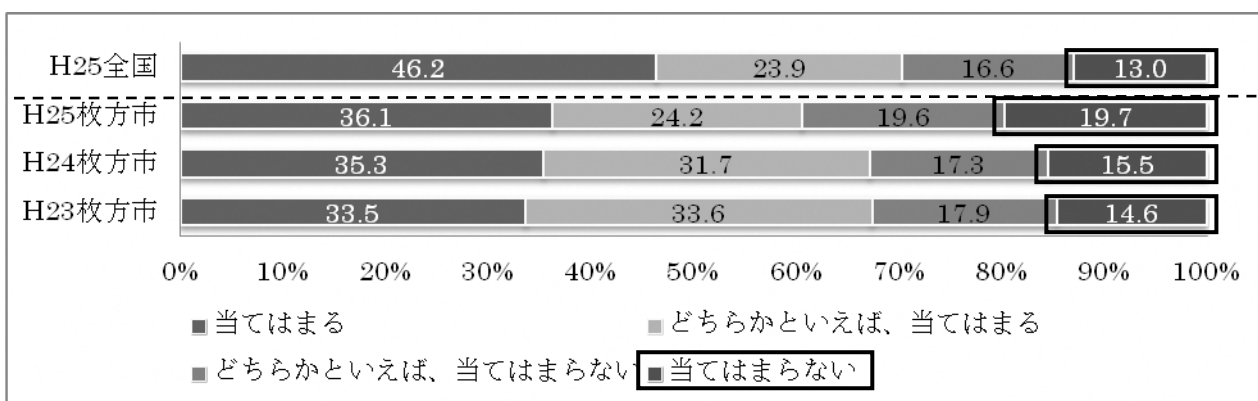
(参考)本市の児童・生徒の読書に対する意識と読書時間(平成25年度 全国学力・学習状況調査より)

1. 読書好き比較

(1) 小学生(読書が好きですか?)

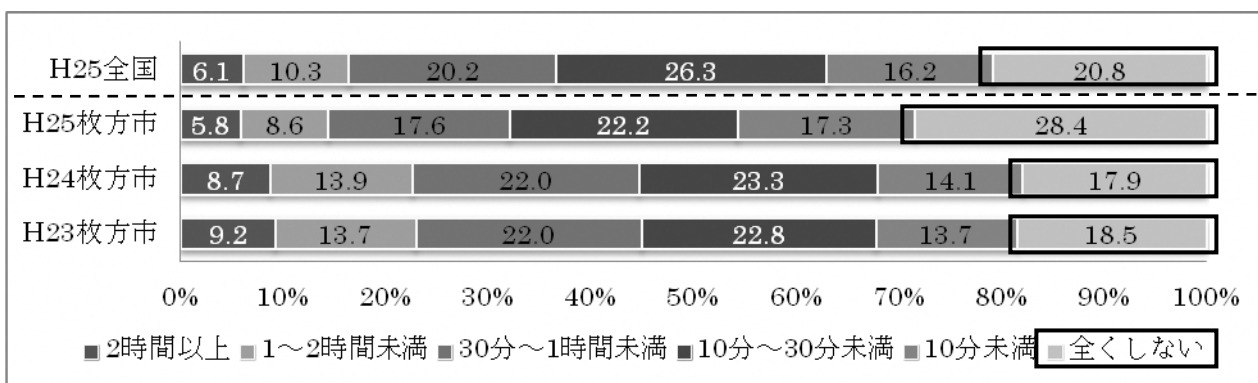


(2) 中学生（読書が好きですか？）

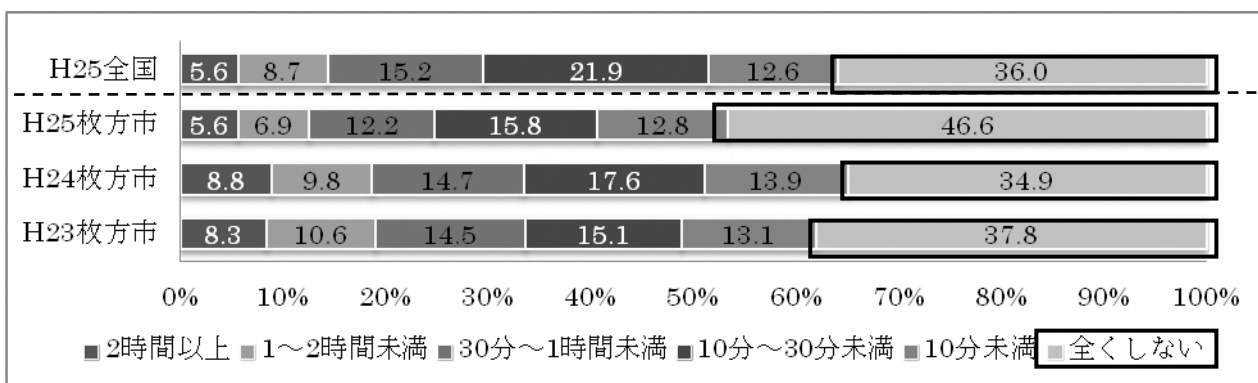


2. 平日1日あたりの読書時間比較

(1) 小学生（平日1日あたりどのくらい読書をしますか？）



(2) 中学生（平日1日あたりどのくらい読書をしますか？）



本市の小・中学生は、全国平均と比較して、読書嫌い・読書をしない子どもの比率が高く、それも小学生よりも中学生が高く、さらに平成25年度は特に高くなっています。

読書と子どもの読解力の関係は、国際比較調査でも明らかになっており、知識基盤社会と言われる現代において、読書好きの子どもを増やし、子どもの頃から読書習慣を身につけさせることは、本市においても喫緊の課題となっています。

第3章 市立図書館の成果と課題

(1) 第2次グランドビジョンの成果と課題

①第2次グランドビジョン策定の趣旨

第2次グランドビジョンは、中央図書館設置を見据えて、その後の市立図書館運営の方向性を示した枚方市立図書館グランドビジョン(第1次)の成果と課題と、第1次のグランドビジョン策定以降現れてきた新たな課題や本市の財政状況等を踏まえ、市立図書館の「あるべき姿」の実現に向けた図書館運営・サービスの方向性を示したものです。

②市立図書館のあるべき姿(理念)

第2次グランドビジョンでは、市立図書館のあるべき姿として、次の二つの理念を定めました。

市立図書館のあるべき姿(理念)

- 図書館は、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てる社会教育機関である。
- 図書館は、市民のニーズに応じて資料や情報を提供する地域の情報拠点である。

この理念は、図書館には、知の源泉となる図書館資料を提供して、市民の読書を推進し、生涯学習を支援する社会教育機関としての役割と、社会が高度に情報化する中で、豊富で確かな情報を集め、提供し、市民の生活や仕事に役立つ地域の情報拠点としての役割があり、これらをバランスよく総合的に発展させることが大切との立場で定めたものです。

それまで市民ニーズに応えることで、市民サービスを向上し、市民にとっての市立図書館の価値を高めてきたことに加え、あらためて図書館が社会教育機関であることを明らかにすることによって、市民ニーズを大切にしながらも、図書館本来の役割である教養や調査研究等に役立てることに配慮した図書館運営を行うことで、さらに市立図書館の価値を高めようと定めたもので、この理念は第3次グランドビジョンにも通底する理念です。

③市立図書館の運営基本方針

第2次グランドビジョンでは、新たに定めた市立図書館のあるべき姿を実現するため、次の五つの運営基本方針を定めました。

市立図書館の運営基本方針

- (1) 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします。
- (2) 図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします。
- (3) 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします。
- (4) だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします。
- (5) 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします。

第2次グランドビジョンでは、これらの運営基本方針それぞれに、方針を具体化するサービスと、そのサービス展開の方向を定め、市立図書館では、その展開方向に沿ったさまざまなサービスを実施してきまし

た。

また、市立図書館の特徴づくりとして、子ども読書活動の推進とともに、郷土・行政資料の枠を超えて、「枚方」をキーワードとしたさまざまな分野の資料を収集する「枚方地域コレクション」の構築にも力を注いできました。

なお、第2次グランドビジョンについては、その成果と課題について毎年度評価を行い、社会教育委員会からの意見と合わせて、広く市民に公開するとともに、その後の図書館運営に活かしてきました。

④第2次グランドビジョンの主要な成果と課題

市立図書館では、第2次グランドビジョンに基づき図書館運営・サービスを行ってきましたが、その主要な成果と課題は以下のとおりです(注8)。

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>1. 市民の生涯学習を支援する図書館をめざします</p>	<p>「図書館利用者層の拡大」については、年齢層を意識した事業や、きめ細かな情報提供を実施したが、少子化の影響やライフスタイルの変化もあり、全国的に図書館利用が減少傾向にある中で、目標である実利用者率 25%を達成することができなかった。</p> <p>「子ども読書活動の推進(学校図書館等との連携)」については、子ども向けのさまざまな事業実施や中高生向けの読書環境の整備、中央図書館のこどものフロアの開館時間帯の延長、学校との連携事業の実施、学校図書館への学校司書の派遣や学校巡回便の運行(試行)の開始、読み聞かせボランティアの育成など、子ども読書活動の推進に係る事業や環境整備を積極的に行った。</p> <p>「成人サービスの充実」については、一般教養中心の蔵書・資料構成から、課題解決にも役立つ蔵書・資料構成に改め、図書・雑誌、オーディオ・ビジュアル資料、商用オンラインデータベースなど、幅広い資料の収集・提供を行った。また、図書館における文化活動として、読書会やロビーコンサート、障害者理解を促進するバリアフリー映画上映会等を実施し、その実施回数を増加させた。</p> <p>「高齢者サービスの充実」については、大活字図書の収集に努めるとともに、高齢者の関心の高い医療・介護関連の情報収集に努めた。</p> <p>(総括) 取り組み全体として、市民の生涯学習支援の役割を概ね果たすことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の増加 ・市立全中学校へのさらなる学校司書の派遣をはじめとした、学校との連携・協力の強化 ・情報活用能力(情報リテラシー)の育成やビジネス支援など、市民の課題解決に役立つ知識や情報のさらなる提供 ・より良く生きるために必要な資料のさらなる収集と高齢者の生涯学習に資する事業の継続

(注8) 第2次グランドビジョンの主要な成果と課題・・・本成果と課題は、平成27年7月に教育委員会が行った第2次グランドビジョンの総括と第33期枚方市社会教育委員会が提出した意見書の内容をまとめたもの。

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>2. 図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします</p>	<p>「図書館資料の充実」については、枚方市立図書館蔵書計画を策定し、市民ニーズを反映した蔵書と学問体系を意識した知識・教養を高める蔵書のバランスを重視した蔵書構成を目指して、図書やオーディオ・ビジュアル資料の充実に努め、また、定期的に図書の入れ替え等を行い、魅力ある書架の維持・向上に努めた。</p> <p>「枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス」については、コレクションの充実、書誌データの整理を行うとともに、郷土・行政資料等の電子化にも取り組み、資料の検索・提供環境の整備を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の選書能力の向上と、状況に応じた蔵書計画の改訂、選書方法の改善 ・さらなる枚方地域コレクションの充実、郷土・行政資料等の電子化
<p>(総括) 計画的・系統的な図書館資料の収集と保存体制が確立できた</p>		
<p>3. 市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします</p>	<p>「インターネット予約システムの充実やリクエストサービスの推進」については、インターネット予約システムソフトの更新を行い、「カート方式」と「セット予約方式」を導入し、システム利用における利便性を向上させた。また、リクエストについては、自治体間の相互貸借を基本に、毎年度70万冊以上のリクエスト対応を行った。</p> <p>「レファレンスサービス(調べもの相談)等の充実」については、レファレンスサービスの周知に努め、求めに応じて必要な資料・情報の検索・提供を行うとともに、読書相談等にも応じ、市民の課題解決に向けた支援を行った。また、問い合わせの多い内容について、その調べ方に係る案内(パスファインダー)を作成し、窓口やホームページで情報提供を行うなど、レファレンス事例の公開に努めた。</p> <p>「情報通信機器を活用したサービスの充実」については、商用オンラインデータベースやインターネットにアクセスできる端末の提供に努め、その利用が増加した。また、電子書籍の導入に向けた調査研究を行い、現時点での導入は時期尚早であると判断した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予約・リクエスト図書の提供体制と蔵書の充実 ・職員が持つ専門的な知識・技術を活かしたレファレンスサービスの充実 ・商用オンラインデータベースやインターネット端末のさらなる充実 ・電子書籍の導入に向けた積極的な情報収集
<p>(総括) 市民のニーズに応え、役に立つ図書館運営を行うことができた。</p>		

運営基本方針	成果	今後の課題
<p>4. だれもが使いやすい、市民とともに歩む図書館をめざします</p>	<p>「障害者・高齢者サービスの充実」については、大活字図書収集、録音・点字図書・字幕付き映像資料の製作・収集など資料の充実を図り、その提供を行うとともに、対面読書や録音図書の製作に従事する音訳協力者の育成を行い、障害者・高齢者に対するサービス環境の整備に努めた。また、バリアフリー行事や宅配サービスを行い、障害者を含めたより多くの市民の読書環境を充実した。</p> <p>「図書館活動への市民参加と市民意見の反映」については、中央図書館で毎年度100人程度の市民に対しボランティアの機会を提供し、市民の生涯学習に資するとともに、図書館サービスの充実を図った。また、社会教育委員会議や利用者アンケート、窓口へのご意見箱の設置等により、専門家や市民意見の収集に努め、図書館活動に反映した。</p> <p>「図書館の施設・設備の改修・改善」については、本市の市有建築物保全計画に基づき、施設の改修を行った。また、老朽化が進行する香里ヶ丘図書館の耐震診断を行うとともに、香里ヶ丘図書館の建替えを視野に必要な検討を行った。</p> <p>(総括) 誰もが使いやすい図書館の構築が進展した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先進的な障害者サービスの継続とその先進性の発信 ・ボランティアの各グループのスキルの向上と、さらなる市民意見の収集・分析に基づく市民意見が反映される図書館運営 ・市有建築物保全計画に基づく施設改修の継続と香里ヶ丘図書館の建替え
<p>5. 効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします</p>	<p>「効率的効果的な運営体制の構築」については、多様な任用形態の採用による適材適所の職員配置を行い、より効率的な運営体制を確立した。自動車文庫は、路上ステーションの見直しを進めた。また、中央図書館を司令塔とした、中央図書館・分館・分室・自動車文庫の最適な役割分担と効率的効果的な運営体制についての方向性を明らかにした。</p> <p>「職員の資質の向上と人材育成」については、職員を図書館内外の研修に参加させ、資質の向上を行った。</p> <p>「適切な蔵書管理」については、全分館に盗難防止装置(BDS)、複数の分室に防犯ミラーを設置し、蔵書管理体制の充実に努めた。</p> <p>「機械化・情報化などの検討」については、自動貸出機の増設を行った。</p> <p>(総括) 効率的効果的なサービス提供体制が確立できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる効率的効果的な運営体制の構築 ・より高度で専門的な知識・技術を持つ職員の育成と、専門職員が持つノウハウの継承 ・適正な蔵書管理と蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂 ・自動貸出機の費用対効果の検証 ・情報提供環境の整備
<p>(第2次グランドビジョン全体の総括)</p> <p>第2次グランドビジョンについては、全体としてその目的を達した。今後に向けた課題については、第3次グランドビジョンに引き継ぎ、課題の解決に向けた取り組みを進めていく。</p>		

(2) 第2次グランドビジョン策定以降明らかとなった課題を含む市立図書館の課題一覧

現在の市立図書館をめぐる課題については、第2次グランドビジョンの総括(上記「第2次グランドビジョンの主要な成果と課題」)において示した今後の課題とともに、第2次グランドビジョン策定以降、市議会からいただいた今後の図書館運営等に係る各種の提言、市立図書館をとりまく状況の変化等に伴い現れてきた新たな課題など、さまざまな課題がすでに明らかになってきています。

これらの課題は多岐にわたりますが、課題解決に向けた筋道の中に位置づけるために、以下のとおり課題を4つの視点で分類し列挙します。なお、このように課題を分類する理由については、第4章において明らかにします。

①基礎的な図書館サービス(注9)の充実に係る課題

a. 資料・情報収集関係の課題	(1)図書館が収集すべき資料・情報の考え方の明確化(バランス重視の資料・情報収集)
	(2)蔵書計画基本指針等の改訂・選書方法の改善
	(3)市民ニーズに基づく資料・情報収集
	(4)枚方地域コレクションの充実
	(5)商用オンラインデータベースの充実
	(6)電子書籍導入に向けた積極的な情報収集
b. 資料・情報提供関係の課題	(1)求めに応じたレファレンスサービスの充実
	(2)予約・リクエストサービスの充実
	(3)充実した障害者サービスの継続
	(4)各種イベントを通じた読書や図書館への興味・関心を育て、利用を促進する
	(5)宅配サービスの充実
	(6)貸出・返却ポイントのさらなる充実策の検討
c. 資料・情報保存関係の課題	(1)書庫の有効活用策の検討
	(2)新たな書庫スペースの確保に向けた検討
	(3)蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂
d. 図書館という空間の魅力向上	(1)滞在しやすい環境整備(滞在型図書館への移行)
	(2)学習環境整備(滞在型図書館への移行)

(注9) 基礎的な図書館サービス・・・公共図書館として求められる資料・情報の収集・提供・保存、各種イベントの開催等、従来図書館が提供してきたサービス

②家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能の強化に係る課題

a. 課題解決支援関係の課題	(1)情報活用能力の育成
	(2)社会状況を踏まえたレファレンス・レフェラルサービス(注10)の充実
	(3)図書館ホームページを通じた情報提供
b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援関係の課題	(1)図書館主催事業を通じた人と人がつながる機会の提供
	(2)地域活動とタイアップした地域の結びつきの再生への支援
	(3)地域活動に参加する人材を求める人と地域活動を始めたい人の出合いの場の提供

(注10) レフェラルサービス・・・利用者が必要とする情報の情報源となりうる専門家や専門機関・組織等を紹介するサービス

③教育的機能を重視した取り組みに係る課題

a. 子どもの読書習慣の育成関係の課題	(1)読書の楽しさを伝える児童書の充実
	(2)読書への動機付けの推進
	(3)乳幼児期からの読書習慣の育成
	(4)学齢期の読書習慣の育成(学校図書館支援)
b. 子どもの情報活用能力の育成関係の課題	(1)図書館における情報活用能力育成
	(2)学校における情報活用能力育成支援
	(3)学校と連携した情報活用能力育成
c. 推進計画策定の課題	(1)第3次子ども読書活動推進計画の策定
d. 社会で生きていくための知識・技術等の育成関係の課題	(1)成人の読書習慣の維持・向上
	(2)他部署との連携による教育・生涯学習の推進

④魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築に係る課題

a. 各図書館施設の役割分担と連携関係の課題	(1)中央図書館の役割の明確化
	(2)分館の役割の明確化
	(3)分室の役割の明確化
b. 効果的・効率的な図書館運営関係の課題	(1)生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入
	(2)市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討
	(3)寄贈図書のさらなる有効活用
	(4)効率的な資料の購入手法の検討
	(5)市民のニーズを反映した図書館運営
c. 施設の老朽化対策と施設配置等の見直し関係の課題	(1)施設の老朽化対策
	(2)施設配置の見直し
	(3)自動車文庫のあり方の再構築
	(4)交通アクセス改善の可能性の検討
d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承関係の課題	(1)核となる専門的スタッフの計画的な育成
	(2)専門的スタッフの計画的な配置
	(3)定型業務のマニュアル化の推進
e. 図書館サービスの周知関係の課題	(1)積極的な図書館サービスの周知
f. アウトリーチ(*11)の推進関係の課題	(1)地域の子育て活動等とタイアップした地域の人々が求める資料・情報等の提供

(*11) アウトリーチ・・・従来の固定施設や自動車文庫ステーションでの図書館サービスの枠を超えて、自動車文庫車の機動力等を活かすなどして地域での活動やイベント等に出向いて行うサービス

第4章 市立図書館運営の基本的な考え方

(1) これからの市立図書館運営を考える際の背景

①図書館をめぐる状況

第2章で見たように、少子・高齢化、核家族化、人口減少、地域社会のつながりの希薄化、知識基盤社会の進展、地球温暖化等、急激に変化する社会の中で本市の市民は日々の暮らしを営んでいます。そしてこの社会状況の変化は、さまざまな課題を出現させ、市民生活にも影響を与えています。

②社会状況の変化に伴い現れてきた課題解決のための国の取り組み姿勢

このような状況に対する図書館の今後の役割として、国レベルでは、文部科学省が設置した「これからの図書館の在り方検討協力者会議」が、その報告書『これからの図書館像』(平成18年3月)の中で、図書館を「知の源泉である図書館資料を提供して、住民の読書を推進し、基礎学力や知的水準の向上を図るために欠かせない重要な知的基盤であり、ひいては地域の文化や経済社会の発展を支える施設」と位置づけ、社会状況の変化を踏まえ、「課題解決支援機能の充実」を今後の図書館の役割の一つとして重視する姿勢を示しています。

③市立図書館における課題解決に向けた取り組みの必要性

市立図書館においては、第2次グランドビジョンの中で、市立図書館の理念(あるべき姿)として、市立図書館が社会教育機関の側面と地域の情報拠点の側面の2つの側面を持つべきことを明らかにしています。市立図書館は社会教育機関として、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てるため、必要な資料の収集・貸出・保存、レファレンスや障害者サービスといった基礎的なサービスを提供するとともに、変化の著しい社会状況を踏まえ、国の考え方と同様に、今後は個々の市民や市民が暮らす地域社会が抱える、日常生活や職業等における疑問、困難等の課題の解決に向けて、地域の情報拠点としてレファレンス機能を拡充し、積極的な情報提供等を通じた支援を行っていくことが必要であると考えています。

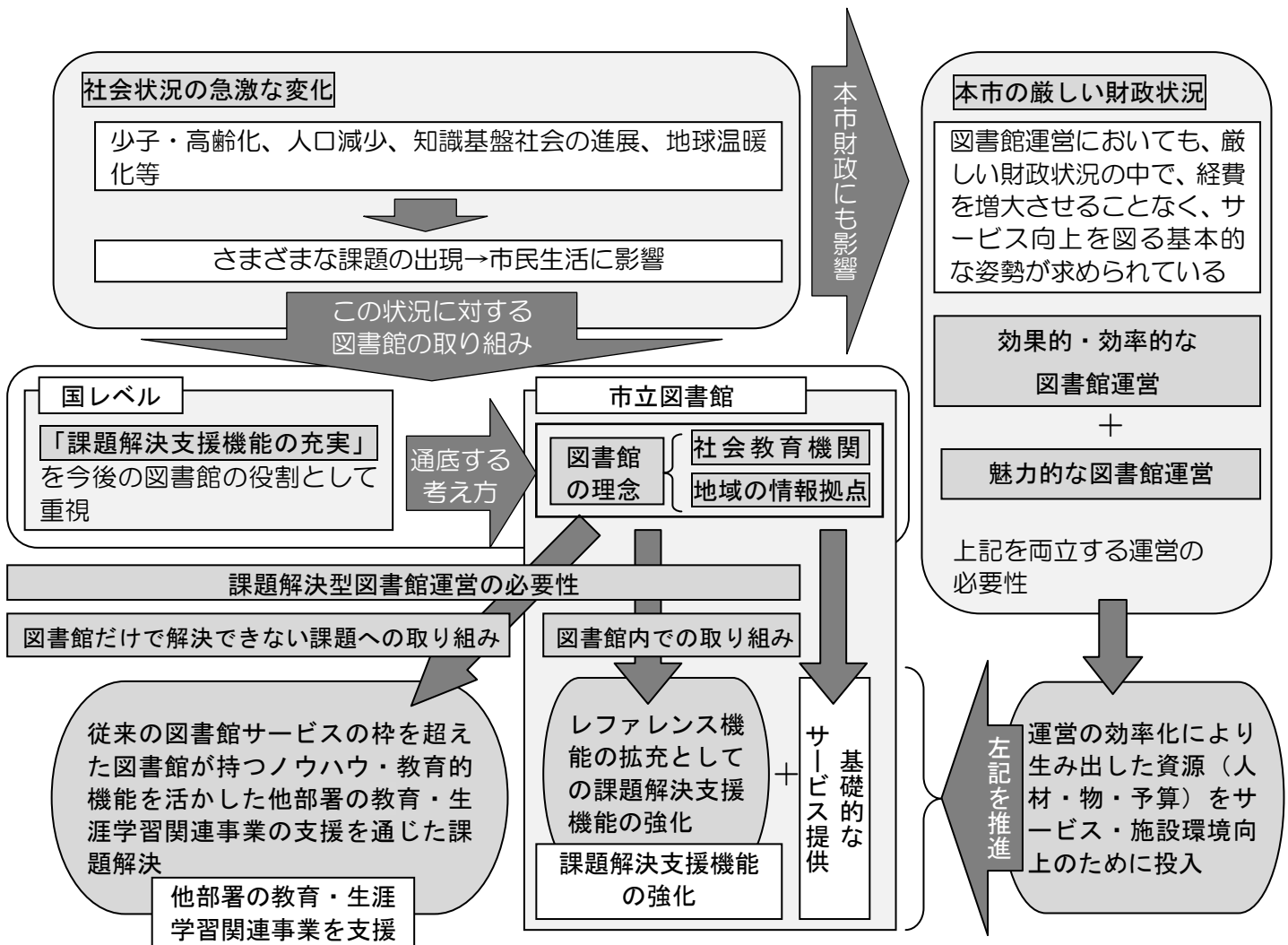
④従来の図書館サービスの枠を超えた他部署が所管する教育・生涯学習関連事業の支援の必要性

個々の市民や地域社会が抱える課題は、図書館だけで解決できるものばかりではなく、教育委員会や市全体で取り組む必要のある課題も少なくありません。そこで市立図書館は、従来図書館内部で完結していた図書館サービスの枠を超えて、社会教育機関としての教育的役割を重視し、今後は図書館が今までに蓄積してきたノウハウや教育的機能を活かして、他部署が所管するさまざまな教育・生涯学習関連事業を支援することで、課題解決に寄与していくことが求められています。

⑤魅力的な図書館の構築のための効果的・効率的な図書館運営の必要性

一方、これら新たな取り組みを進めていくためには、そこに投入する人材・物・予算といった資源が必要となりますが、本市の財政状況は厳しく、今後の図書館運営の基本的な姿勢として、経費を増大させることなくサービスを向上させる姿勢が求められています。そのため市立図書館は、効果的・効率的な運営を行うことにより、自ら資源を生み出し、それを新たなサービスに充てることで、さらに魅力的な図書館運営を行っていく必要があります。

(参考) これからの市立図書館運営を考える際の背景 (概念図)



(2) これからの市立図書館運営の基本的な考え方

①公共図書館としての基礎的な図書館サービスの提供

a. 公共図書館として提供すべき基礎的な図書館サービスの充実

読書は自分の世界を広げ、刺激を与えて自分を変えていくとともに、主体的に物事を考え、自分にとって何が正しいのかを判断する力を養う上でも欠かせない営みです。市立図書館は、社会教育機関として、過去から現在に至る人類の英知を体系的に収集し、現在と後世の市民のために保存して、乳幼児から高齢者に至る幅広い年齢層の市民に対して、その発達段階やニーズに応じて資料を提供することで、市民が学習の主体となって知識・教養を身に付け、主体的に生きるための力の養成に寄与してきました。

市立図書館はまた、身近な地域の情報拠点として、資料提供を通じて市民のレクリエーション等に資するとともに、家庭生活や職業上の疑問や困難を解決するために、さまざまな情報提供を求めに応じて行い、市民の課題解決を支援してきました。

その他市立図書館では、読書や図書館利用への動機付け等のためのさまざまなイベント等を開催す

るとともに、特色ある図書館作りとしての子ども読書活動の推進や、枚方地域コレクション(従来の郷土・行政資料の枠を超えて「枚方」をキーワードにさまざまな形態の資料を対象としたコレクション)の収集・提供・保存等に取り組んできました。

これら市立図書館が公共図書館として提供する基礎的な図書館サービスは、市立図書館の根幹的なサービスであり、時代を経ても変わらないサービスとして、これからもその充実に努めます。

なお、第2次グランドビジョンにおいて明らかにした、図書館が社会教育機関であるとともに地域の情報拠点でもあるというこの理念は、第3次グランドビジョンにおいても通底する基本的な理念として引き継ぎます。

b. 資料と人、人と人をつなぐ滞在型図書館への移行

基礎的なサービスの中の図書館空間を活用したサービス提供の観点からは、少子高齢化の進行によって、自由な時間を有する高齢者が増加し、日常的に長時間図書館を利用する市民も増加している状況や、図書館への自習室設置のニーズが根強い状況等を踏まえる必要があります。また一方で図書館は常に静かであることが求められ、小さな子どもを連れた親子連れにとって図書館は入りづらいという意見を聞くことがあります。

これらの状況や地域社会のつながりが薄れてきている状況も踏まえ、これからの市立図書館は、従来の図書等の貸出を中心とした人と資料をつなぐサービスを行うだけでなく、図書館という空間を活用した、さらに人と人をもつなぐ滞在型図書館への移行を推進していきます。

今後市立図書館では、ワークショップ形式等も取り入れた市民が交流するさまざまなイベント等を実施するとともに、座席数を増加させ、和やかな雰囲気の中で、ゆったりとくつろぎながら読書や調べもの等を行える環境づくりを行い、自習室としての利用を含む静けさを求める利用者のための空間やグループで学習できる空間も別途確保して、市民の居場所を提供するとともに、イベント等を通じた同じ関心を持つ人たちの出会いとグループ活動のきっかけづくりを進めます。

②レファレンス機能の拡充としての課題解決支援機能の強化

これまで市立図書館は、専門的スタッフが有する知識や技術を活かして、市民の求めがあればレファレンスに応じ、市民の課題解決を支援してきました。しかし社会状況が激しく変化、複雑化し、世界的な競争環境の中で暮らす市民が、現在抱え、今後抱えることとなる課題は、増え続けることが予想されます。身近な地域の情報拠点の役割を果たす図書館は、これまでのように市民からの求めに応じてアクションを起こすだけでなく、ベッドタウンの性格の濃い本市に暮らす多くの市民にとって身近なテーマである子育てや医療・健康づくり等の課題については、今後図書館自ら積極的に情報提供環境を整えていきます。また、高度情報化が進行する社会であることを踏まえ、市民の情報活用能力育成に向けた講座等の開催についても積極的に取り組みを進めます。

③教育的役割を重視した他部署の教育・生涯学習関連事業支援の推進

これまで見てきたように、市立図書館は従来本市における公共図書館としての役割とは何かという視点に基づきそのサービス展開の方向性を示してきました。しかし市長部局における教育・生涯学習関連事業も含め、本市における教育・生涯学習関連行政全体の中での図書館が有するノウハウや教育的機能の活用の可能性という視点で図書館の役割を考えた場合、現在重点的に取り組みを進めている学校図

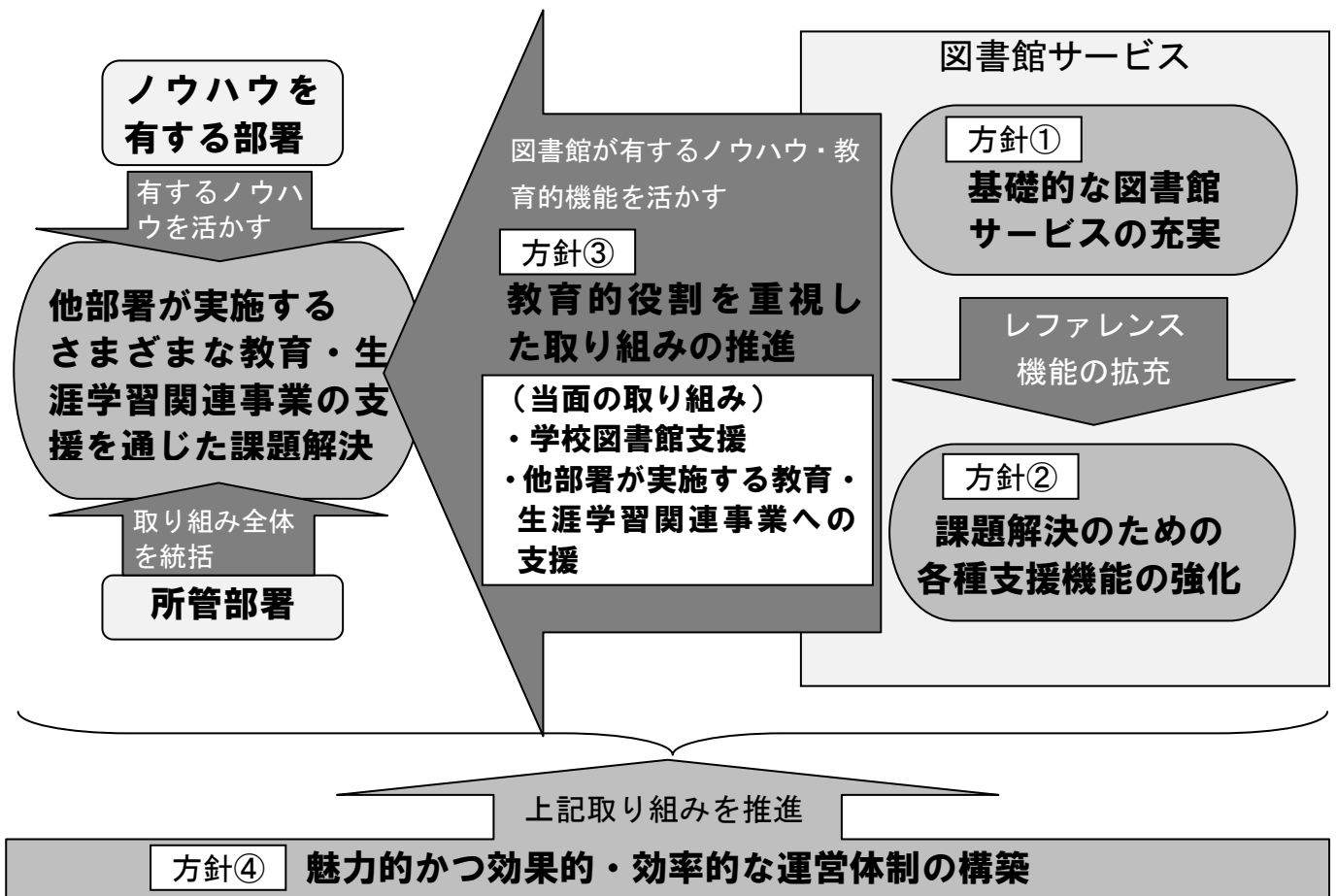
書館を核とした学校における子ども読書活動推進に係る支援だけでなく、その他の教育・生涯学習関連分野で支援が可能な分野はあります。したがってこれからは、市立図書館は何をすところかという考え方とともに、広く教育・生涯学習関連行政全体の中で市立図書館には何ができるかという考え方も踏まえ、他部署が実施するさまざまな課題解決のための教育・生涯学習関連事業の支援にも取り組みます。

④魅力的かつ効果的・効率的な運営体制の構築

財政状況が厳しい中で、以上のような新たな取り組みを進めるため、市立図書館は中央図書館を司令塔とする図書館各施設の最適な役割分担を行い、それに見合った効果的・効率的な管理運営体制を構築することで資源(人材・物・予算)を生み出し、取り組みを推進します。また、コンピュータシステムの更新や質の高い図書館サービスを維持・向上させるための人材の育成・配置等に努めることで、今後さらに図書館の魅力を高めます。

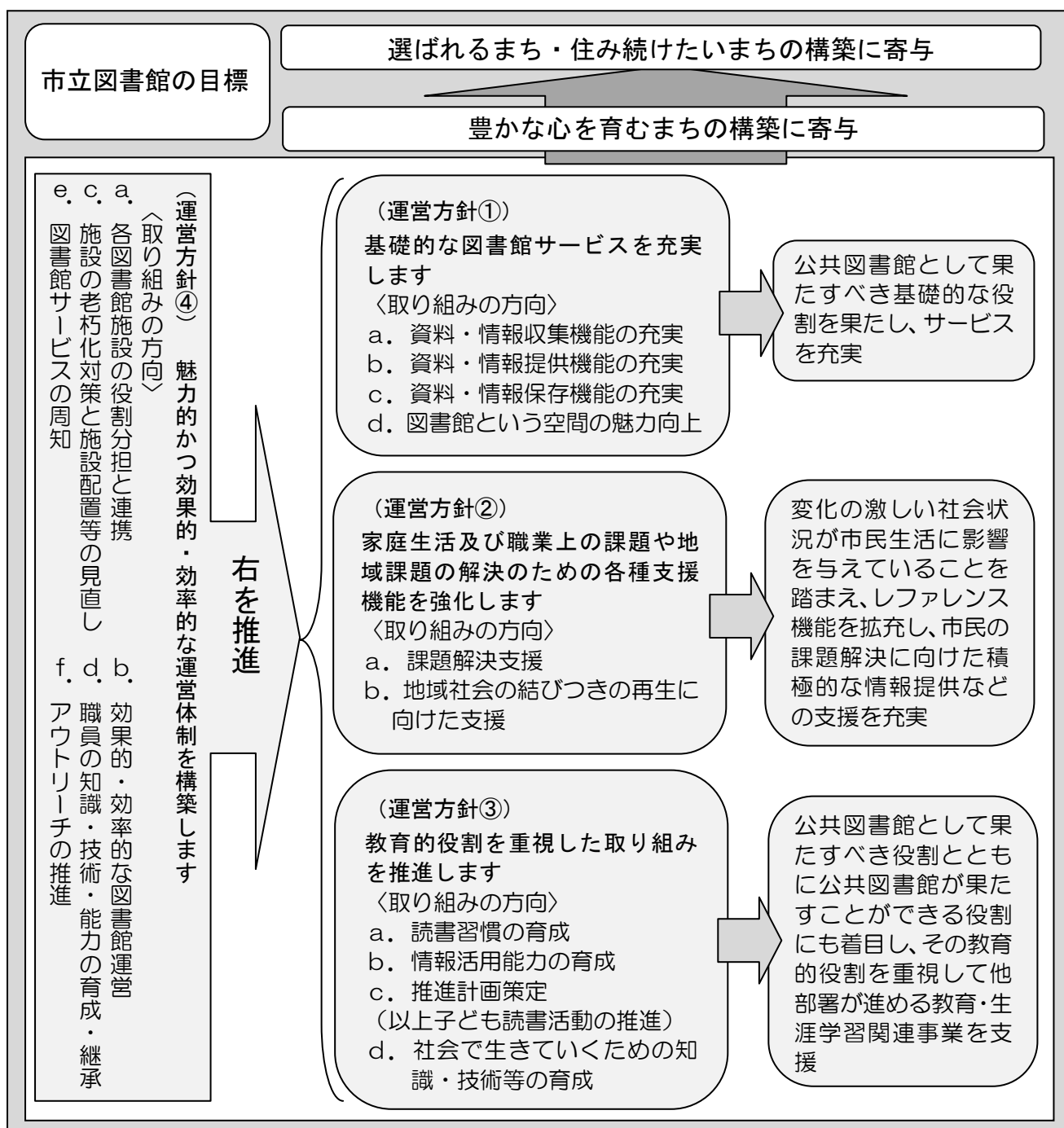
市立図書館では、以上のような取り組みを通して、市民に喜ばれ、市民生活を豊かにする図書館運営を行うことで、ひいては本市の教育の目標である豊かな心を育むまちの実現や人口減少社会の進行を踏まえた、選ばれるまち、住みたいまちの構築に寄与していきます。

(参考) これからの市立図書館運営の基本的な考え方 (概念図)



第5章 市立図書館の運営方針

市立図書館は、資料・情報の収集・提供・保存、各種イベントの開催等、従来の基礎的なサービスの充実に努めながら、家庭生活や職業上のさまざまな課題や地域課題の解決に向けた支援とともに、図書館が有するノウハウや教育的機能を活かした他部署が所管する教育・生涯学習関連事業の支援を通じて、豊かな心を育むまち、人口減少時代における選ばれるまち・住み続けたいまちの構築に寄与することが求められています。市立図書館では、これらのまちの構築に寄与することを市立図書館の目標として、以下の4つの運営方針を定め、また現在の図書館が抱える各種課題の解決に向けた、運営方針と各種課題をつなぐ以下の「取り組みの方向」を定めて、今後5年間の運営を行います。



(運営方針①) 基礎的な図書館サービスを充実します

図書館は「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」(図書館法第2条)で、資料・情報の収集・提供・保存は図書館サービスの根幹を成すサービスです。

読書の営みは、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、知識を習得して、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものです。また変化の激しい現代において、変化に対応していくためには、より正確でより多くの最新の情報にアクセスできる環境が不可欠です。

市立図書館は、社会教育機関であるとともに、地域の情報拠点でもあることを踏まえ、基礎的な図書館サービスである資料・情報の収集・提供・保存機能の充実、各種イベントの開催等に努め、また、今後は図書館という空間を活用した滞在型の魅力的な図書館に移行させます。

〈取り組みの方向〉

a. 資料・情報収集機能の充実

資料・情報の収集にあたっては、市立図書館が進めるバランス重視の蔵書の構築を市民ニーズや社会状況等に配慮しながらさらに進め、枚方地域コレクションの充実に努めるとともに、商用オンラインデータベースや電子書籍など、電子情報のさらなる収集・提供についても検討を進めます。

b. 資料・情報提供機能の充実

資料・情報の提供については、貸出サービスや障害者向けの対面読書だけでなく、図書館の特徴的なサービスであるレファレンスサービス(調べもの相談)の周知に努め、市民のさまざまな疑問の解決に寄与するとともに、さまざまなイベント等を通じて図書館利用を促進し、さらに宅配サービスの利用促進等にも努めます。

このうち、レファレンスサービスについては、市民の疑問の解決に役立つサービスとして従来実施しているサービスでありながら、利用者アンケートによると、利用者の多くは、本の貸出と自分自身で調べものをするために図書館を利用するだけで、レファレンスサービスはその存在すら知らないという利用者が多いことから、今後重点的にサービスの周知に努め、利用促進に向けた取り組みを強化します。

c. 資料・情報保存機能の充実

資料・情報の保存については、図書館資料が増え続ける状況の中で、限られた書庫スペースの有効活用策や新たな書庫スペースの確保に向けた検討、蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂を進めます。

d. 図書館という空間の魅力向上

従来図書館は、開架室に可能な限り多くの図書等を並べることに努め、自宅で読むことを前提とした貸出サービス中心のサービス提供を行い、必要最小限の閲覧用の机や椅子を設置して、調べもののためだけに供してきました。そのため図書館では常に静かであることが求められ、小さな子どもを連れた親子が入りにくいなど、図書館の敷居を自ら上げていた部分があり、より開かれた、誰もが快適に利用しやすい図書館への移行が現在求められています。

今後課題解決型の図書館サービスを推進し、また高齢化の進行により、自由な時間を持つ市民がさらに増加することも踏まえ、今後は貸出サービス中心の運営から、図書館という空間に着目し、和やかな雰囲気の中でゆったりとくつろぎながら読書が楽しめ、また調べものや学習など静かな環境を求める利用者用のスペースも確保した、市民の居場所としての機能も備えた滞在型の図書館に移行させていきます。

この滞在型図書館への移行については、社会状況の変化を踏まえた図書館サービスの大きな方向転換となることから、今後重点的に取り組みを推進します。

(運営方針②)家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

急激に変化する社会の中で、市民はその変化への対応を迫られています。核家族化や地域の結びつきの希薄化が進む中で、子育てに悩む保護者や孤立する高齢者への支援、地域の結びつきの再生等が課題となっており、また高齢化の進行に伴う医療・健康づくりといったテーマや、グローバル経済の進行、高度情報化に伴う職業に必要なスキルの向上等がより多くの市民の関心事となっています。

課題の解決を望む市民にとって、身近な図書館の活用方法を知り、必要な情報にアクセスし、得た情報を活用する知識・技術を身に付ける機会が提供されることは、課題解決に向けた近道を知ることになり、とても有益なことです。

従来市立図書館は、利用者の求めに応じて市民の調べもの相談(レファレンス)に応じ、市民が抱える課題の解決に必要な資料提供を行ってきましたが、急激な社会変化に伴い、市民誰もがその対応を求められている中、今後市立図書館は、求めの有無にかかわらず、多くの市民が関心のある身近なテーマについては、図書館から市民に対して積極的な資料・情報提供等の働きかけを行います。

〈取り組みの方向〉

a. 課題解決支援

個人の課題解決に向けた支援としては、情報活用能力の育成のための各種講座等の開催、子育て、医療・健康づくりといった身近な分野のレファレンスやレフェラルサービス(資料を紹介するのではなく、情報を有する専門家や機関等を紹介するサービス)の充実等に努めます。

この、情報活用能力の育成と身近な分野のレファレンスやレフェラルサービスの充実は、社会の変化への対応のために多くの市民が必要とする知識・技術であるため、今後重点的に取り組みを進めます。

b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援

地域課題である地域社会の結びつきの再生に向けた取り組みとしては、ワークショップ形式等も取り入れた図書館主催事業を通じた人と人が繋がる機会の提供や、専門的なノウハウを持つ地域人材を活用した講座の開催など地域活動とタイアップした地域の結びつきの再生への支援、地域活動に参加する人材を求める人と地域活動を始めたい人の出会いの場の提供等に努めます。

また、図書館でのボランティア活動の機会を提供し、ボランティアが有する知識・技術を活かせるやりがいのある活動に参加いただくとともに、ボランティア同士、ボランティアと利用者がつながる機会を提供し、今後重点的に取り組みを進めます。

(運営方針③) 教育的役割を重視した取り組みを推進します

図書館は社会教育機関であり、広く市民の社会教育・生涯学習を推進する役割を担っています。従来市立図書館は、その持てるノウハウを図書館サービスを利用する市民に対し提供し、市民の知識・教養の向上、課題解決、レクリエーション等に寄与してきましたが、市民が抱える課題については図書館だけで解決できるものばかりではなく、教育委員会や市全体で取り組みを進めるべき課題も少なくありません。

そこで市立図書館は、社会教育機関としての教育的役割を重視し、今後その有するノウハウや教育的機能を活かして、図書館の枠を超えて、他部署が実施する教育・生涯学習関連事業を積極的に支援し、当面は学校図書館支援と他部署が実施する教育・生涯学習関連事業への支援を通じて市民の課題解決に寄与していきます。

〈取り組みの方向〉

- a. 読書習慣の育成（子ども読書活動の推進）
- b. 情報活用能力の育成（子ども読書活動の推進）
- c. 推進計画策定（子ども読書活動の推進）

読書習慣と読解力の間に関係があることは、すでに国際調査においても明らかになっており、読書がより良く生きるために必要な営みであることは言うまでもありません。しかし本市の小中学生の平日の不読率（全く本を読まない比率）は全国平均よりも高く、本市の小中学生の読書習慣の育成は喫緊の課題となっており、学校図書館支援をはじめ今後重点的に取り組みを進めます。また、知識基盤社会を生き抜いていくためには、子どもの情報活用能力の育成も大きな課題であり、第3次子ども読書活動推進計画の策定と合わせて取り組みを推進する必要があります。第3次グランドビジョンでは、これら子ども読書活動推進の取り組み全体を最重点施策として位置づけ、取り組みを進めていきます。

d. 社会で生きていくための知識・技術の育成

生涯学習推進の観点から、読書習慣の維持は成人にとっても重要であり、高齢者等の読書習慣の維持・向上に取り組みます。

また、教育委員会や市長部局が実施する教育・生涯学習関連事業を支援し、社会生活上求められる知識・技術の向上に寄与することを通じて、成人対象の教育・生涯学習を推進します。

（運営方針④）魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

市立図書館はさまざまな課題を抱え、新たなサービス展開を求められています。本市の財政状況を踏まえ、図書館が自ら効果的・効率的な運営体制を構築することで資源（人材・物・予算）を生み出し、それを新たなサービスに充てることで図書館の魅力アップを進めていく必要があります。

〈取り組みの方向〉

a. 各図書館施設の役割分担と連携

魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築するためには、図書館各施設の役割分担を明確化して整理し、各施設がそれぞれの役割を果たしつつ緊密な連携関係を維持することで、市立図書館全体としてサービスを維持・向上させていく新たな枠組みが必要です。

中央図書館については、全館のサービスを取りまとめ、今後の市立図書館運営の方向を定める司令塔としての役割と、自ら高度で専門的なサービス提供を行う役割、さらに車塚周辺地域における分館機能等も担います。

普段使いの図書館として利用される分館は、その実態に合わせて、図書の貸出や予約、レファレンス、各種イベントの開催、対面読書など、公共図書館として果たすべき役割を踏まえた地域における基礎的な図書館サービスの提供をその任務とします。

また分室については、規模は小さいながら基礎的な図書館サービスの提供を行うだけでなく、利用圏域が狭い地域密着型の性格を活かして、地域のつながりが薄れている中で、地域住民の居場所としての機能を意識した運営を行います。また、その位置づけ・あり方については、施設配置の検討と合わせて別途見直し計画を策定します。

これからの市立図書館運営においては、中央図書館の役割が増大することから、その司令塔機能を果たすための取り組みについては今後重点施策として位置づけます。

b. 効果的・効率的な図書館運営

効果的・効率的な図書館運営を実現するため、労働条件や利用者の個人情報保護等に留意しながら生涯学習施設と基礎的な図書館サービスを主に提供する図書館分館の複合施設に指定管理者制度を導入します。制度導入館では民間ノウハウを活かした事業を実施するとともに、複合施設と中央図書館とのコラボ事業等も開催します。また、窓口の一本化など施設を一体的に運営することなどで効率化を図り、新たなサービス展開に充てる資源(人材・物・予算)を生み出して、開館日数や開館時間帯の拡大、子ども読書活動の推進、資料の充実等に充て、市立図書館全体としてサービスを向上させていきます。

平成28年度に蹉跎・牧野の両複合施設に指定期間2年間で先行導入し、制度導入の成果についての検証と検証結果を踏まえた仕様書等の作成を行った後、平成30年度に蹉跎・牧野を含む生涯学習施設と図書館分館の複合施設6施設に指定管理者制度を導入します。市立図書館では上記方針①から方針③の取り組みを推進するため、以上の施策に重点的に取り組みます。

その他、効果的・効率的な図書館運営の観点からは、コンピュータシステムの更新と学校図書館コンピュータシステムとのオンライン化に重点的に取り組み、蔵書としない寄贈図書の売却による新たな財源の確保にも取り組みます。また、新たな財源確保の取り組みについては、その財源が新たなサービス展開を可能にする原資となることから、財源確保を阻害する要因とその要因を取り除く対策も含め、今まで以上にその方策について調査研究を進めます。

c. 施設の老朽化対策と施設配置等の見直し

市立図書館の施設の中には、昭和時代に建設された建物が多く、老朽化が進行しており、市有建築物保全計画に基づく改修・改善を行います。特に香里ヶ丘図書館については昭和49年の開館以来、老朽化が進行し、バリアフリー対応も遅れており、利用が多いにも関わらず閲覧スペースが他の分館と比較して狭隘であり、駐車場もないことから、建替えが必要です。

また、図書館各施設については、施設規模・利用圏域等を踏まえたその配置について見直しを進めるとともに、自動車文庫の活用方法の再構築と合わせたステーション配置の見直しを行います。

d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承

中央図書館を司令塔とした効果的・効率的な図書館運営を行うためには、図書館運営の核となる専門的スタッフの育成と配置がそのカギとなります。特に今後は指定管理者制度の導入を進めることから、専門的スタッフには、図書館運営全体をコーディネートする力が必要となることを踏まえ、求められる職員像を明確にし、その職員像に沿った計画的な人材育成を進めます。この際、図書館サービスに係る知識・技術の育成だけでなく、図書館経営や図書館行政の核となる人材育成のためのジョブローテーションを活用した行政職員としての知識・技術の育成や図書館政策の企画・立案能力の育成も行い、図書館運営全体を俯瞰的に見ることができる、まさに核となる専門的スタッフの育成を重点的に進めます。

また、図書館の専門的スタッフの高齢化が進行し、今まで蓄積してきた専門的なノウハウの継承が課題となっていることから、ノウハウの継承が可能な運営体制の構築にも重点的に取り組みます。

e. 図書館サービスの周知

今後以上のような新たな特色あるさまざまな取り組みを進めるにあたっては、さまざまな媒体や機会を通じて、そのサービスの周知に努め、さらなる利用を促すとともに、全国に向けて発信をしていきます。

f. アウトリーチの推進

今後は地域での活動や地域イベント等との連携も視野に入れて、自動車文庫等を活用しながらアウトリーチの推進にも努めます。

第6章 運営方針の具体化とその推進

(1) 運営方針の具体化

市立図書館は、第5章で示した運営方針と取り組みの方向に従い、図書館が解決すべき課題をベースとした以下の施策と、施策を実現するための具体的な取り組みを定め、それぞれに達成予定時期を設定して、社会・経済情勢や国の動向、本市の財政状況等を踏まえ、柔軟に対応しながら、取り組みを進めます。達成時期の設定が難しい継続的に取り組むものについては、従前の取り組みを継続的に維持・充実させるものは「従前の取り組みを継続」と示し、継続的に充実させていく取り組みを新たに始めるものはその始期も合わせて「〇〇年度以降継続」と示します。

また、第5章で図書館政策上の重点化を行うことを明らかにしたものについては「◎」で示し、今後積極的な取り組みを進めます。

【運営方針①】 基礎的な図書館サービスを充実します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
a. 資料・ 情報 収集 機能 の 充 実	図書館が収集すべき資料・ 情報とその考え方の明確化 (バランス重視の資料・情 報収集)	知識・教養・考えるための蔵書と課 題解決のための情報資源のバラン スを考慮した資料・情報収集	従前の取り組みを 継続	
		活字資料とオーディオ・ビジュアル 資料・電子情報等のバランスを考慮 した資料・情報収集(ハイブリッド型 資料収集の推進)	従前の取り組みを 継続	
		課題解決支援の重点的な取り組 み、滞在型図書館への移行を踏ま えた資料・情報収集	28年度以降継続	
	蔵書計画基本指針等の改 訂・選書方法の改善	第3次グランドビジョンの考え方 に合わせた蔵書計画基本指針・選書基 準の改訂	28年度達成予定	
		中央図書館を核とした選書方法の 確立	28年度達成予定	
	市民ニーズに基づく資料・ 情報収集	未利用者のニーズの把握と貸出傾 向の分析に基づく資料・情報収集 への反映	28年度以降継続	
	枚方地域コレクションの充 実	積極的な寄贈の募集を含むさら なる網羅的なコレクションの充実	28年度以降継続	
		郷土行政資料の電子化		
		枚方地域コレクションの周知		
	商用オンラインデータバ ースの充実	データベースの周知と利用促進	従前の取り組みを 継続	
新たなデータベースの導入の検討		29年度達成予定		
電子書籍の導入に向けた積 極的な情報収集	図書館向け電子書籍の出版動向及 び公立図書館における電子書籍導 入状況調査	28年度以降継続		

(次ページへ続く)

(運営方針①の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
b. 資料・ 情報提供 機能の 充実	求めに応じたレファレンスサービスの充実	レファレンスサービスの周知と利用促進	従前の取り組みを継続	◎
	予約・リクエストサービスの充実	資料収集基準の再検討	28年度達成予定	
		資料選定システムの改善 未所蔵資料の提供に係る基準の再検討	28年度達成予定	
	充実した障害者サービスの継続	充実した障害者サービスの継続的な提供	従前の取り組みを継続	
	各種イベントを通じた読書や図書館への興味・関心を育て、利用を促進する	各年齢層向けの各種イベント(おはなし会・読書会等)の実施	従前の取り組みを継続	
	宅配サービスの充実	サービスの積極的なPR	従前の取り組みを継続	
c. 保存機能 の充実 情報 実報	既存スペースの有効活用・新たな書庫スペースの確保による魅力的な蔵書群の構築	書庫の有効活用策の検討	29年度達成予定	
		新たな書庫スペースの確保に向けた検討	29年度達成予定	
		蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂	28年度達成予定	
d. 図書館と いう空間 の 魅力 向上	滞在型図書館への移行	滞在中しやすい環境整備 (参考事例) *座席数の拡大 *飲み物コーナーの設置 *居場所としての機能のPR *お一人様スペースの設置	30年度達成予定	◎
		学習環境整備 (参考事例) *自習室の設置等、和やかスペースと静かな環境の分離 *グループ学習が可能な場の確保 *Wi-Fi環境整備の検討	30年度達成予定	◎

【運営方針②】家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
a. 課題 解決 支援	情報活用能力の育成	図書館及び情報利活用講座の開催	28年度以降継続	◎
		ビブリオバトル(注12)の実施		
	社会状況を踏まえたレファレンス・レフェラルサービスの充実	子育て・医療・健康づくり関連の資料・情報提供、講座等の開催	28年度以降継続	◎
		その他社会状況を踏まえた必要な資料・情報提供、講座等の開催		
図書館ホームページを通じた情報提供	パスファインダー(注13)の充実	従前の取り組みを継続		
	レファレンス事例集の充実	従前の取り組みを継続		

(注12) ビブリオバトル・・・参加者が本を紹介し合い、最も読みたいと思うチャンプ本を投票で決めるイベント

(注13) パスファインダー・・・特定のテーマに係る各種情報ツールや情報の探索方法を紹介するもの

(次ページへ続く)

(運営方針②の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援	図書館主催事業を通じた人と人がつながる機会の提供	同じ課題・悩み・目的意識を持つ市民をつなぐ各種講座等の開催 (参考事例) * 子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座 * 子育て支援講座 * 医療・健康づくり基礎講座 * 自分史講座 * 各種読書会(青少年向け・成人向け・闘病者向け等) など	28年度以降継続	
	地域活動とタイアップした地域の結びつきの再生への支援	地域のコミュニティ・自治会活動を活性化するための積極的な情報提供 地域人材を活用した講座等の開催	29年度以降継続	
	地域活動に参加する人材を 求める人と地域活動を始め たい人の出会いの場の提供	市内ボランティア団体の情報提供 ボランティア紹介イベントの開催	29年度以降継続	◎
		図書館でのボランティア機会の提供	従前の取り組みを継続	

【運営方針③】 教育的役割を重視した取り組みを推進します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
子ども読書活動の推進 (最重要施策)	読書の楽しさを伝える 児童書の充実	質の高い図書の積極的な購入	従前の取り組みを継続	◎
		評価が定まった図書の汚損・破損分の 買い替えの推進	従前の取り組みを継続	
	読書への動機付けの 推進	年齢に応じたおすすめ図書案内パン フの作成・配布	従前の取り組みを継続	◎
		おはなし会ほか各種イベントの実施	28年度以降継続	
		読書通帳の発行に向けた検討	30年度達成予定	
	乳幼児期からの読書 習慣を育てる	これからお母さん・お父さんになる「プ レママ」「プレパパ」対象の絵本の与え 方・読み聞かせ講座の開催(マタニテ ィスクール等への出前も検討)	28年度以降継続	◎
		保護者等対象の絵本の与え方・読み 聞かせ講座の開催		
		赤ちゃん向けブックリスト等年齢に応 じたブックリストの配布	29年度以降継続	
保育所(園)・幼稚園等における読書 支援 保育士・幼稚園教諭等との相互交流 の推進				

(次ページへ続く)

(運営方針③の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策		
子ども読書活動の推進(最重点施策)	a. 読書習慣の育成	全市立中学校への学校司書派遣	30年度達成予定	◎		
		学校図書館蔵書データ化と学校間のオンライン化支援	28年度以降継続			
		市立図書館コンピュータシステムとのオンライン化				
		団体貸出用図書の充実	30年度達成予定			
		学校巡回便事業の本格実施(読み物・調べ学習・朝読書支援用図書の配送)	30年度以降継続			
		ニーズを踏まえた学校図書館との連携のありかたの検討 (検討事項) * 児童・生徒の学習活動とリンクした情報アクセス・活用手法の紹介 * 学校図書館による新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成 * それぞれの子どものニーズに合った本の紹介 * 小学校の学校図書館支援 * 教員の授業づくりの支援 * 学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討	従前の取り組みを継続			
	b. 力の育成	図書館における情報活用能力育成	子ども向け図書館活用講座の開催		30年度以降継続	◎
		学校における情報活用能力育成支援	図書館を活用した教員の授業作り支援		30年度以降継続	◎
		学校と連携した情報活用能力育成	調べ学習コンクールなど学校教育部との共催による各種連携事業の推進		従前の取り組みを継続	◎
	c. 画策定	第3次子ども読書活動推進計画の策定	第3次グランドビジョンを踏まえた第3次子ども読書活動推進計画の策定		28年度達成予定	◎
d. の知識・技術等の育成	成人の読書習慣の維持・向上	地域の福祉委員・民生委員等を介した地域の高齢者への図書館利用の働きかけ	28年度以降継続			
		電子書籍を用いた拡大文字による高齢者の読書の推進の可能性の検討	30年度以降継続			
	他部署との連携による教育・生涯学習の推進	社会教育課主催事業との連携等、他部署で実施される教育・生涯学習関連事業との連携の推進 (特に子育て、医療・健康づくり関係)	29年度以降継続			

【運営方針④】 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策	
a. 各図書館施設の役割分担と連携	中央図書館	全館の司令塔機能を果たす	各種サービス(児童・障害者サービス、学校図書館支援等)のセンター機能を果たす	28年度以降継続	◎
			市民ニーズの把握と図書館サービスノウハウの蓄積		
			図書館政策の企画・立案		
			指定管理者制度導入後の分館の運営状況のチェック		
	分館	車塚地域の分館機能を果たす	基礎的な図書館サービスの提供	従前の取り組みを継続	
		蓄積した専門的なノウハウを活かしたサービス提供を行う	専門的な図書館サービスの提供	従前の取り組みを継続	
	分室	地域住民の居場所としての機能の強化	貸出・予約・児童サービス・障害者サービス・レファレンス等の基礎的な図書館サービスの提供	従前の取り組みを継続	
			複数の分室での午前開室の推進	従前の取り組みを継続	
			基礎的な図書館サービスの提供	従前の取り組みを継続	
			親子連れ・高齢者向け事業の積極的な開催	従前の取り組みを継続	
b. 効果的・効率的な図書館運営	生涯学習施設と図書館の一体的な運営	分室のあり方等に係る見直し計画の策定	30年度達成予定		
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	28年度達成予定	◎	
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	30年度達成予定		
	生涯学習施設と図書館の一体的な運営	生涯学習施設と図書館の一体的な運営	民間ノウハウを活かしたサービス向上		28年度以降継続
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	子ども読書活動の推進 開館時間帯の延長・開館日数の増加	28年度以降継続	◎
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	中央図書館の司令塔機能の強化 資料の充実		
	市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討	市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討	市立図書館コンピュータシステムの更新と学校図書館システムとのオンライン化	28年度以降継続	◎
			検索端末・インターネット端末の増設・情報検索用タブレット型端末の導入に向けた検討	従前の取り組みを継続	
	寄贈図書さらなる有効活用	寄贈図書さらなる有効活用	寄贈図書を活用した他の公共施設への本棚の設置	30年度以降継続	
			寄贈図書を活用した新たな財源の確保	28年度以降継続	
効率的な資料の購入手法の検討	効率的な資料の購入手法の検討	利用者サービスを向上する資料購入手法の検討	従前の取り組みを継続		
市民のニーズを反映した図書館運営	市民のニーズを反映した図書館運営	利用者ニーズの積極的な把握とサービスへの反映	従前の取り組みを継続		

(次ページへ続く)

(運営方針④の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	重点 施策
c. 施設の老朽化対策と 施設配置等の見直し	施設の老朽化対策	市有建築物保全計画に基づく施設改修等	従前の取り組みを継続	
	施設配置の見直し	施設規模・利用圏域等を踏まえた図書館施設配置の見直し	32年度達成予定	
	自動車文庫のあり方の再構築	自動車文庫の活用方法の再構築 ステーション配置の見直し	28年度以降継続	
	交通アクセス改善の可能性の検討	費用対効果・実現可能性等を踏まえた交通アクセス改善につながる方策の調査研究	従前の取り組みを継続	
d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承	核となる専門的スタッフの計画的な育成	求められる職員像の設定	28年度達成予定	
		専門的な知識・技術を持ったスタッフの計画的な育成(図書館内部での研修実施・外部研修への職員派遣)(研修内容事例) *レファレンス・IT関連の研修 *選書技術関連の研修 *子ども読書活動関連の研修 *行政職員としての知識・技術関連の研修 *図書館政策の企画・立案関連の研修	28年度以降継続	◎
	専門的スタッフの計画的な配置	現在まで蓄積した知識・技術の継承と向上が可能な体制の構築	28年度以降継続	◎
e. 図書館サービスの周知	積極的な図書館サービスの周知	図書館サービス業務のマニュアル化の推進	従前の取り組みを継続	
		図書館管理業務のマニュアル化	28年度以降継続	
f. 地域の活性化の推進	地域の子育て活動等とタイアップした地域の人々が求める資料・情報等の提供	積極的なサービスの周知による発信力の向上(参考事例) *図書館ホームページの存在の周知 *図書館活用方法に係る案内動画の配信 *メールマガジン・SNSの活用の検討 *全児童・生徒・教員への貸出カードの発行 *学校を通じた児童・生徒・保護者への周知(利用案内・おすすめ図書リスト等の配布) *充実した障害者サービスの周知	28年度以降継続	
		民生委員・児童委員、主任児童委員等が実施する事業と連携した資料・情報の提供 地域活動・各種イベント等への自動車文庫の派遣(自動車文庫出張事業)	30年度以降継続 30年度以降継続	

(2) 第3次グランドビジョンの進捗状況の管理と評価

第3次グランドビジョン策定後は、毎年度その進捗状況とその自己評価について外部委員会(社会教育委員会)に報告し、意見を聴くとともに、教育委員会・市長部局が実施する行政的視点に基づく評価も行い、その結果については広く公開します。

また、進捗管理にあたっては、次ページ以降の評価指標に従い、施策単位で評価を行うこととし、重点施策を中心とした簡素でわかりやすい評価を行うため、重点施策の進捗状況については毎年度報告を行い、経年的な進捗管理を行うとともに、その他の施策については変化があった際に進捗状況の報告を行います。

市立図書館では、従来その取り組み内容について、第2次グランドビジョンの進捗状況に係る評価をはじめ、枚方市教育委員会が実施する「枚方市の教育に関する事務の点検及び評価」や枚方市が実施する「事務事業実績測定」など、行政的な視点による評価も行ってきました。

また、その評価結果については市のホームページ等を通じて広く公開するとともに、図書館年報を発行し、1年間の取り組み内容や実績を公表してきました。

市立図書館では、これらの評価や実績数値等をもとに、PDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを活用して次年度の取り組みの方向を定めるなど、業務の改善、サービスの向上にも取り組んできました。

しかし、従来評価指標としてきたものは、貸出冊数や予約受付件数といった定量的な指標が多く、どれだけ市民に喜ばれたか、どれだけ本来図書館が担うべき役割を果たしてきたかといった定性的な評価を行ってこなかったため、図書館外部からも市立図書館が公表する数値の増減のみで図書館サービス全体が評価される傾向が見られるようになりました。

より多くの市民に、より多くの図書館資料の貸出を行うことは、公共図書館である市立図書館の基本的な役割の一つですが、市立図書館は、その他にも専門的な見識に基づく選書と魅力的な蔵書の構築、地域や市民が抱えるさまざまな課題の解決に向けた多様な資料・情報提供や関連人物・機関等の紹介、郷土資料の収集・整理・保存、視覚・聴覚障害者向けの資料の製作と提供、学校図書館支援をはじめとする子ども読書活動の推進など、費用対効果の視点に基づく数値だけでは評価しにくい重要な役割も担っており、第3次グランドビジョン策定後の進捗状況の評価にあたっては、定量的評価とともに定性的評価も取り入れた評価を行います。

(具体的な取り組みに対する各評価指標)

【運営方針①】 基礎的な図書館サービスを充実します

(以下太字部分は重点施策)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
a. 資料・情報収集機能の充実	図書館が収集すべき資料・情報とその考え方の明確化 (バランス重視の資料・情報収集)	知識・教養・考えるための蔵書と課題解決のための情報資源のバランスを考慮した資料・情報収集	満足度調査(蔵書バランス)
		活字資料とオーディオ・ビジュアル資料・電子情報等のバランスを考慮した資料・情報収集(ハイブリッド型資料収集の推進)	満足度調査(蔵書バランス)
		課題解決支援の重点的な取り組み、滞在型図書館への移行を踏まえた資料・情報収集	重点分類等の資料受入冊数
	蔵書計画基本指針等の改訂・選書方法の改善	第3次グランドビジョンの考え方に合わせた蔵書計画基本指針・選書基準の改訂	改訂の実施・未実施
		中央図書館を核とした選書方法の確立	選書方法の確立・未確立
	市民ニーズに基づく資料・情報収集	未利用者のニーズの把握と貸出傾向の分析に基づく資料・情報収集への反映	満足度調査(蔵書バランス)
	枚方地域コレクションの充実	積極的な寄贈の募集を含むさらなる網羅的なコレクションの充実	コレクションの受入冊数
		郷土行政資料の電子化	電子化冊数
		枚方地域コレクションの周知	枚方地域コレクションの認知度調査結果
	商用オンラインデータベースの充実	データベースの周知と利用促進	データベースの認知度調査結果と利用回数
新たなデータベースの導入の検討		検討の実施・未実施	
電子書籍の導入に向けた積極的な情報収集	図書館向け電子書籍の出版動向及び公立図書館における電子書籍導入状況調査	調査の実施・未実施	
b. 資料・情報提供機能の充実	求めに応じたレファレンスサービスの充実	レファレンスサービスの周知と利用促進	レファレンスサービスの認知度調査結果と利用回数
	予約・リクエストサービスの充実	資料収集基準の再検討	基準改訂の実施・未実施
		資料選定システムの改善	システム改善の実施・未実施
		未所蔵資料の提供に係る基準の再検討	基準見直しの実施・未実施
	充実した障害者サービスの継続	充実した障害者サービスの継続的な提供	* 対面読書実施回数 * 点字・録音資料貸出冊数 * 手話ブックトーク実施回数
	各種イベントを通じた読書や図書館への興味・関心を育て、利用を促進する	各年齢層向けの各種イベント(おはなし会・読書会等)の実施	イベント実施回数・参加者数
	宅配サービスの充実	サービスの積極的なPR	* 宅配サービス利用者数 * サービスの認知度調査結果
貸出・返却ポイントのさらなる充実策の検討	費用対効果を踏まえた新たな貸出・返却ポイントの設置可能性の検討	検討の実施・未実施	
c. 保存機能の充実	既存スペースの有効活用・新たな書庫スペースの確保による魅力的な蔵書群の構築	書庫の有効活用策の検討	検討の実施・未実施
		新たな書庫スペースの確保に向けた検討	検討の実施・未実施
		蔵書保存基準・蔵書除籍基準の改訂	改訂の実施・未実施

(次ページへ続く)

(運営方針①の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
d. 図書館という空間の魅力向上	滞在型図書館への移行	(参考事例) ＊座席数の拡大 ＊飲み物コーナーの設置 ＊居場所としての機能のPR ＊お一人様スペースの設置	満足度調査(居心地)
	学習環境整備	(参考事例) ＊自習室の設置等、和やかスペースと静かな環境の分離 ＊グループ学習が可能な場の確保 ＊Wi-Fi環境整備の検討	満足度調査(利便性)

【運営方針②】家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
a. 課題解決支援	情報活用能力の育成	図書館及び情報活用講座の開催 ビブリオバトルの実施	開催の有無及び回数・参加者数 開催の有無及び回数・参加者数
	社会状況を踏まえたレファレンス・レフェラルサービスの充実	子育て・医療・健康づくり関連の資料・情報提供、講座等の開催	＊左記主題のレファレンス・レフェラルサービス件数 ＊満足度調査(資料・情報提供等に対する積極的な姿勢)
		その他社会状況を踏まえた必要な資料・情報提供、講座等の開催	満足度調査(資料・情報提供等に対する積極的な姿勢)
	図書館ホームページを通じた情報提供	パスファインダーの充実 レファレンス事例集の充実	パスファインダー項目数 事例集の項目数
b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援	図書館主催事業を通じた人と人がつながる機会の提供	同じ課題・悩み・目的意識を持つ市民をつなぐ各種講座等の開催 (参考事例) ＊子ども読書ボランティア等の図書館ボランティアの育成講座 ＊子育て支援講座 ＊医療・健康づくり基礎講座 ＊自分史講座 ＊各種読書会(青少年向け・成人向け・闘病者向け等) など	＊開催の有無及び回数・参加者数 ＊講座開催後の参加者のつながり調査結果
	地域活動とタイアップした地域の結びつきの再生への支援	地域のコミュニティ・自治会活動を活性化するための積極的な情報提供	地域団体への資料・レファレンスサービス提供回数
		地域人材を活用した講座等の開催	開催の有無及び回数・参加者数
	地域活動に参加する人材を求めると地域活動を始めたい人の出会いの場の提供	市内ボランティア団体の情報提供	団体リスト作成の有無
		ボランティア紹介イベントの開催	開催の有無及び回数・参加者数
	図書館でのボランティア機会の提供	登録人数・参加人数	

【運営方針③】 教育的役割を重視した取り組みを推進します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
子ども読書活動の推進（最重点施策）	読書の楽しさを伝える児童書の充実	質の高い図書の積極的な購入	児童書の評価作業と評価結果に基づく資料収集の継続
		評価が定まった図書の汚損・破損分の買い替えの推進	汚損・破損冊数に対する買い替え冊数の割合
	読書への動機付けの推進	年齢に応じたおすすめ図書案内パンフの作成・配布	配布枚数
		おはなし会ほか各種イベントの実施	イベント実施回数・参加者数
		読書通帳の発行に向けた検討	検討の実施・未実施
	乳幼児期からの読書習慣を育てる	これからお母さん・お父さんになる「プレママ」「プレパパ」対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催（マタニティスクール等への出前も検討）	開催の有無及び回数・参加者数
		保護者等対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催	開催の有無及び回数・参加者数
		赤ちゃん向けブックリスト等年齢に応じたブックリストの配布	配布枚数
		保育所（園）・幼稚園等における読書支援	団体貸出実施回数・冊数
		保育士・幼稚園教諭等との相互交流の推進	開催の有無及び回数・参加者数
		全市立中学校への学校司書派遣	派遣校数
	学齢期の読書習慣を育てる（学校図書館支援）	学校図書館蔵書データ化と学校間のオンライン化支援	*データ入力マニュアル等作成の有無 *データ入力済冊数 *オンライン化実施・未実施
		市立図書館コンピュータシステムとのオンライン化支援	オンライン化実施・未実施
		団体貸出用図書の充実	団体貸出用図書冊数
		学校巡回便事業の本格実施（読み物・調べ学習・朝読書支援用図書の配送）	団体貸出実施回数・冊数
		ニーズを踏まえた学校図書館との連携のありかたの検討（検討事項） *児童・生徒の学習活動とリンクした情報アクセス・活用手法の紹介 *学校図書館による新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成 *それぞれの子どものニーズに合った本の紹介 *小学校の学校図書館支援 *教員の授業づくりの支援 *学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討	満足度調査結果(学校図書館の蔵書・居心地・利便性・学校司書・授業への貢献度など[子ども・教員対象])

(次ページへ続く)

(運営方針③の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標	
子ども読書活動の推進(最重要施策)	b. 情報活用能力の育成	図書館における情報活用能力育成	子ども向け図書館活用講座の開催	開催の有無及び回数・参加者数
		学校における情報活用能力育成支援	図書館を活用した教員の授業作り支援	資料提供回数・冊数
		学校と連携した情報活用能力育成	調べ学習コンクールなど学校教育部との共催による各種連携事業の推進	開催の有無及び回数・参加者数
	c. 推進計画策定	第3次子ども読書活動推進計画の策定	第3次グランドビジョンを踏まえた第3次子ども読書活動推進計画の策定	計画の策定・未策定
術等の育成	d. 社会で生きていくための知識・技術	成人の読書習慣の維持・向上	地域の福祉委員・民生委員等を介した高齢者への図書館利用の働きかけ 電子書籍を用いた拡大文字による高齢者の読書の推進の可能性の検討	地域の福祉委員・民生委員等への依頼の有無 検討の実施・未実施
		他部署との連携による教育・生涯学習の推進	社会教育課主催事業との連携等、他部署で実施される教育・生涯学習関連事業との連携の推進(特に子育て、医療・健康づくり関係)	連携事業・支援等実施の有無・回数・参加者数

【運営方針④】 魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
a. 各図書館施設の役割分担と連携	中央図書館	各種サービス(児童・障害者サービス、学校図書館支援等)のセンター機能を果たす	各サービス種別単位の全館のマネジメント体制の確立・未確立
		市民ニーズの把握と図書館サービスノウハウの蓄積	市職員による窓口サービスの維持
		図書館政策の企画・立案	図書館政策企画・立案担当者(または部署)の設置・未設置
		指定管理者制度導入後の分館の運営状況のチェック	指定管理者に対する指摘事項の改善率
		選書の拠点機能を果たす	中央図書館を核とした選書方法の確立・未確立
	車塚地域の分館機能を果たす	基礎的な図書館サービスの提供	* 定型業務を中心とした統計数値 * 延べ貸出者数/年 * 延べ来館者数/年
	蓄積した専門的なノウハウを活かしたサービス提供を行う	専門的な図書館サービスの提供	満足度調査(図書館政策企画立案・選書・高度なレファレンス・各種イベント企画実施等の非定型業務)

(次ページへ続く)

(運営方針④の続き)

取り組み方向	施策		具体的な取り組み	評価指標
a. 各図書館施設の役割分担と連携	分館	基礎的なサービス提供	貸出・予約・児童サービス・障害者サービス・クイックレファレンス等の基礎的な図書館サービスの提供	* 定型業務を中心とした統計数値 * 延べ貸出者数/年 * 延べ来館者数/年
	分室	地域住民の居場所としての機能の強化	複数の分室での午前開室の推進	午前開室分室数の推移
			基礎的な図書館サービスの提供	定型業務を中心とした統計数値
			親子連れ・高齢者向け事業の積極的な開催	イベント実施回数・参加者数
			分室のあり方等に係る見直し計画の策定	計画策定の有無
b. 効果的・効率的な図書館運営	定管理職制度の導入 生涯学習施設と図書館の複合施設への指	生涯学習施設と図書館の一体的な運営	蹠陀・牧野の複合施設への制度導入	制度導入の実施・未実施
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への制度導入	制度導入の実施・未実施
		生涯学習施設と図書館の一体的な運営	民間ノウハウを活かしたサービス向上	満足度調査
		制度導入により生み出した資源(人材・物・予算)によるサービス向上	子ども読書活動の推進	学校司書派遣校数
	開館時間帯の延長・開館日数の増加		* 時間帯・日数の増加の実施・未実施 * 増加分及び全体の利用状況	
	中央図書館の司令塔機能の強化		司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築の有無	
	市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討	市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討	市立図書館コンピュータシステムの更新と学校図書館システムとのオンライン化	* システム更新の実施・未実施 * 学校図書館システムとのオンライン化の実施・未実施
			検索端末・インターネット端末の増設・情報検索用タブレット型端末の導入に向けた検討	検討の実施・未実施
	寄贈図書 of さらなる有効活用	寄贈図書 of さらなる有効活用	寄贈図書を活用した他の公共施設への本棚の設置	本棚設置数
			寄贈図書を活用した新たな財源の確保	確保した財源額
	効率的な資料の購入手法の検討		利用者サービスを向上する資料購入手法の検討	検討の実施・未実施
	市民のニーズを反映した図書館運営		利用者ニーズの積極的な把握とサービスへの反映	* 満足度調査・利用者アンケートの実施・未実施 * 調査・アンケート結果とその後の対応に係る報告書の公開・未公開

(次ページへ続く)

(運営方針④の続き)

取り組み方向	施策	具体的な取り組み	評価指標
c. 施設の見直し 施設の老朽化対策と施設配置等	施設の老朽化対策	市有建築物保全計画に基づく施設改修等	改修年度と計画年度との一致程度
	施設配置の見直し	施設規模・利用圏域等を踏まえた図書館施設配置の見直し	* 利用状況調査の実施・未実施 * 図書館配置の見直しの有無
	自動車文庫のあり方の再構築	自動車文庫の活用方法の再構築	自動車文庫の活用計画の策定の有無
		ステーション配置の見直し	ステーション配置の見直しの有無
交通アクセス改善の可能性の検討	費用対効果・実現可能性等を踏まえた交通アクセス改善につながる方策の調査研究	調査研究の実施・未実施	
d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承	核となる専門的スタッフの計画的な育成	求められる職員像の設定	図書館職員育成計画の策定の有無
		専門的な知識・技術を持ったスタッフの計画的な育成（図書館内部での研修実施・外部研修への職員派遣）（研修内容事例） * レファレンス・IT関連の研修 * 選書技術関連の研修 * 子ども読書活動関連の研修 * 行政職員としての知識・技術関連の研修 * 図書館政策の企画・立案関連の研修	育成研修開催・派遣回数及び参加者数
	専門的スタッフの計画的な配置	現在まで蓄積した知識・技術の継承と向上が可能な体制の構築	専門的スタッフの司書率
e. 図書館サービスの周知	積極的なサービスの周知	図書館サービス業務のマニュアル化の推進	マニュアル作成・改訂数
		図書館管理業務のマニュアル化	マニュアル作成・改訂数
f. 推進 リア チウ のト	地域の子育て活動等とタイアップした地域の人々が求める資料・情報等の提供	積極的なサービスの周知による発信力の向上（参考事例） * 図書館ホームページの存在の周知 * 図書館活用方法に係る案内動画の配信 * メールマガジン・SNSの活用の検討 * 全児童・生徒・教員への貸出カードの発行 * 学校を通じた児童・生徒・保護者への周知（利用案内・おすすめ図書リスト等の配布） * 充実した障害者サービスの周知	満足度調査（サービス内容の周知）
		民生委員・児童委員、主任児童委員等が実施する事業と連携した資料・情報の提供 地域活動・各種イベント等への自動車文庫の派遣（自動車文庫出張事業）	資料・情報提供事業数 派遣回数

[別紙] 第3次グランドビジョンの検討組織と検討経過

(1) 検討組織

第34期 枚方市社会教育委員会議

氏名	所属	分野
青野 明子	大阪国際大学	家庭教育（学識経験を有する者）
○石塚 美穂	枚方手作り絵本連絡会	社会教育（社会教育の関係者）
◎加堂 裕規	関西外国語大学	社会教育（学識経験を有する者）
川添 賢史	一般社団法人 枚方青年会議所	社会教育（社会教育の関係者）
北口 ひとみ	枚方市立小学校長会	学校教育（学校教育の関係者）
國光 利彦	枚方市立中学校校長会	学校教育（学校教育の関係者）
西田 スマコ	NPO 法人 NALC「天の川クラブ」	社会教育（社会教育の関係者）
服部 寛治	公益財団法人 枚方体育協会	社会教育（社会教育の関係者）
福田 市朗	摂南大学	社会教育（学識経験を有する者）
松浦 清	大阪工業大学	社会教育（学識経験を有する者）
森 淑子	枚方市PTA協議会	家庭教育 （家庭教育の向上に資する活動を行う者）
森本 清子	枚方市民生委員児童委員協議会 （主任児童委員連絡会）	家庭教育 （家庭教育の向上に資する活動を行う者）
山本 順一	桃山学院大学	社会教育（学識経験を有する者）

◎議長 ○副議長

（五十音順）

(2) 検討経過

開催年月	経過
平成27年 8月	社会教育委員会議に「枚方市立図書館第3次グランドビジョンの策定について」を諮問
平成27年 8月	第34期 第1回 社会教育委員会議
平成27年 9月	第34期 第2回 社会教育委員会議
平成27年10月	第34期 第3回 社会教育委員会議
平成27年11月	第34期 第4回 社会教育委員会議
平成27年11月	社会教育委員会議から「枚方市立図書館第3次グランドビジョンの策定について（答申）」を受ける
平成27年12月	パブリックコメントを実施
平成28年 3月	策定

「図書館サービスに関する窓口アンケート」の集計結果について

I. 調査の概要

(1) 目的

枚方市立図書館第3次グランドビジョン（以下「第3次グランドビジョン」と言う。）では、図書館運営の評価を行うにあたり、より市民の意見が反映された評価を行うため、従来の貸出冊数や利用者数等の定量的評価に加え、利用者満足度等の定性的評価を実施することを明らかにしています。

本調査の質問項目は、第3次グランドビジョンにおいて、進捗状況の評価を行うために、その指標として満足度調査等を実施する旨を示した施策や取り組みをもとに作成したもので、図書館運営の定性的評価を行うために実施したものです。

(2) 対象

枚方市立図書館の各施設（中央図書館・分館・分室）利用者を対象に実施しました。

(3) 調査方法

図書館カウンター窓口にアンケート用紙とアンケート回収箱を設置し、カウンターを利用する利用者に協力をお願いしました。

(4) 実施時期

令和元 5月18日から5月31日

(5) 回収結果

全館から計1109枚のアンケート用紙を回収しました。

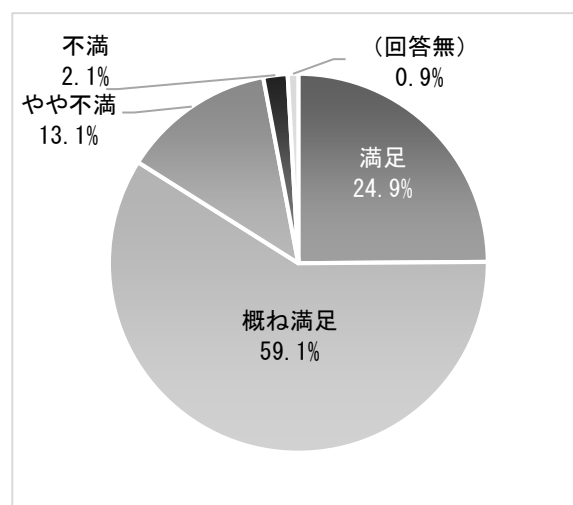
(6) アンケート結果の見方

特に指定のない場合、回答比率はアンケート回収件数を母数として算出し、百分率の小数点第2位を四捨五入しました。

Ⅱ. アンケート結果

(質問1) 現在の図書館蔵書は、利用者ニーズを反映した蔵書構成になっていると思いますか？

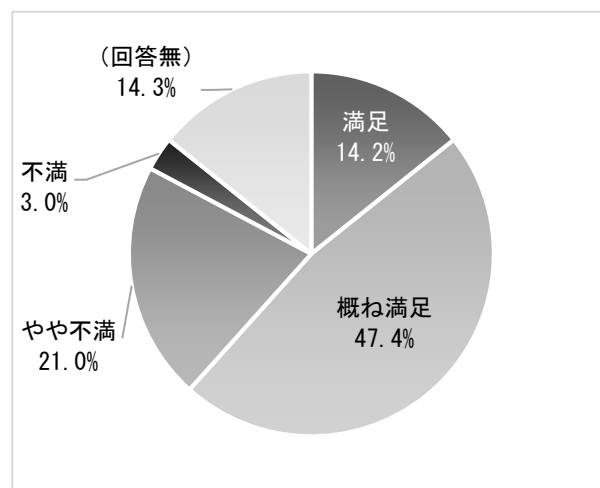
選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	24.9%	276
2	概ね満足	59.1%	655
3	やや不満	13.1%	145
4	不満	2.1%	23
NA	(回答無)	0.9%	10
合計			1,109



市立図書館の蔵書構成に満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は 84.0%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は 15.2%。回答者の約 8 割の方が現在の蔵書構成に満足している。

(質問2) 図書館では、活字資料だけでなく、CD・DVD等のオーディオ・ビジュアル資料やインターネット環境を利用した電子情報の提供を行っています。現在の図書館資料は、活字資料とオーディオ・ビジュアル、電子情報とのバランスがとれていると思いますか？

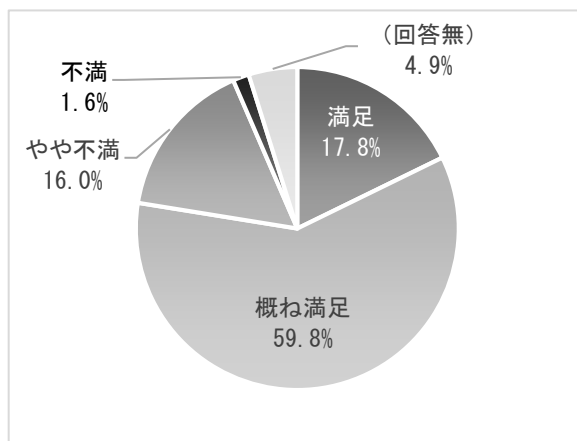
選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	14.2%	158
2	概ね満足	47.4%	526
3	やや不満	21.0%	233
4	不満	3.0%	33
NA	(回答無)	14.3%	159
合計			1,109



市立図書館の活字資料とオーディオ・ビジュアル、電子情報とのバランスに満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は 61.6%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は 24.0%。活字資料とそれ以外の資料バランスについては、回答者の約 6 割が満足している。

(質問3) 図書館では、みなさんの知識・教養を高め、レクリエーション等に役立つ図書や日常生活におけるさまざまな疑問・問題の解決に役立つ図書等の収集に努めています。現在の図書館の蔵書は、知識や教養を高め、レクリエーションに役立つ蔵書と、疑問・問題の解決に役立つ蔵書をバランスよく収集していると思いますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	17.8%	197
2	概ね満足	59.8%	663
3	やや不満	16.0%	177
4	不満	1.6%	18
NA	(回答無)	4.9%	54
合計			1,109

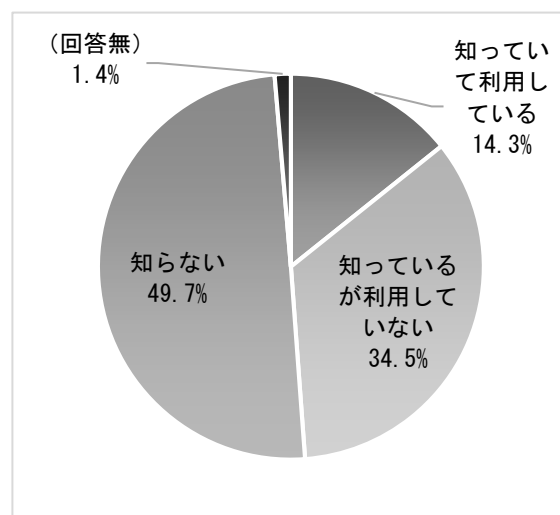


知識・教養を高め、レクリエーションに資する蔵書と、市民が抱える悩みや問題の解決に役立つ蔵書（課題解決型図書館に求められる蔵書）のバランスに満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は77.6%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は17.6%。

図書館法に規定される、知識・教養を高め、レクリエーションに資するための蔵書と、本市が進める課題解決型図書館に求められる蔵書のバランスについては、回答者の約7割が満足している。

(質問4) 図書館では、利用者から問い合わせのあった事項について、調査して資料や情報を提供するレファレンスサービスを行っていますが、当該サービスがあることをご存知ですか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	知っている利用している	14.3%	159
2	知っているが利用していない	34.5%	383
3	知らない	49.7%	551
NA	(回答無)	1.4%	16
合計			1,109

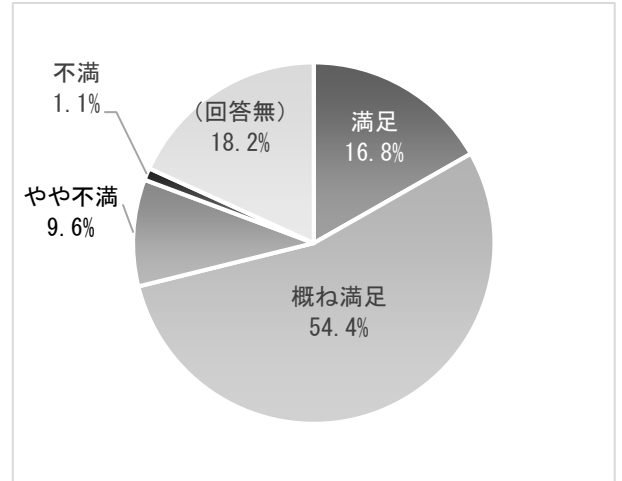


図書館の「レファレンスサービス」の周知状況については、「知っている利用している」と回答した利用者の割合は14.3%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は34.5%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は49.7%。

約半数の回答者（49.8%）が図書館におけるレファレンスサービスを知っているが、サービスを利用しているのは約14.3%。

(質問5) 図書館では、図書等の貸出や予約サービスだけでなく、レファレンスサービスや子ども向けの本の紹介・イベント等の実施、障害者・高齢者向けのサービス実施など、専門的なサービス提供を行っています。これら専門的なサービス提供に満足されていますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	16.8%	186
2	概ね満足	54.4%	603
3	やや不満	9.6%	106
4	不満	1.1%	12
NA	(回答無)	18.2%	202
合計			1,109

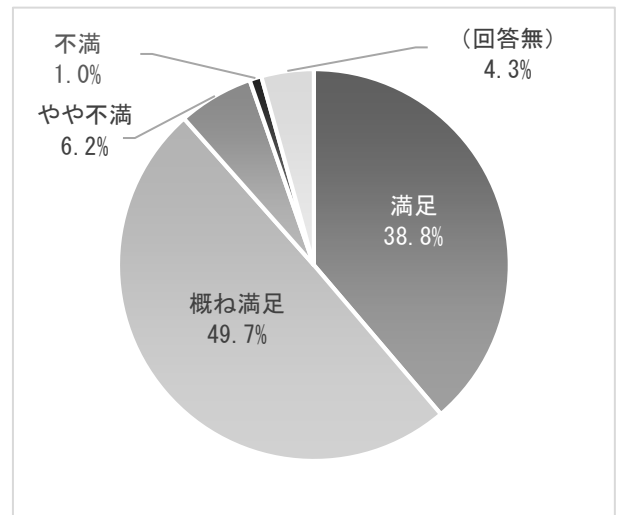


市立図書館の専門的なサービスに満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は 71.2%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は 10.7%。

市立図書館が提供する専門的なサービスに回答者の約 7 割が満足している。

(質問6) 図書館職員は利用者の求めに応じ、積極的に資料や情報提供を行う行動をとっていると思いますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	38.8%	430
2	概ね満足	49.7%	551
3	やや不満	6.2%	69
4	不満	1.0%	11
NA	(回答無)	4.3%	48
合計			1,109

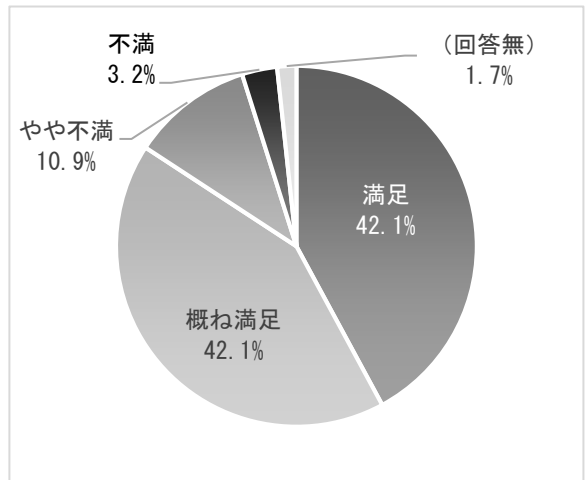


利用者の求めに応じた職員の情報提供行動に対して満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は 88.5%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は 7.2%。

回答者の約 9 割が図書館職員の資料・情報提供行動に満足している。

(質問7) 図書館は、ゆったりと滞在できる空間だと思いますか？

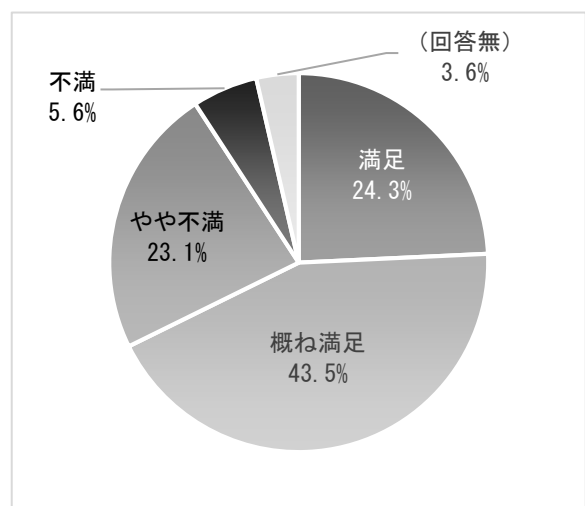
選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	42.1%	467
2	概ね満足	42.1%	467
3	やや不満	10.9%	121
4	不満	3.2%	35
NA	(回答無)	1.7%	19
合計			1,109



図書館がゆったりと滞在できる滞在型図書館を目指していることに関して、現在の状況に満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は84.2%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は14.1%。回答者の8割を超える方が、図書館はゆったりと滞在できる空間として満足している。

(質問8) 図書館は、自学自習に適した学習環境が整備された施設だと思いますか？

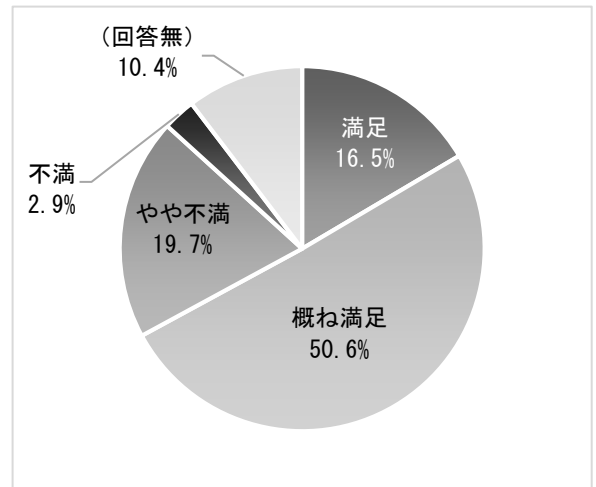
選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	24.3%	269
2	概ね満足	43.5%	482
3	やや不満	23.1%	256
4	不満	5.6%	62
NA	(回答無)	3.6%	40
合計			1,109



図書館が自学自習に適した環境であるかどうかについて、現在の状況に満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は67.8%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は28.7%。回答者の約7割が、自学自習環境として図書館に満足している。

(質問9) 図書館では、図書館サービスの内容について、利用案内(パンフレット)やホームページ等を通じて周知を行っています。図書館サービスの内容について、十分に周知されていると思いますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	16.5%	183
2	概ね満足	50.6%	561
3	やや不満	19.7%	218
4	不満	2.9%	32
NA	(回答無)	10.4%	115
合計			1,109

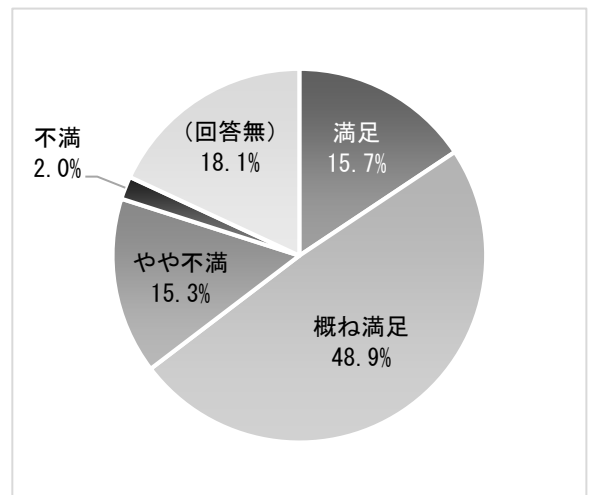


図書館サービス内容に関する周知の程度について、現在の状況に満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は67.1%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は22.6%。

回答者の約7割が、図書館サービス内容のPRに関して満足している。

(質問10) 図書館で実施しているイベント等についてお聞きします。図書館で開催しているイベントの種類や内容について、満足されていますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	満足	15.7%	174
2	概ね満足	48.9%	542
3	やや不満	15.3%	170
4	不満	2.0%	22
NA	(回答無)	18.1%	201
合計			1,109

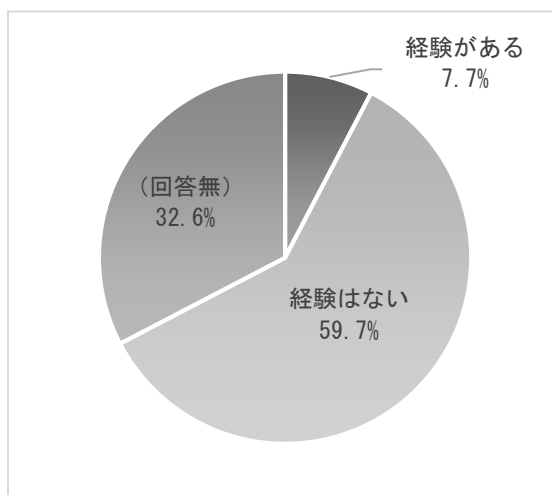


図書館で開催するイベント等について、現在の状況に満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は64.6%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は17.3%。

回答者の約6割が、イベント等について満足している。

(質問 11) 図書館のイベント・講座等に参加されたことのある方にお聞きします。イベント・講座等に参加されたあとに、参加者と知り合いになり、連絡を取り合うなど、コミュニケーションを行うようになった経験はありますか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	経験がある	7.7%	85
2	経験はない	59.7%	662
NA	(回答無)	32.6%	362
合計			1,109

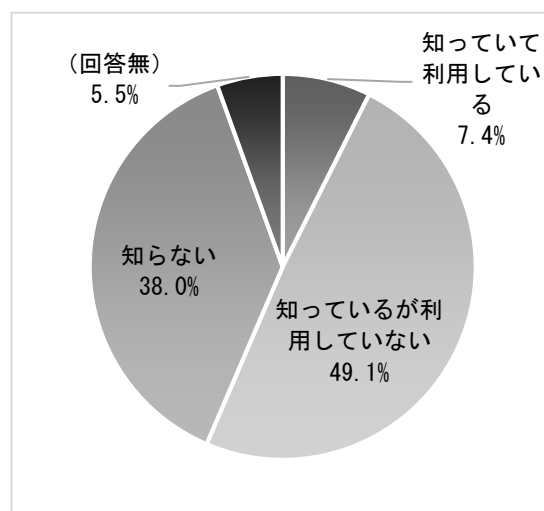


人と人を結ぶ図書館づくりに関して、図書館でのイベント等への参加後、参加者同士でコミュニケーションをとるようになった「経験がある」と回答した利用者の割合は 7.7%で、「経験はない」と回答した利用者の割合は 59.7%。

回答者の約 6 割が、イベント等への参加を契機とした利用者同士のつながりの経験を持たない。

(質問 12) 中央図書館 3 階に自学・自習コーナー、さだ図書館・牧野図書館には市民室サービスコーナー跡にラーニングルームとして、御殿山図書館では自学自習タイム時に自習可能なスペースを設けていますがご存知ですか？

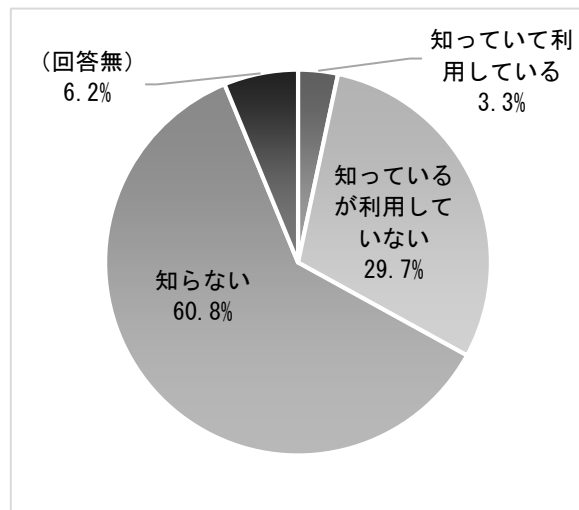
選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	知っている利用している	7.4%	82
2	知っているが利用していない	49.1%	543
3	知らない	38.0%	421
NA	(回答無)	5.5%	63
合計			1,109



中央図書館、さだ図書館、牧野図書館、御殿山図書館で自学自習が可能なスペースを設けていることを「知っている利用している」、「知っているが利用していない」と解答した人の割合は、56.5%、「知らない」と回答した利用者の割合は 38%。

(質問 13) 北片鉾バス停と樟葉駅が平成 30 年 4 月 1 日よりバスで結ばれたのをご存知ですか？

選択肢		割合 (%)	回答数 (人)
1	知っている利用している	3.3%	37
2	知っているが利用していない	29.7%	329
3	知らない	60.8%	674
NA	(回答無)	6.2%	69
合計			1,109



北片鉾バス停と樟葉駅が平成 30 年 4 月 1 日よりバスで結ばれたのを「知っている利用している」「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は 33%、「知らない」と回答した利用者の割合は 60.8%。

※各ページ表中の「%」は小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計値に+-0.1%の誤差が生じる場合があります。

（質問 14）自由意見

<主なご意見>

【中央図書館】

- 日曜日に来館することが多いので、平日同様、土、日曜日も 19 時までの開館時間であればありがたいと思っています。
- 開館時間が 19 時までですが、20 時まで開館時間を延長していただけると、ありがたい。
- 司書の方、職員の方々のおかげで、いつも気持ちよく利用させて頂いて降ります。
- 最近の漫画を見たい。
- 需要の多い本は 1 冊あたりの冊数を、増やして欲しい。
- 他館と連携して定期的に入れ替えるなど、利用できる種類を増やせないでしょうか。
- 普段近くの図書館を利用させて頂いていますが、もう少し他の館との入れ替えをして欲しいです。

【分館】

- 休館日も少なく、時間も長いので助かっています。
- 夜遅くまで開いているのがとても助かります。仕事から急いで帰らずによくなりました。
- 平日は 9 時～18 時でよいと思う。
- 午後 9 時迄開館していますが、沢山の利用者がいますか？利用者が少なければ午後 7 時くらいまでにして職員の仕事を軽減したらよいのではと思います。
- 日曜日 6 時頃まで開けてほしい。平日は 8 時までで良いと思う。
- 従来と比べ係員のサービス接客が大きく改善され素晴らしいと思います。
- 受付をされている方も、すごく親切で気持ち良くこちらの要望も聞いて下さって、とてもありがたく思っています。
- 新刊本が少ない。新刊を増やしてほしい。
- 蔵書が少ない。TV や雑誌等で話題になり読みたいと思っても殆ど無い。
- ベストセラーなどは順番待ちが 300～400 とかいうことがあり、人気の本は冊数を多く置いていただくとかはできないのかな？と思います。
- ベストセラーはもっと数多く購入してもよいのでは？
- 同じ本を何冊も揃えるのではなくなるべく種類を多くして欲しい。
- (前にもあったと思うが) 他の図書館の本を一定期間並べて欲しい。よかったので。
- 長年同じ図書館を利用していると、次に読みたい本が少なくなってくる。少しずつでいいので蔵書を他館と交換できないか？
- 中央図書館の本が、他の図書館に並べられて、本が循環するようなシステムにして欲しい。
- 同じ文庫本が 2、3 冊同じ図書館にあるが一定期間経過すれば他に配分してはどうか。
- 中身の見えないおたのしみ絵本の企画は、楽しいので続けてほしい。
- シリーズ物はあちこちの館ではなく 1、2 か所の館にまとめて所蔵して欲しい。
- 各人の興味あることへの新情報、本が入れば窓口で勧めてくださるサービスがあると嬉しいです。

- CDが少ない。新しいCDをもっと入れて欲しい。(Jポップの)
- 多くのリクエストがあるのであれば漫画でも購入を検討していただきたいです。
- 返却本を直ぐ棚にしまわず仮置きに置いて欲しい。いろんなジャンルの本の発見が多いので古い本が何年もそのまま本棚に置いて貸出している。各図書館でのローテーションをしていろいろな本を揃えるようにして欲しい。
- 本の量や自習スペースが増えるとありがたいです。
- 子供達の図書館離れをなくすため、自習スペースを増やしてあげるほうがいいと思います。
- Wi-Fiの利用もあれば
- 交通の便が悪い体育施設の駐車場が有料になったが、交通の便が良い図書館の駐車場の有料の方が先ではないのか？順序がおかしい。
- 枚方市駅の近くに図書館がない。
- 中央図書館へのアクセスが悪いので利用できない。枚方市駅の近くにあればいいのと思う。
- カギの受け渡しを2Fに戻すべき。

【分室】

- いつ来ても同じ本ばかりである。定期的に他の図書館と入れ替えは？
- 地域にある分室が遠くにある立派な図書館より絶対に必要だと痛感しております。是非残して下さる事を切望します。
- 香里ヶ丘図書館のリニューアル後、当分室が廃止になる方向で話があるそうですが、車も自転車の利用ができない私は非常に残念です。是非、存続でお願いしたいです。
- 中央図書館が遠すぎて利用できないのが残念！市役所近辺にあればいいのですが(村野在住)
- ラポールに静かに本を読める図書館らしい空間を作ってください。

【その他】

- 子供もインターネットでの予約や利用確認ができるようにしてほしい。
- 小学生のカードで借りた本も、インターネットで延長手続きができるとう嬉しいです。
- ネット予約のマイページで読んだ本の履歴があると便利だと思います。
- コミックのリクエストもできたら嬉しいです。

「図書館サービスに関するスマホアンケート」の集計結果について

I. 調査の概要

(1) 目的

枚方市立図書館第3次グランドビジョン（以下「第3次グランドビジョン」と言う。）では、図書館運営の評価を行うにあたり、より市民の意見が反映された評価を行うため、従来の貸出冊数や方数等の定量的評価に加え、方満足度等の定性的評価を実施することを明らかにしています。

本調査の質問項目は、第3次グランドビジョンにおいて、進捗状況の評価を行うために、図書館未方のニーズの把握と図書館サービスの認知度を把握するために作成したもので、図書館運営の定性的評価を行うために実施するものです。

(2) 対象

枚方市立図書館利用・未利用者

(3) 調査方法

広聴相談課によるスマホアンケートを利用してアンケートを実施

(4) 実施時期

令和元年6月1日から令和元年6月19日

(5) 回答結果

有効回答数 79 人

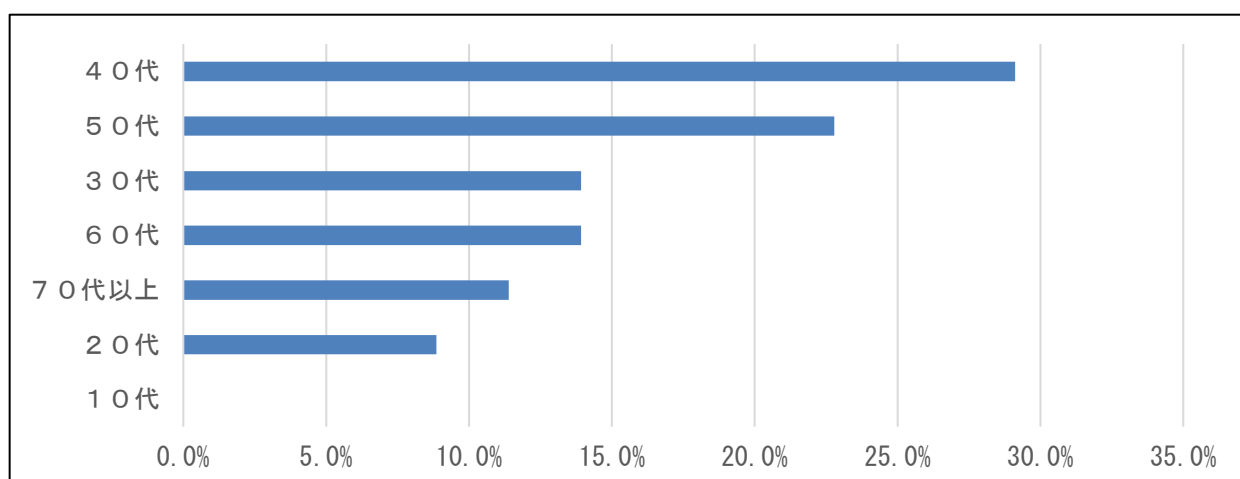
(6) アンケート結果の見方

- ・特に指定のない場合、回答比率はアンケート有効回答数の件数を母数として算出し、百分率の小数点第2位を四捨五入しました。

Ⅱ. アンケート結果

あなたの年齢をお尋ねします

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
40代	29.1%	23
50代	22.8%	18
30代	13.9%	11
60代	13.9%	11
70代以上	11.4%	9
20代	8.9%	7
10代	0.0%	0
合計		79

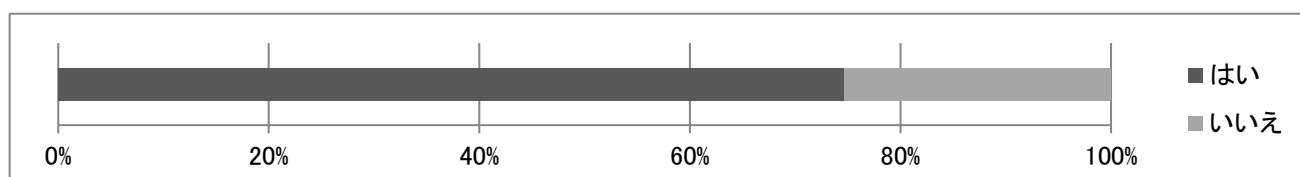


(質問1) 市立図書館を利用されたことはありますか

有効回答数 79 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
はい	74.7%	59
いいえ	25.3%	20
合計		79

市立図書館を利用したことがあると回答した方の割合は74.7%で、利用したことがないと回答した方の割合は25.3%。回答者の約7割が利用している。

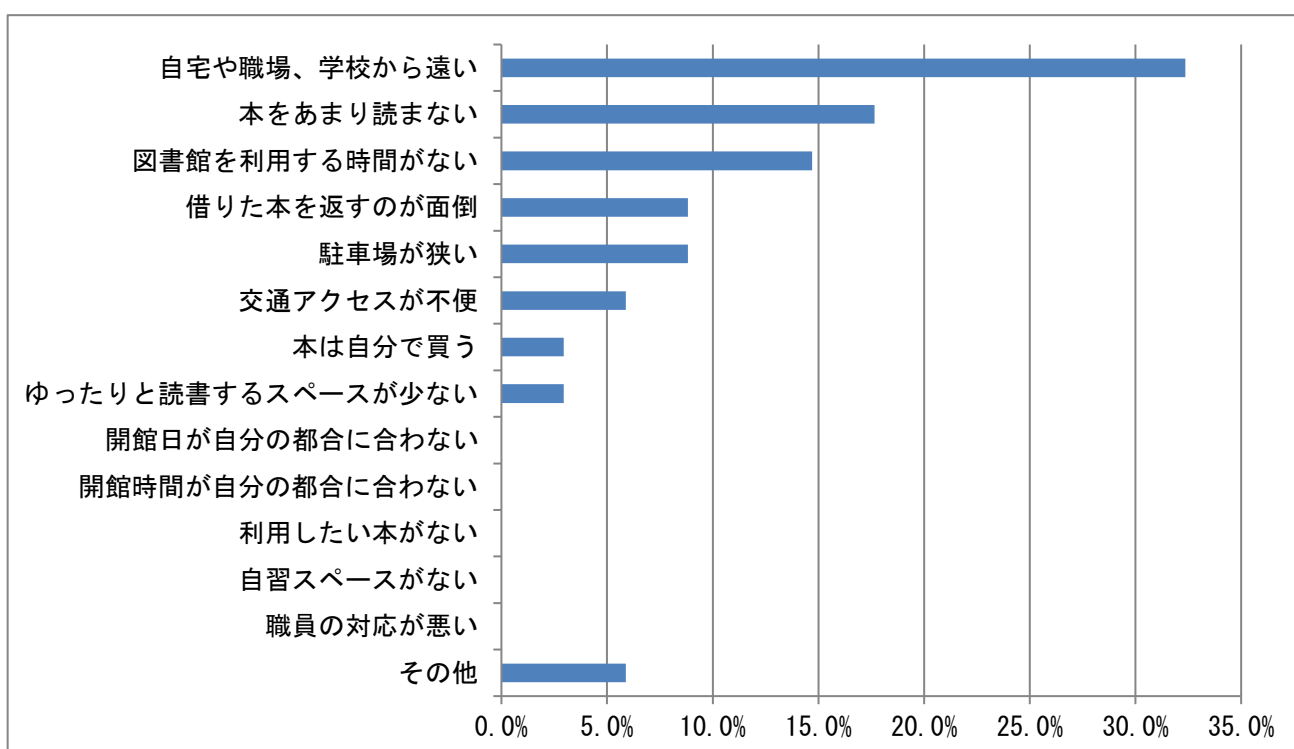


(質問2) 問1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。市立図書館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものを3つまで選んでください)

有効回答数 20人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
自宅や職場、学校から遠い	32.4%	11
本をあまり読まない	17.6%	6
図書館を利用する時間がない	14.7%	5
借りた本を返すのが面倒	8.8%	3
駐車場が狭い	8.8%	3
交通アクセスが不便	5.9%	2
本は自分で買う	2.9%	1
ゆったりと読書するスペースが少ない	2.9%	1
開館日が自分の都合に合わない	0.0%	0
開館時間が自分の都合に合わない	0.0%	0
利用したい本がない	0.0%	0
自習スペースがない	0.0%	0
職員の対応が悪い	0.0%	0
その他	5.9%	2
合計		34

「利用したことがない」と回答した人のうち、図書館を利用しない理由として、32.4%の人が自宅や職場、学校から遠いと回答。
次いで本をあまり読まない、図書館を利用する時間がない、駐車場が狭い、借りた本を返すのが面倒を理由に挙げている。

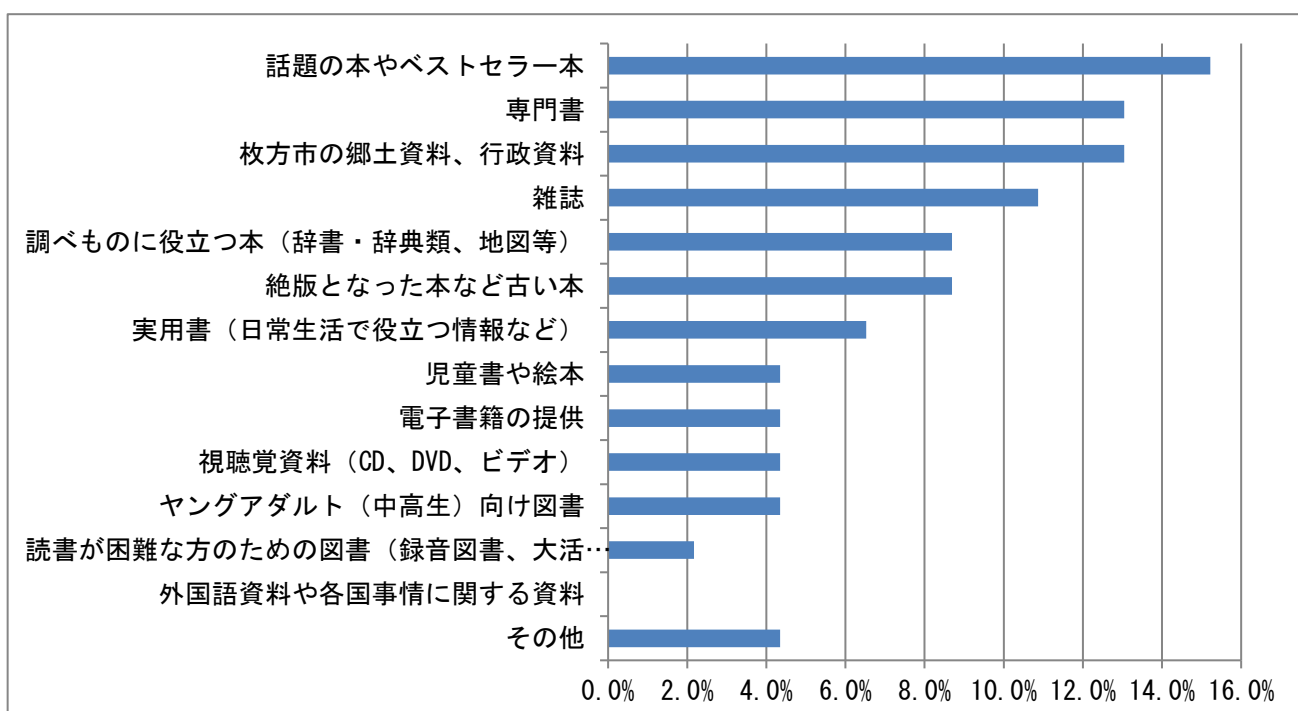


(質問3) 問1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。図書館の資料について、どの分野を充実させれば良いと思いますか。(あてはまるものを3つまで選んでください)

有効回答数 20人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
話題の本やベストセラー本	15.2%	7
枚方市の郷土資料、行政資料	13.0%	6
専門書	13.0%	6
雑誌	10.9%	5
絶版となった本など古い本	8.7%	4
調べものに役立つ本 (辞書・辞典類、地図等)	8.7%	4
実用書 (日常生活で役立つ情報など)	6.5%	3
ヤングアダルト (中高生) 向け図書	4.3%	2
視聴覚資料 (CD、DVD、ビデオ)	4.3%	2
電子書籍の提供	4.3%	2
児童書や絵本	4.3%	2
読書が困難な方のための図書 (録音図書、大活字本等)	2.2%	1
外国語資料や各国事情に関する資料	0.0%	0
その他	4.3%	2
合計		46

利用したことがないと回答した人のうち、15.2%の人が話題の本やベストセラー本の充実を求めている。
 次いで、13%の人が枚方市の郷土資料、行政資料、専門書の充実を求めている。
 また、10.9%の人が雑誌を8.7%の人が絶版となった本など古い本、調べものに役立つ本 (辞書・辞典類、地図等) といった図書館でなければ利用することのできない本の充実を求めている。

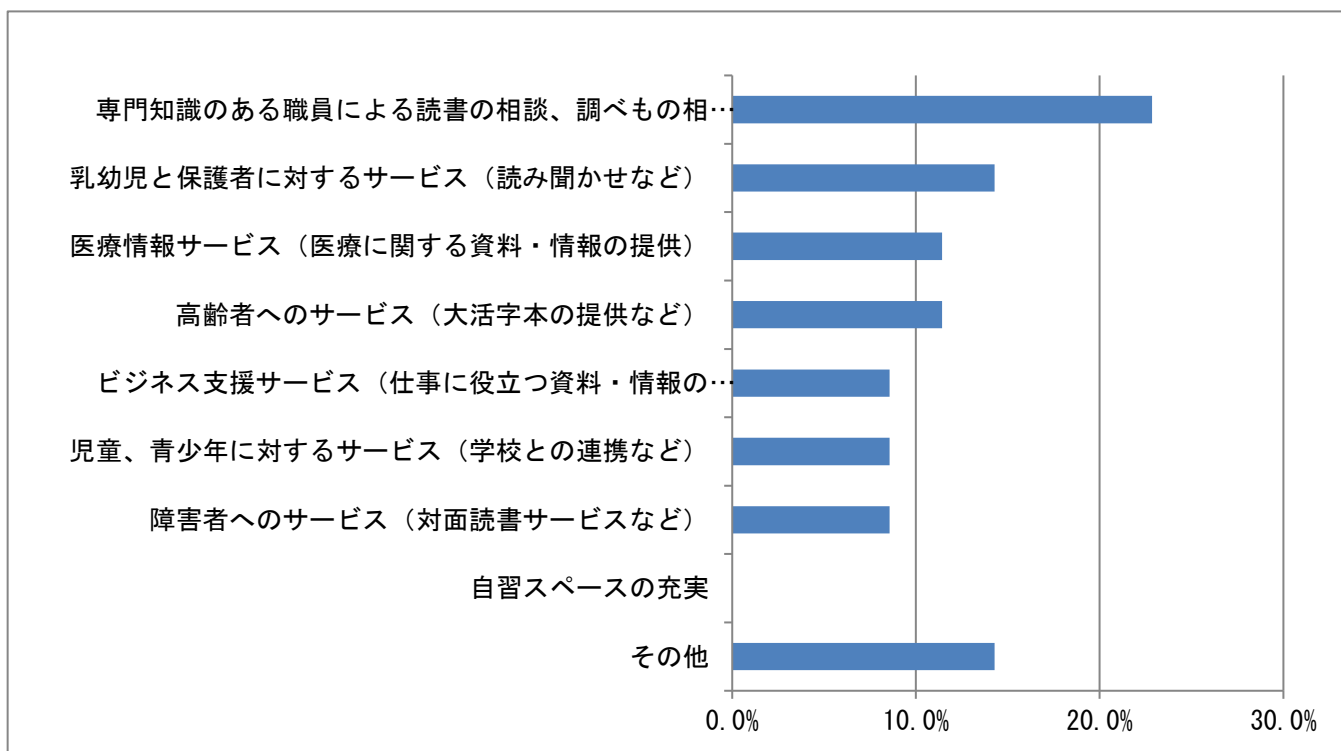


(質問4) 問1で「いいえ」と回答した方にお聞きします。どのような図書館サービスを充実させていけばよいと思いますか。(あてはまるものを3つまで選んでください)

有効回答数 20人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
専門知識のある職員による読書の相談、調べもの相談等	22.9%	8
乳幼児と保護者に対するサービス (読み聞かせなど)	14.3%	5
医療情報サービス (医療に関する資料・情報の提供)	11.4%	4
高齢者へのサービス (大活字本の提供など)	11.4%	4
ビジネス支援サービス (仕事に役立つ資料・情報の提供)	8.6%	3
児童、青少年に対するサービス (学校との連携など)	8.6%	3
障害者へのサービス (対面読書サービスなど)	8.6%	3
自習スペースの充実	0.0%	0
その他	14.3%	5
合計		35

利用したことがないと回答した人は、専門知識のある職員による読書の相談、調べもの相談の充実を求めており、次いで、乳幼児と保護者に対するサービス、高齢者へのサービス、医療情報サービスを求めている。



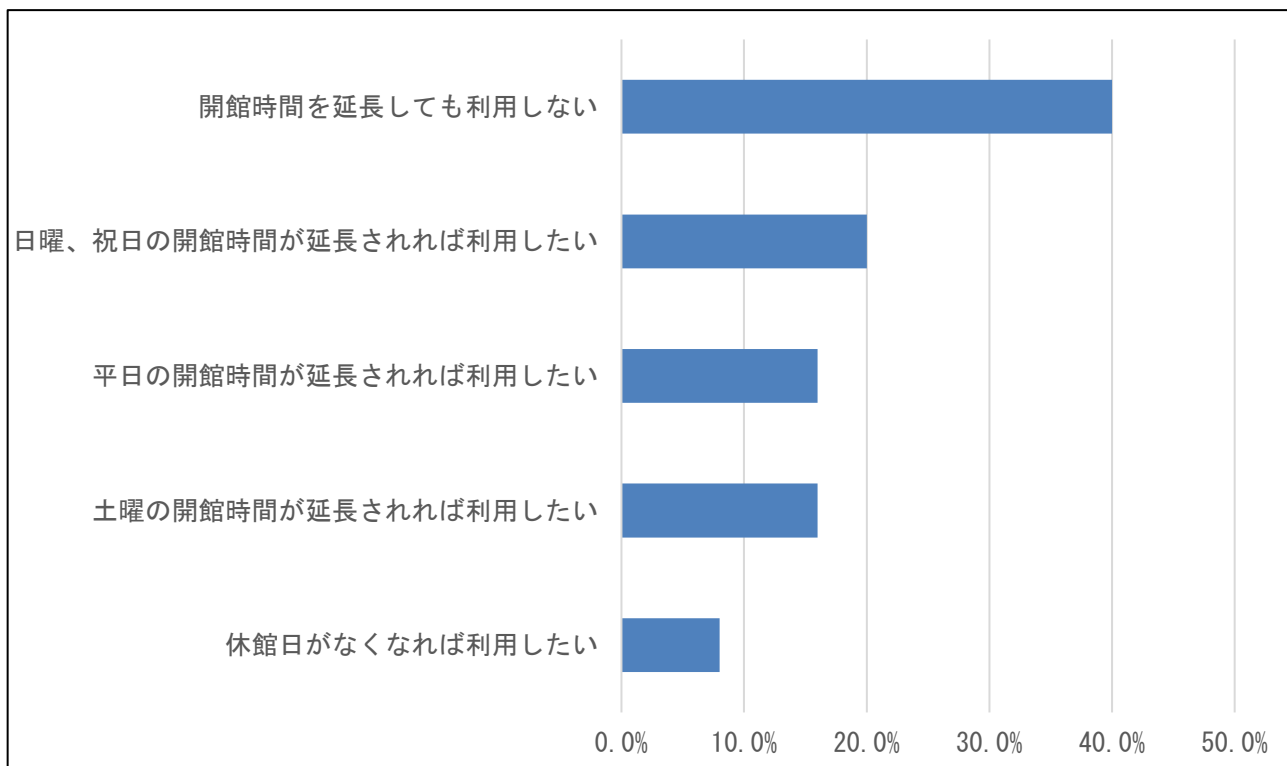
(質問5) 問5. 問1 で「いいえ」と回答した方にお聞きします。市立図書館の開館時間は、中央は、平日午前9時30分から午後7時、土日祝午前9時30分から午後5時、さだ、牧野、楠葉、菅原、御殿山、津田は、平日午前9時から午後9時、土日祝は午前9時から午後5時までです。開館時間を延長した場合、利用したいと思いますか。(あてはまるものをすべて選んでください)

有効回答数 20 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
開館時間を延長しても利用しない	40.0%	10
日曜、祝日の開館時間が延長されれば利用したい	20.0%	5
土曜の開館時間が延長されれば利用したい	16.0%	4
平日の開館時間が延長されれば利用したい	16.0%	4
休館日がなくなれば利用したい	8.0%	2
合計		25

利用したことがないと回答した人のうち、40%の人が、開館時間を延長しても利用しない回答している。

次いで、日曜、祝日の開館時間を延長すれば利用したいと回答した人は20%と、平日、土曜日の開館時間延長を希望する人を若干上回っている。

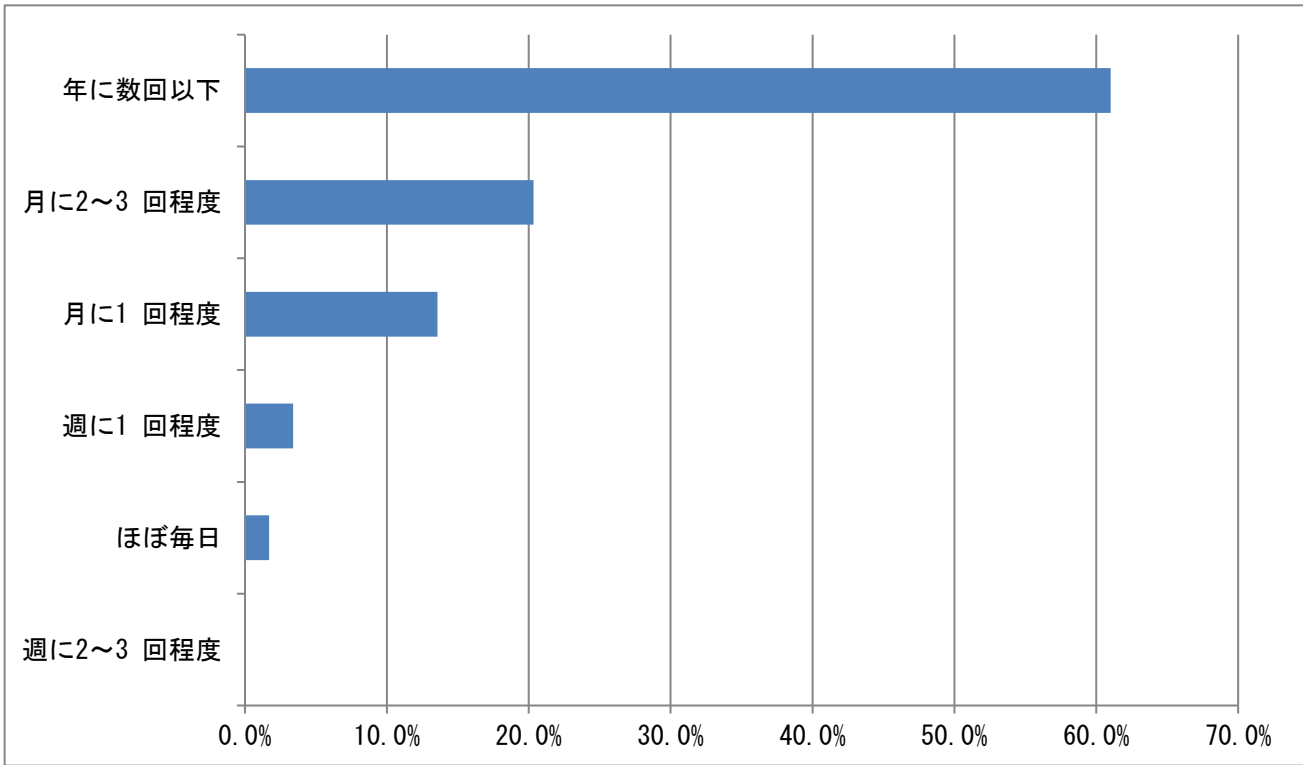


(質問6) 問1で「はい」と回答した方にお聞きします。図書館を利用する頻度はどの程度ですか？

有効回答数 59 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
年に数回以下	61.0%	36
月に2~3 回程度	20.3%	12
月に1 回程度	13.6%	8
週に1 回程度	3.4%	2
ほぼ毎日	1.7%	1
週に2~3 回程度	0.0%	0
合計		79

図書館を利用したことがあると回答した方の利用頻度は、年に数回以下が61%と高い割合でしたが、次いで20.3%の人が、月に2~3 回程度とコンスタントに利用している。



(質問7) 問1で「はい」と回答した方にお聞きします。図書館をどのように利用していますか？(あてはまるものをすべて選んでください) (1個以上10個以内)

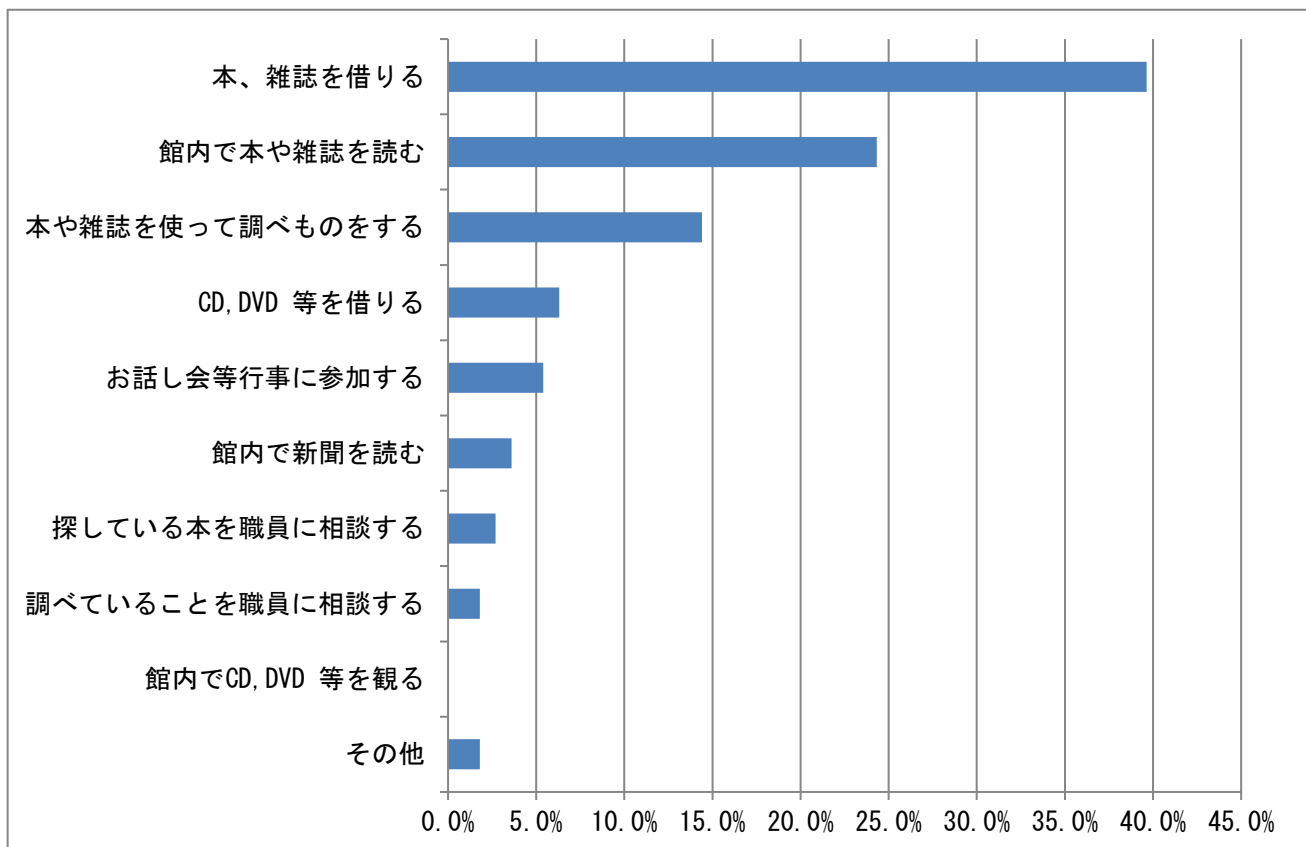
有効回答数 59人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
本、雑誌を借りる	39.6%	44
館内で本や雑誌を読む	24.3%	27
本や雑誌を使って調べものをする	14.4%	16
CD, DVD 等を借りる	6.3%	7
お話し会等行事に参加する	5.4%	6
館内で新聞を読む	3.6%	4
探している本を職員に相談する	2.7%	3
調べていることを職員に相談する	1.8%	2
館内でCD, DVD 等を観る	0.0%	0
その他	1.8%	2
合計		111

図書館を利用したことがあると回答した方のうち、39.6%の人が、本や雑誌を借りる館外貸出サービスを利用している。

次いで、館内サービス（本や雑誌、新聞の閲覧、調べもの、おはなし会などの行事への参加、館内で新聞を読むなど）滞在型の図書館利用と続く。

一方、職員に探している本を相談する人は2.7%、調べていることを相談する人は1.8%とさらに低い。

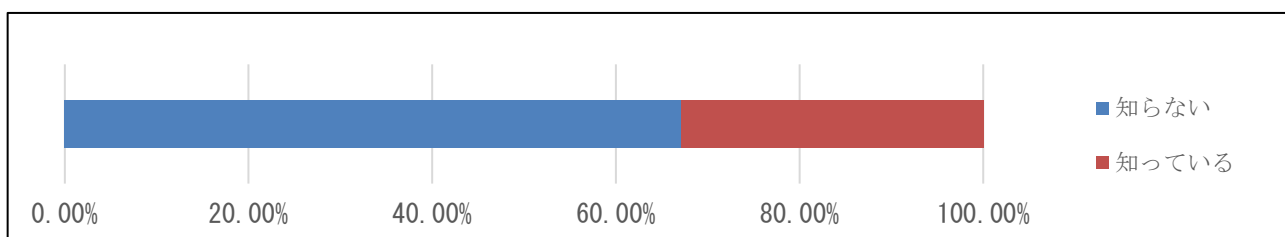


(質問8) すべての方にお聞きします。市立図書館では、職員が調べもののお手伝いをするレファレンスサービスを行っています。このことをご存知ですか？ (必須)

有効回答数 79 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
知らない	67.1%	53
知っている	32.9%	26
合計		79

アンケート回答者のうち 67.1%が図書館でのレファレンスサービスを知らないと回答。レファレンスサービスの認知度は低い。

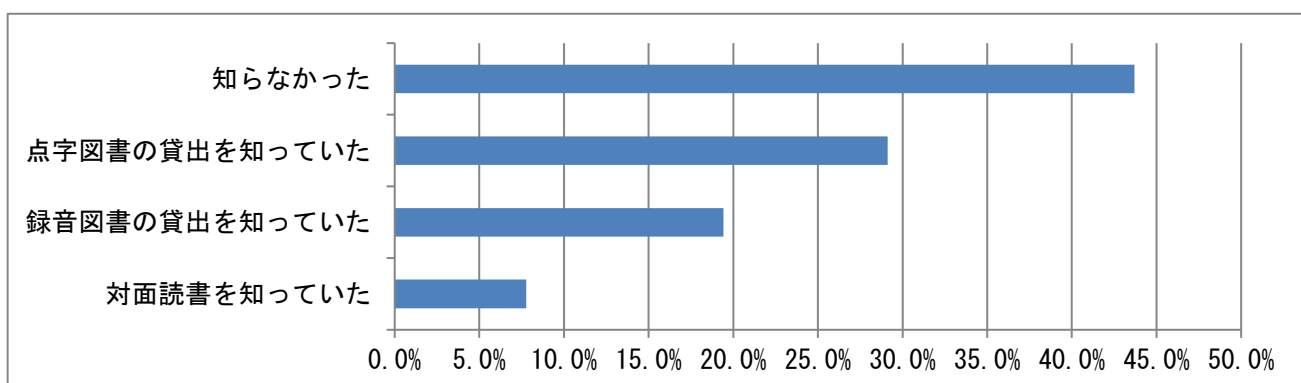


(質問9) すべての方にお聞きします。市立図書館では、視覚障害など障害のある方へのサービスとして、点字図書や録音図書の貸出、対面読書などを行っています。これらのサービスをご存知でしたか？ (あてはまるものをすべて選んでください) (必須。1 個以上 3 個以内)

有効回答数 79 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
知らなかった	43.7%	45
点字図書の貸出を知っていた	29.1%	30
録音図書の貸出を知っていた	19.4%	20
対面読書を知っていた	7.8%	8
合計		103

アンケート回答者のうち 43.7%の人が障害者サービスを知らなかったと回答。
また、対面読書のサービスは、点字図書の貸出や録音図書の貸出よりも認知度が低い。



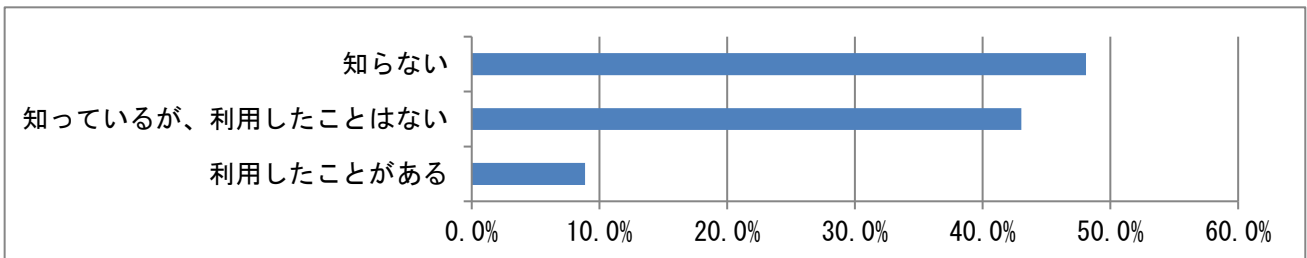
(質問 10). 中央図書館 3 階に自学・自習コーナーを、さだ図書館と牧野図書館にはラーニングルームとして、御殿山図書館では自学自習タイム時に自習可能なスペースを設けています。このことについて、どこか 1 箇所でもご存知ですか。

(あてはまるものを選んでください)

有効回答数 79 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
知らない	48.1%	38
知っているが、利用したことはない	43.0%	34
利用したことがある	8.9%	7
合計		79

アンケート回答者のうち 48.1%の方が図書館での自習可能なスペースを設けていることを知らないと回答。一方、43%の方が、知っているが、利用したことはないと回答した。

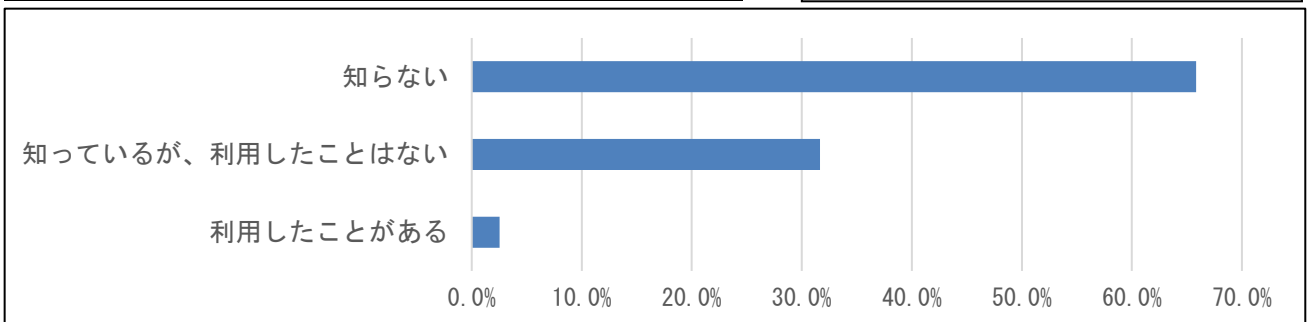


(質問 11). 北片鉾バス停と樟葉駅がバスで結ばれ、中央図書館へのアクセスがより便利になっています。このことをご存知ですか。(必須)

有効回答数 79 人

選択肢	割合 (%)	回答数 (人)
知らない	65.8%	52
知っているが、利用したことはない	31.6%	25
利用したことがある	2.5%	2
合計		79

アンケート回答者のうち 2.5%の人が北片鉾バス停と樟葉駅が平成 30 年 4 月 1 日よりバスで結ばれたのを「知っていて利用している」と回答、「知っているが利用していない」と回答した方の割合は 31.6%、「知らない」と回答した方の割合は 65.8%。



※各ページ表中の「%」は小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計値に±0.1%の誤差が生じる場合があります。

「市政モニター 図書館利用に関するアンケート」の集計結果について

I. 調査の概要

(1) 目的

現在、枚方市立図書館には、中央図書館をはじめ分館（7カ所）、分室（10カ所）、自動車文庫と数多くのサービスポイントがあり、児童書や一般書、雑誌、新聞、CD、DVDなど様々な資料で情報提供等を行っています。また、インターネット予約サービスや図書宅配サービス、おはなし会やブックトークによるサービスなども行っています。

このアンケートは、図書館を利用している方はもとより、利用されていない方にも活用していただけるサービスを提供していく基礎資料とさせていただきたいと考え、実施したものです。

(2) 対象

枚方市立図書館利用・未利用者

(3) 調査方法

広聴相談課による市政モニターを利用してアンケートを実施

(4) 実施時期

令和元年8月26日から令和元年9月10日

(5) 回答結果

有効回答数 293 人

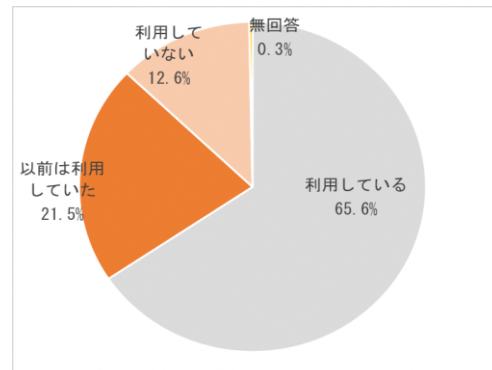
(6) アンケート結果の見方

・特に指定のない場合、回答比率はアンケート有効回答数の件数を母数として算出し、百分率の小数点第2位を四捨五入しました。

Ⅱ. アンケート結果

(質問1) 枚方市には中央図書館をはじめ、分館、分室、自動車文庫等多様なサービスポイントがあります。枚方市立図書館を利用されていますか？

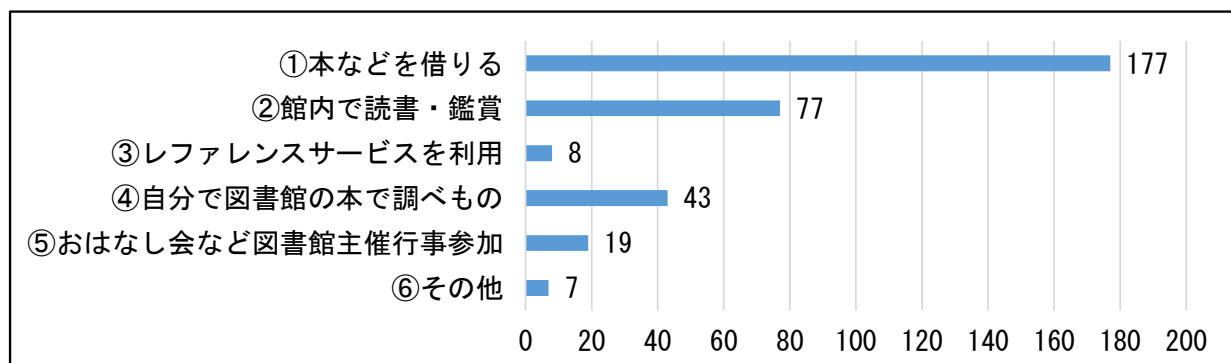
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 利用している	192	65.6
② 以前は利用していた	63	21.5
③ 利用していない	37	12.6
無回答	1	0.3
合計	293	



『利用している』が65.5%で全体の約3分の2が現在図書館を利用しています。また『以前は利用していた』が21.5%あり、両者を合わせると87%の人が図書館利用経験であり、利用していない人は12.6%でした。

(質問2) 問1で図書館を「利用している」と回答した方にお聞きします。利用しているものを教えてください。(3つ以内で選んでください)

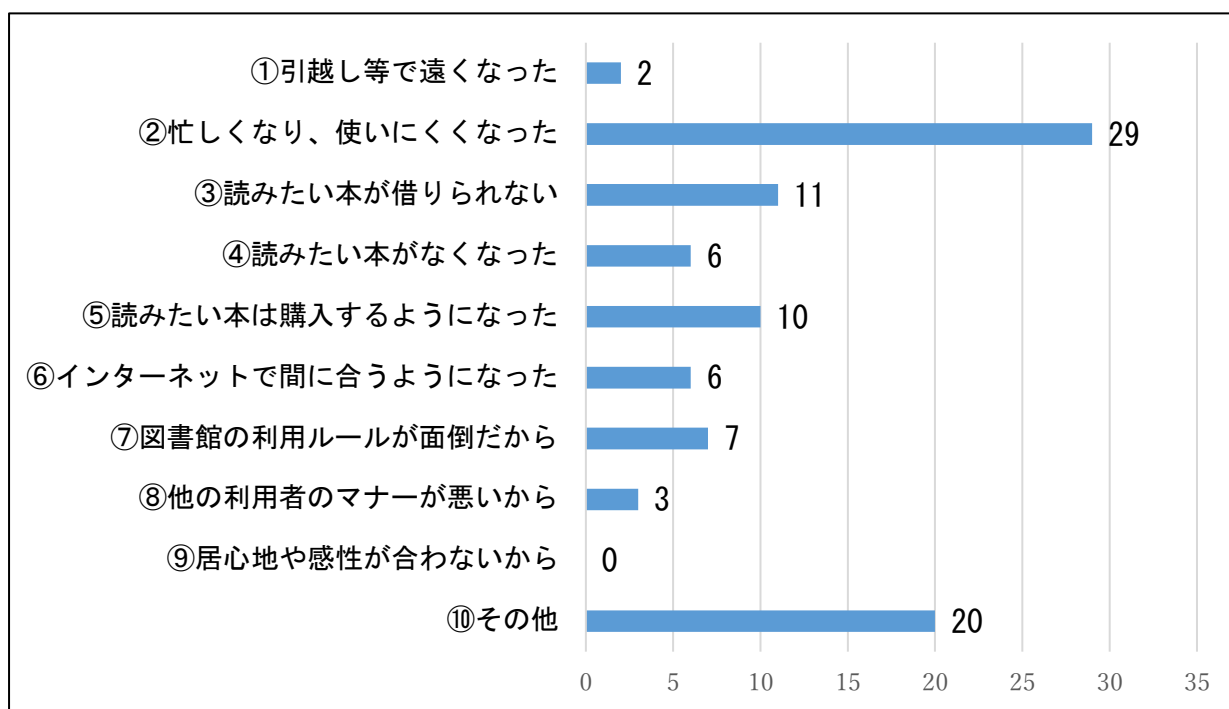
選択項目	回答数 (計)
① 本などを借りる	177
② 館内で読書・鑑賞	77
③ レファレンスサービスを利用	8
④ 自分で図書館の本で調べもの	43
⑤ おはなし会など図書館主催行事参加	19
⑥ その他	7
合計	331



『本などを借りる』の回答数が177、『館内で読書・鑑賞』が77と高い数値であるのと対照的に『レファレンスサービスを利用』の数が8と少ない状況です。問題や課題を解決するために図書館職員に問い合わせられることが浸透していないと思われます。

(質問3) 問1で図書館を以前は利用していた」と回答した方にお聞きします。利用しなくなった理由は何ですか。(3つ以内で選んでください)

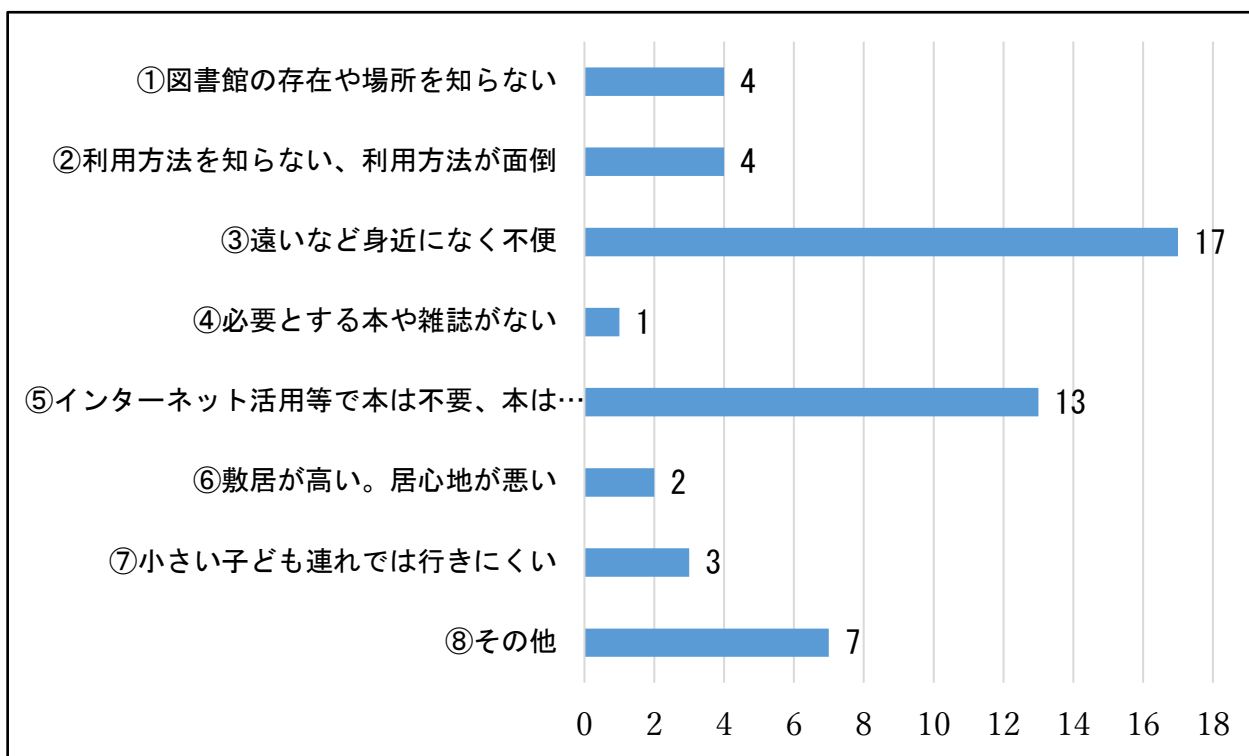
選択項目	回答数 (計)
① 引越し等で遠くなった	2
② 忙しくなり、使いにくくなった	29
③ 読みたい本が借りられない	11
④ 読みたい本がなくなった	6
⑤ 読みたい本は購入するようになった	10
⑥ インターネットで間に合うようになった	6
⑦ 図書館の利用ルールが面倒だから	7
⑧ 他の利用者のマナーが悪いから	3
⑨ 居心地や感性が合わないから	0
⑩ その他	20
合計	94



『忙しくなり、使いにくくなった』の数値が29と高く、続いて「読みたい本が借りられない」「読みたい本がなくなった」「読みたい本は購入するようになった」という図書館の蔵書に対する意見が合わせて27となっています。また、その他の中には、香里ヶ丘図書館の工事や市駅前サテライトの閉室・移転などの影響が多く、加齢により本を読まなくなるケースも複数ありました。

(質問4) 問1で図書館を「利用していない」と回答した方にお聞きします。利用しない理由は何ですか。(3つ以内で選んでください。)

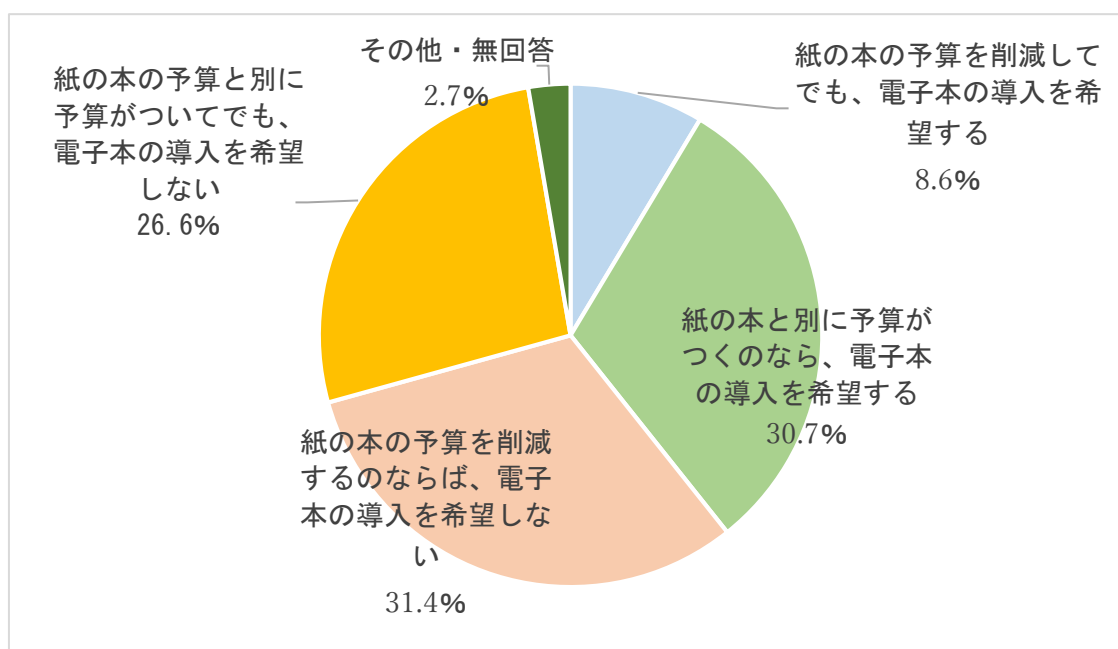
選択項目	回答数 (計)
① 図書館の存在や場所を知らない	4
② 利用方法を知らない	4
③ 遠いなど身近になく不便	17
④ 必要とする本や雑誌がない	1
⑤ インターネット活用等で本は不要、本は購入する	13
⑥ 敷居が高い。居心地が悪い	2
⑦ 小さい子ども連れでは行きにくい	3
⑧ その他	7
合計	51



「遠いなど身近になく不便」が17、「インターネット活用等で本は不要、本は購入する」が13と続いています。その他の中には市駅周辺に図書館施設を求める声や施設のバリアフリー化を求める声がありました。

(質問5) 図書館は電子本（パソコンやスマートフォンなどで、インターネットからダウンロードするなどして読む本）を導入した方がよいと思いますか？

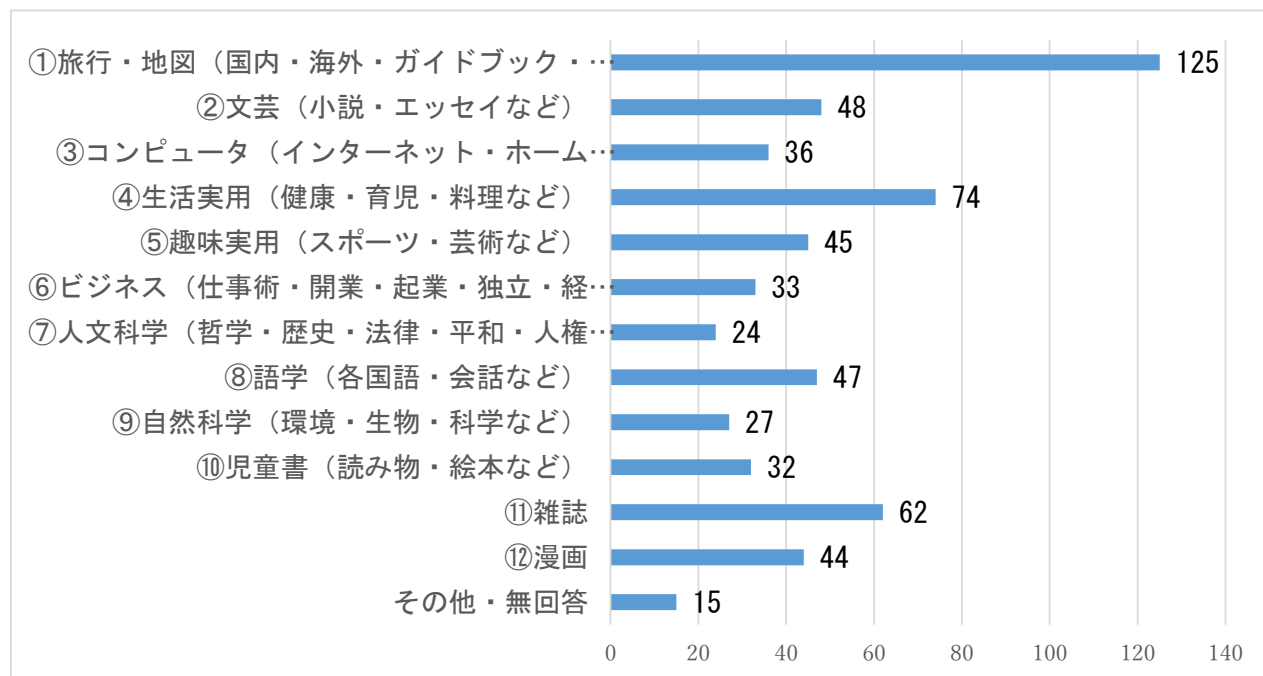
選択項目	回答数 (人)	割合 (%)
① 紙の本の予算を削減してでも、電子本の導入を希望する	25	8.6
② 紙の本と別に予算がつくのならば、電子本の導入を希望する	90	30.7
③ 紙の本の予算を削減するのならば、電子本の導入を希望しない	92	31.4
④ 紙の本の予算と別に予算がついても、電子本の導入を希望しない	78	26.6
その他・無回答	8	2.7
合計	293	



電子本を購入する①、②を合わせると 39.3%となり、電子本に関心のある人が一定数存在することがわかりました。しかし予算の配分によるものの電子本の導入を希望されていない方は③、④合わせると 58%という状況でした。

(質問6) 問5で①または②と回答した方にお聞きします。電子本を導入する場合、どの分野が適当だと思いますか。(あてはまるものすべて選んでください)

選択項目	回答数 (件)
① 旅行・地図 (国内・海外・ガイドブック・地図など)	125
② 文芸 (小説・エッセイなど)	48
③ コンピュータ (インターネット・ホームページ・表計算・ワープロソフトなど)	36
④ 生活実用 (健康・育児・料理など)	74
⑤ 趣味実用 (スポーツ・芸術など)	45
⑥ ビジネス (仕事術・開業・起業・独立・経済・経営・自己啓発など)	33
⑦ 人文科学 (哲学・歴史・法律・平和・人権など)	24
⑧ 語学 (各国語・会話など)	47
⑨ 自然科学 (環境・生物・科学など)	27
⑩ 児童書 (読み物・絵本など)	32
⑪ 雑誌	62
⑫ 漫画	44
その他・無回答	15
合計	612



『旅行・地図』の回答数が圧倒的に多く、続いて生活実用 (健康・育児・料理) となり、持ち歩いたり何度も見るものが求められていると考えられます。

（質問7）問5で③または④と回答した方にお聞きします。希望しない理由は何ですか。

<主なご意見> ※ご意見を大きく分けると以下の4つとなりました。

【紙の本を好む意見】

- ・紙に触れて一枚一枚めくって行く方が理解できるから。
- ・紙の本を手にするときの安らぎのような感触が好きであり、活字（紙の本による）文化を大切にしたいから。『枚方市立図書館』は電子本の導入のない図書館として存在してほしい。
- ・電子本よりも紙の本の方が読みやすく、昔からなじみ深い紙の本の方が好きであるため、予算を減らしてほしくないと思う。
- ・紙の本を持ち歩く（電車などで読むため）のが好きであり、電車に乗ったら90%以上の方がスマホを見てられたので、ちょっと異様に感じた。
- ・幼児等、読み聞かせ等で温もりのある家庭、学校等、子供のすこやかな成長にかかせないから。
- ・パソコンやスマートフォンの使用の仕方は理解できるが「本」等は紙の本で、手にとって見るべきもので、図書館は紙の本がいいと思うから。

【電子本は目に悪いのではと危惧する意見など】

- ・子供にこれ以上スマホの利用を増やしてほしくないから。老眼で読みにくく疲れるから。
- ・目に良くないし、目が疲れるので個人的に好きではないから。
- ・スマホ、電子データで読むとせかされているようで嫌である。ゆったりとした所でゆっくりと読みたいから。
- ・スマホ等の電子機具は字も細かいし見づらいから。
- ・充電を気にしながら読まないといけない、また、電子本は返却なしで期限が切れたら読めなくなるなど、いろいろ疑問点が増えるから。

【インターネットがあるので不要】

- ・インターネットからダウンロードできる環境を持っている人は図書館を利用しなくても自分でできるので介在する意味がない。

【インターネットを利用しない・操作が難しい】

- ・全ての方がパソコンやスマートフォンを持っているとは限らないと思うから。
- ・インターネット等を利用していない、または利用できない人がまだたくさんいると思うから。
- ・高齢者なので電子本等は操作が難しいし、慣れるまでに時間がかかると思うから。

考察

いただいたご意見を大きく分けると【紙の本を好む意見】【電子本は目に悪いのではと危惧する意見など】【インターネットがあるので不要】【インターネットを利用しない・操作が難しい】の4種類に分けられる。

電子本の導入を希望していない方は、読みやすさなどから慣れ親しんだ紙の本を求め、電子本が目には悪いのではないかと危惧される傾向にあること、また、子どもへの影響を心配する声もありました。

まとめ

図書館を「利用している」方にとって、図書館は、本を自分で探して借りる場所、読書をする場所というイメージが強いように思われます。これまで図書館では、利用者が自分で資料を探せるような図書館づくりを進めてきたものの、職員が資料を探す手助けをするレファレンスの周知が不十分であったと思われます。

図書館を利用しない理由として、問3から、インターネットの普及による影響は想定より少なく、図書館の場所の問題や自分の時間が取れないという回答があることから、開館時間やサービス拠点などの周知が不十分であったと思われます。また、読みたい本が借りられないなど、蔵書に関する回答も多く、市民ニーズに促した蔵書構成についても検討が必要であると考えられます。

電子本については、電子本に関心がある人は一定数存在し、その人々が希望する資料には旅行・地図、生活実用などが多い結果でした。電子本を希望しない理由としては、目への悪影響を気にしていることと、紙の本への愛着が多く見られます。

図書館では、今回の市政モニターアンケートの結果を参考に、市民の方々の読書を支援するとともに、市民の生活や仕事に関する課題解決に資するよう情報提供機能を充実させるなど、より多くの市民の方々に利用していただけるよう取り組んでまいります。

※各ページ表中の「%」は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値に $\pm 0.1\%$ の誤差が生じる場合があります。

枚方市立図書館第3次グランドビジョン「重点施策」進捗状況表

【運営方針①】基礎的な図書館サービスを充実します												
取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況		
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
b. 資料・情報提供機能の充実	求めに応じたレファレンスサービスの充実	レファレンスサービスの周知と利用促進	従前の取り組みを継続	レファレンスサービスの認知度調査結果と利用回数	■「レファレンスサービス」の文言のカウンター上への掲示の義務付け及び可能な範囲での専門コーナー設置 ■館内での「レファレンスサービス」の周知を図る掲示及びホームページでの重点的な周知					・参考資料室とレファレンスサービスの周知のため、ポスターを3種類作成し、館内に掲示するとともに、中央図書館のデジタルサイネージでもPRを行っている。 ・読書週間の際に、「天使のいる図書館」上映会を行った。またバックヤードツアーではレファレンスなど色々なサービスを紹介した。 ・レファレンスに関する認知度調査結果は、「知っている利用している」と回答した利用者の割合は14.3%、「知っているが利用していない」と回答した利用者の割合は34.5%、サービス自体を「知らない」と回答した利用者の割合は49.7%であった。 ・平成30年度の中央図書館・分館のレファレンス件数合計は56,547件		
d. 図書館という空間の魅力向上	滞在型図書館への移行	滞在しやすい環境整備	(参考事例)									
			* 座席数の拡大	30年度達成予定	満足度調査(居心地)	<input type="checkbox"/> 座席数拡大計画の立案	<input type="checkbox"/> 机・イス購入費用の予算要求	■座席数の拡大				平成30年3月に中央図書館に自学・自習コーナーをさだ図書館、牧野図書館ではラーニングルームを試行設置し、4月1日から本格実施した。御殿山図書館では自学自習タイムを9月3日から設けた。(中央図書館27席、さだ図書館24席、牧野図書館27席、御殿山図書館16席の座席数拡大を行った)
			* 飲み物コーナーの設置			<input type="checkbox"/> 図書館での飲み物持込ルールの作成	<input type="checkbox"/> 可能な館でのコーナー設置	■座席の拡大と合わせたコーナー設置			楠葉図書館、菅原図書館、津田図書館、御殿山図書館で夏季限定で飲料水の提供サービスを行った。	
			* 居場所としての機能のPR			<input type="checkbox"/> 市民の居場所機能に着目した滞在型図書館を目指すことでの各種PRの実施	■同左	■同左			夏季に「避暑空間」としての図書館利用のPRを行った。	
			* お一人様スペースの設置			<input type="checkbox"/> (設置可能な年度から) 机をパーテーションで区切るなど、一人になれるスペースの確保に向けた計画の立案及び実施					館内レイアウトの見直しも含め引き続き検討を行う。	
		→							図書館が滞りに適した空間であるかどうかの満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は84.3%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は14%であった。			
	学習環境整備	(参考事例)										
		* 自習室の設置等、和やかスペースと静かな環境の分離	30年度達成予定	満足度調査(利便性)	<input type="checkbox"/> 館ごとの設置場所及び管理手法等の検討	<input type="checkbox"/> 最低限の施設改修に必要な予算要求	■施設改修後に(仮称)自習室を設置・運用開始				平成30年3月に中央図書館に自学・自習コーナーをさだ図書館、牧野図書館ではラーニングルームを試行設置し、4月1日から本格実施した。御殿山図書館では自学自習タイムを9月3日から設けた。(中央図書館27席、さだ図書館24席、牧野図書館27席、御殿山図書館16席の座席数拡大を行った)	
		* グループ学習が可能な場の確保			<input type="checkbox"/> 中央図書館でのグループ学習室の運用開始及び分館でのセンター利用を前提としたグループ学習利用の検討		■分館での運用開始			館内レイアウトの見直しも含め引き続き検討を行う。		
		* Wi-Fi環境整備の検討			<input type="checkbox"/> 指定管理館での環境整備	<input type="checkbox"/> 中央図書館での環境整備の検討及び予算要求	<input type="checkbox"/> 中央図書館・分館でのWi-Fi環境の提供			複合分館6館の2階ロビーでWi-Fi環境の提供を行った。中央図書館は引き続き検討を行う。		
		→							図書館の学習環境整備に関する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は67.9%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は28.6%であった。			

【運営方針②】家庭生活及び職業上の課題や地域課題の解決のための各種支援機能を強化します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点						平成30年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
a. 課題解決支援	情報活用能力の育成	図書館及び情報活用講座の開催	28年度以降継続	開催の有無及び回数・参加者数	■講座実施計画の作成 ■図書館利用・活用、情報収集、情報整理、情報利用・活用講座等の開催	■同左 ■同左	■同左 ■同左	□同左 □同左	□同左 □同左>	・バックヤードツアー開催（年1回 計43人参加） ツアー内では、レファレンスサービスのPRや辞書や事典、郷土・行政資料などのレファレンスツールの紹介も行った。
		ビブリオバトルの実施		開催の有無及び回数・参加者数	■ビブリオバトルの開催	■同左	■同左	□同左	□同左>	第4回中学生のビブリオバトルを開催した（126人参加）
	社会状況を踏まえたレファレンス・レフェラルサービスの充実	子育て・医療・健康づくり関連の資料・情報提供、講座等の開催	28年度以降継続	*左記主題のレファレンス・レフェラルサービス件数	■専門コーナーの設置 ■窓口や出入口付近への図書館作成関連情報提供パンフの設置 ■関連講座の開催など	■同左 ■同左	■同左 ■同左	□同左 □同左	□同左 □同左>	・出産、育児、子育てに関連する資料の収集に留意した。 ・パスファインダー「認知症について調べる」「医療・健康情報を調べる」等を作成・発行 ・特集展示を実施 ・平成30年度の中央図書館・分館のレファレンス（人的支援）件数合計は56,547件
		その他社会状況を踏まえた必要な資料・情報提供、講座等の開催		*満足度調査（資料・情報提供等に対する積極的な姿勢）	■就労・福祉・年金・生きがい作り・地域づくりほか、市民が抱えるさまざまな課題の解決に必要な資料・情報の提供及び関連講座等の開催	■同左	■同左	□同左	□同左>	・パスファインダー「認知症について調べる」「医療・健康情報を調べる」等を作成・発行 ・社会教育課の講座に合わせてブックリスト配布（認知症、発達障害） ・DV予防教育用にブックリスト配布（小4対象 6校） ・「大人の学校」歴史や健康等をテーマに講座開催（年10回） ・平和関連等、多様な特集展示を行った。 ・多様な特集展示を行った。 社会的に話題となったテーマ、平和関連、郷土歴史（百済寺跡など）の関連資料を集めたミニ特集なども引き続き行った。 ・さだ・牧野図書館では地域歴史講座や地域歴史セミナーを開催した。 ・資料・情報提供に関する職員の積極的な姿勢に対する満足度調査結果は、満足、または概ね満足と回答した利用者の割合は88.5%で、やや不満、不満と回答した利用者の割合は7.3%であった。
b. 地域社会の結びつきの再生に向けた支援	地域活動に参加する人材を求めると地域活動を始めた人の出会いの場の提供	市内ボランティア団体の情報提供	29年度以降継続	団体リスト作成の有無	■市内ボランティア団体の調査、リスト掲載意思の確認、リスト作成、公開、PR	■同左	□同左	□同左	□同左>	市内ボランティア団体の調査を行い、紹介可能な市内ボランティア団体のリスト作成を行った。
		ボランティア紹介イベントの開催		開催の有無及び回数・参加者数	■ボランティア志望者とボランティア団体を結びつけるイベントの実施	■同左	□同左	□同左	□同左>	・子ども読書活動等推進ボランティア交流会を開催した。（52人参加） ・ボランティア同士の交流の場を兼ねた、えほんのひろば「本がぎょうさんならんたら」を実施した。（327人参加）
		図書館でのボランティア機会の提供	従前の取り組みを継続	登録人数・参加人数	■書架整理、寄贈本整理、図書修理、受付・案内など従来のボランティア機会の提供を継続	■同左	■同左	□同左	□同左>	お話し会、書架整理、寄贈本整理、図書修理、受付・案内など従来のボランティア機会の提供を行った。 （中央図書館ボランティア）おはなし会、書架整理、寄贈本整理、図書修理、受付案内など、活動機会の提供を引き続き行った。また研修として本の修理講習会も行った。（登録 91人） （学校図書館支援G）環境整備を実施する学校図書館の書架見出し作成について中央図書館ボランティアの協力を得た。

【運営方針③】教育的役割を重視した取り組みを推進します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					進捗状況	平成30年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
子ども読書活動の推進(最重点施策)	読書の楽しさを伝える 児童書の充実	質の高い図書 of 積極的な購入	従前の取り組みを継続	児童書の評価作業と評価結果に基づく資料収集の継続	□蔵書計画の児童書部分の改訂	■新たな蔵書計画に基づく資料収集	■同左	□同左	□同左	→	おすすめのこどもの本としてリストアップしたものを重点的に購入した。
		評価が定まった図書の汚損・破損分の買い替えの推進	従前の取り組みを継続	汚損・破損冊数に対する買い替え冊数の割合	□評価が定まった図書につき、従前どおりの買い替えを実施	■同左	■同左	□同左	□同左	→	図書の汚損・破損分の買い替え等を行った。(買い替え6,535冊) ※除籍数の76.4%を買い替えた。
		年齢に応じたおすすめ図書案内パンフの作成・配布	従前の取り組みを継続	配布枚数	■年齢層ごとの図書案内パンフの作成・配布	■同左	■同左	□同左	□同左	→	・乳児から小学生対象の「おすすめの子どもの本」リストを作成し、市内各図書館で配布した。 ・中学生・高校生向け「おすすめの本」リストを作成し、市内中学校生徒へ配布した。
	読書への動機付けの推進	おはなし会ほか各種イベントの実施	28年度以降継続	イベント実施回数・参加者数	■読書への動機付けとなる子ども向け各種イベントの開催	■同左	■同左	□同左	□同左	→	読書への動機付けとなるおはなし会や工作など、子ども向けの各種イベントを開催した。 子ども読書活動推進事業…16,978人 ボランティアによるおはなし会…1,392人
		読書通帳の発行に向けた検討	30年度達成予定	検討の実施・未実施	□読書通帳導入の可能性について検討し、結論を出す	→					→
	乳幼児期からの読書習慣を育てる	これからお母さん・お父さんになる「ブレママ」「ブレババ」対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催(マタニティスクール等への出前も検討)	28年度以降継続	開催の有無及び回数・参加者数	□「ブレママ」「ブレババ」対象の講座の開催(開催場所については図書館に限定しない)	■同左	□同左	□同左	□同左	→	未実施
		保護者等対象の絵本の与え方・読み聞かせ講座の開催		開催の有無及び回数・参加者数	■保護者や絵本の読み聞かせに関心のある市民向けの図書館内での講座の開催	■同左	■同左	□同左	□同左	→	絵本の読み聞かせ講座に置き換えて、紙芝居ボランティア養成講座を実施した。(2回52人参加)
		赤ちゃん向けブックリスト等年齢に応じたブックリストの配布	配布枚数	■乳幼児期の各年齢に応じたブックリストの作成・配布	■同左	■同左	□同左	□同左	→	赤ちゃん向けブックリスト「あかちゃんといっしょに はじめてのえほん」を配布した。(継続)	
		保育所(園)・幼稚園等における読書支援	29年度以降継続	団体貸出実施回数・冊数	■保育所(園)・幼稚園等に対する団体貸出等の読書支援の実施	■同左	□同左	□同左	→	保育所(園)・幼稚園等の読書支援として団体登録・貸出を行った。	
		保育士・幼稚園教諭等との相互交流の推進		開催の有無及び回数・参加者数	■保育士・幼稚園教諭等との子ども読書に係る情報交換等の実施	■同左	□同左	□同左	→	保育士・幼稚園教諭等を含む保育所・幼稚園の図書館見学・団体貸出を行った際に、希望や利用状況をうかがった。	

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況		
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度			
子ども読書活動の推進(重点施策) a. 読書習慣の育成	学齢期の読書習慣を育てる (学校図書館支援)	全市立中学校への学校司書派遣	30年度達成予定	派遣校数	■10校への派遣	■10校への派遣	■19校への派遣				10中学校区に加えて9中学校区に学校司書を配置し、枚方市内全中学校区に学校司書配置が完了した。	
		学校図書館蔵書データ化と学校間のオンライン化支援	28年度以降継続	*データ入力マニュアル等作成の有無 *データ入力済冊数 *オンライン化実施・未実施	<ul style="list-style-type: none"> ■オンライン化の実施 ■データ入力マニュアルの作成 ■システム運用マニュアルの作成 ■データ入力の実施 ■システム運用研修の実施 	■同左 ■同左	■同左 ■同左	□同左 □同左	□同左 □同左		学校図書館システムに関する学校からの問い合わせに対して技術的支援を行なった。 学校司書連絡会において学校司書を対象にシステムを活用した研修を実施した(計2回)。 3月、運用の手引きを改訂し平成31年度版を作成、周知した。	
		市立図書館コンピュータシステムとのオンライン化	28年度以降継続	オンライン化実施・未実施	<ul style="list-style-type: none"> ■市立図書館と学校図書館のコンピュータシステムのオンライン化の実施 ■学校図書館蔵書の利用状況分析と蔵書への反映 ■学校への利用状況報告及び司書教諭と連携した読書指導 	■同左 ■同左	■同左 ■同左	□同左 □同左	□同左 □同左		市立図書館・学校図書館の蔵書データベースを活用して、レファレンス対応や選書の参考等を行った。 全64小中学校の蔵書統計について教育指導課と情報共有化を図った	
		団体貸出用図書の充実	30年度達成予定	団体貸出用図書冊数	■学齢期の子ども向け団体貸出図書の購入	■同左	■同左					子どもに本を届ける事業の予算などから学校への団体貸出図書配本事業用に読書支援用団体貸出図書を675冊新規購入した。合計8013冊所蔵。
		学校巡回便事業の本格実施(読み物・調べ学習・朝読書支援用図書の配送)	30年度以降継続	団体貸出実施回数・冊数				□学校巡回便事業の本格実施	□同左	□同左		教育総務課の学校園連絡便(別便)を活用して学校教育支援用団体貸出を105件、学校へ配送した。
		ニーズを踏まえた学校図書館との連携のありかたの検討(検討事項)										市内小中学校からの学校教育支援用団体貸出の取りまとめを行い、ニーズの把握を行った。
		*児童・生徒の学習活動とリンクした情報アクセス・活用手法の紹介			<ul style="list-style-type: none"> ■学校司書と教員が協働した子ども向けの情報収集や情報活用方法の紹介授業の検討・実施 	■同左	■同左	□同左	□同左			学校図書館の利用オリエンテーションを学校司書が教員と協働して実施した。
		*学校図書館による新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成	従前の取り組みを継続	満足度調査結果(学校図書館の蔵書・居心地・利便性・学校司書・授業への貢献度など[子ども・教員対象])	<ul style="list-style-type: none"> ■学校図書館目録の新刊案内・おすすめ図書のパンフの作成・配布 	■同左	■同左	□同左	□同左			学校司書による新刊案内や図書だより、また、生徒と協働しての図書だより等を発行して配付・掲示した。
*それぞれの子どもに合った本の紹介			<ul style="list-style-type: none"> ■子どもとの積極的な会話を通じたニーズの把握とニーズと教育的な見地に基づく本の紹介 	■同左	■同左	□同左	□同左			学校司書はシステムを活用して児童生徒の図書館利用傾向や蔵書構成を把握に努めた。 また、特集コーナーの設置、図書委員によるおすすめ本の紹介など、生徒の読書への興味関心を促した。		

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
子ども読書活動の推進	a. 読書習慣の育成 学齢期の読書習慣を育てる(学校図書館支援)	* 小学校の学校図書館支援			■小学校の司書教諭への学校図書館運営に係る情報提供とアドバイス	■同左	■同左	□同左	□同左	学校司書の配置9校区の小学校(15校)で学校図書館のレイアウト変更を学校司書・教職員との協働で実施した。学校司書は校区内小学校の求めに応じて授業支援、図書館利用オリエンテーション、寄贈図書の入力作業、環境整備作業等を実施した。	
		* 教員の授業づくりの支援			■学習指導要領を踏まえた学校司書による教員の授業づくりの支援	■同左	■同左	□同左	□同左	学校司書が受けた教員からの資料相談・レファレンス・授業支援件数：582件(19中学校合計) 市立図書館 学校教育支援用団体貸出受付件数：307件(小中学校合計)	
		* 学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討			■学校図書館の開館時間帯・開館日数の拡大可能性の検討	■同左	■同左	□同左	□同左	放課後開館の実施校：9中学校 特別開館の実施校：19中学校	
子ども読書活動の推進	b. 情報活用能力の育成	図書館における情報活用能力育成	子ども向け図書館活用講座の開催	30年度以降継続	開催の有無及び回数・参加者数			■子ども向け図書館活用講座の開催	□同左	□同左	「子ども書連続講座 めざせ ジュニア ライブラリアン」を開催した。(3回 参加者27人)
		学校における情報活用能力育成支援	図書館を活用した教員の授業作り支援	30年度以降継続	資料提供回数・冊数			■学校図書館を活用した授業づくりを学校司書が支援	□同左	□同左	学校図書館を活用した授業時間数：1221時間(19中学校合計)
		学校と連携した情報活用能力育成	調べ学習コンクールなど学校教育部との共催による各種連携事業の推進	従前の取り組みを継続	開催の有無及び回数・参加者数	■調べ学習コンクール・朗読大会ほか、学校教育部との共催事業の実施	■同左	■同左	□同左	□同左	「第7回中学生の調べ学習コンクール」 11/17-12/16実施、出席：中学生158人 「第6回ここをつたえよう！ひらかた朗読大会」 1/20実施、小中学生29人出場 「第4回中学生のピブリオバトル」 3/17実施、参加126人
c. 推進計画策定	第3次子ども読書活動推進計画の策定	第3次グランドビジョンを踏まえた第3次子ども読書活動推進計画の策定	28年度達成予定	計画の策定・未策定	■推進計画策定					平成29年度に策定済み	

【運営方針④】魅力的かつ効果的・効率的な運営体制を構築します

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
a. 各図書館施設の 役割分担と連携	中央図書館	全館の司令塔機能を果たす	28年度以降継続	各種サービス（児童・障害者サービス、学校図書館支援等）のセンター機能を果たす	<ul style="list-style-type: none"> ■市立図書館のサービス種別単位の明確化 ■サービス種別単位ごとのマネジメント体制の確立 ■サービス種別単位ごとのサービス方針の策定 ■サービス方針の全館共有化 	■同左	■同左	□同左	□同左	<p>(児童サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次枚方市子ども読書活動推進計画に基づき、乳幼児から中学生までの読書活動を全館で推進した。 ・子ども読書活動推進事業として、子ども読書週間期間に全館で「ひらかた絵本まつり」に取り組んだ。 <p>(障害者サービス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者サービス全般に関わる事業の企画及び調整、点字・録音資料等の相互協力窓口業務、全館の対面読書の日程調整を行なった。また、障害者サービス用資料の自館製作に関わる図書館協力者（音訳）の養成講座を行った。13人参加。 また、各分館の担当者及び分室職員を対象に「障害者サービス基本研修会」を実施し、障害者サービスに関する基本的な情報の共有化と事務手続きの確認を行った。 ●対面読書実利用者・実施回数 全館 16名357回（うち、中央のみ6名96回） ●録音図書個人貸出タイトル数 中央 4484タイトル（うち、相貸による提供4219タイトル） <p>(学校図書館支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への団体貸出図書本事業として小学校30校に1校210冊を学期ごとに団体貸出して搬送した。 ・平成29年度は、子どもに本を届ける事業として小学校45校に1校50冊を学期ごと（2学期・3学期）に団体貸出して届けたが、団体貸出という形態を見直した。当該貸出に使用していた本は除籍し、小学校の学校図書館蔵書として届けた。また、平成30年度の子どもに本を届ける事業の予算で小学校45校に各50冊程度の本を購入し、学校図書館蔵書として届けた。 ・調べ学習用団体貸出の名称を変更し、学校教育支援用団体貸出とした。依頼件数は、小中学校307件で、10,559冊貸出した。うち、学校園連絡便（別便）を活用して105件、学校へ配送した。また、資料充実のため、子どもに本を届ける事業の予算で百科事典を3セット36冊を中央図書館所蔵として購入し、貸出を行うこととした。 ・子どもに本を届ける事業の予算で自動車文庫として、ファミリーポート・すこやか広場巡回用の児童書を244冊購入した。
				市民ニーズの把握と図書館サービスノウハウの蓄積	<ul style="list-style-type: none"> ■専門的なサービス提供及び図書館政策の企画・立案能力の維持・育成のためのサービスノウハウの蓄積及び市民ニーズの把握 	■同左	■同左	□同左	□同左	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口アンケート、スマホアンケート等を実施し、市民ニーズの把握に努めた
				図書館政策の企画・立案	<ul style="list-style-type: none"> ■図書館政策の企画立案体制の構築 	■左記体制を維持	■左記体制を維持	□左記体制を維持	□左記体制を維持	<ul style="list-style-type: none"> ・香里ヶ丘図書館建て替えに伴う、自動車文庫代替サービスの開始。（館外） ・分室見直しに係る地域での説明会の開催。2回 ・（選書分）選書会議の日程や手法について見直し、全館バランスを意識した効率的な体制を構築した。 ・高齢化に伴う音訳協力者の減少の対策として初級音訳講習会を実施し、新しい人材の確保に努めた。 ・図書館サービスとしては未確立の部分が多い発達障害者に対する理解と読書ニーズを知ることがを目的に学習障害講演会を継続的に実施。 ・一般の利用者、特に児童を対象に障害やバリアフリーの理解を深めてもらうことを目的にバリアフリー体験イベントを実施。
				指定管理者制度導入後の分館の運営状況のチェック	<ul style="list-style-type: none"> ■指定管理者の評価基準及び評価手法の確立 ■モニタリングの実施 ■定期的な連絡調整会議の開催 	■同左	■同左	□同左	□同左	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準となるモニタリングシートを作成し、モニタリングを実施した。 ・毎月開催する分館長会議において、定期的な連絡調整を行った

取り組みの方向	施策		具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況			
						平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
a. 各図書館施設の役割分担と連携	中央図書館	全館の司令塔機能を果たす	選書の拠点機能を果たす	28年度以降継続	中央図書館を核とした選書方法の確立・未確立	<input type="checkbox"/> 蔵書計画の改訂 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度導入を前提とした中央図書館を核とした選書システムの確立	<input checked="" type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施	<input type="checkbox"/> 左記に基づく選書の実施	29年度に改訂した蔵書計画に基づき、分類別の所蔵状況や利用状況などを参考に中央図書館を核としたバランスのとれた資料収集を行った。		
b. 効果的・効率的な図書館運営	生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入	生涯学習施設と図書館の一体的な運営	蹠陀・牧野の複合施設への制度導入	28年度達成予定	制度導入の実施・未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 制度導入（蹠陀・牧野）						平成28年4月に蹠陀・牧野図書館に指定管理者制度を導入した。		
			蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への制度導入	30年度達成予定	制度導入の実施・未実施		<input checked="" type="checkbox"/> 制度導入（蹠陀・牧野・楠葉・菅原・御殿山・津田）					蹠陀・牧野を含む複合施設6施設への指定管理者制度の導入した。		
			民間ノウハウを活かしたサービス向上	28年度以降継続	満足度調査	<input checked="" type="checkbox"/> さまざまなイベントの開催 <input checked="" type="checkbox"/> 直営館とのジョイントイベントの開催 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習市民センターとのコラボ事業の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<ul style="list-style-type: none"> 地域歴史講座など、さまざまなイベントを実施した。 センター実施事業の関連図書を展示するなど、センターとコラボした事業を実施した 	
	生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度の導入	制度導入により生み出した資源（人材・物・予算）によるサービス向上	子ども読書活動の推進		学校司書派遣校数	<input checked="" type="checkbox"/> 10校への学校司書派遣	<input checked="" type="checkbox"/> 10校への学校司書派遣	<input checked="" type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣	<input type="checkbox"/> 19校への学校司書派遣	10中学校区に加えて9中学校区に学校司書を配置し、枚方市内全中学校区に学校司書配置が完了した。	
			開館時間帯の延長・開館日数の増加	28年度以降継続	* 時間帯・日数の増加の実施・未実施 * 増加分及び全体の利用状況	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理館での開館時間帯の延長・開館日数の増加 <input checked="" type="checkbox"/> 日数・時間帯の増加・延長に伴う利用状況調査の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 中央図書館における開館日数の増加、開館時間帯の拡大の可能性の検討	<input checked="" type="checkbox"/> 利用状況調査の結果を踏まえた多くの効果が期待できる指定管理館での開館時間帯の延長・開館日数の増加 <input type="checkbox"/> 中央図書館における開館日数の増加、開館時間帯の拡大に係る検討結果を踏まえた対応	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理館において、開館時間帯・開館日数の拡大を行い、開館時間数が従来の約1.5倍となった。 利用状況調査を行い、入館者数・貸出冊数ともに増加したことが判明した。 	
			中央図書館の司令塔機能の強化		司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 各サービス種別等を踏まえたグループ編成など、司令塔機能を果たすにふさわしい管理運営体制の構築	<input checked="" type="checkbox"/> 全館一体となったサービス提供に必要なサービス種別等を踏まえたグループ編成	<input checked="" type="checkbox"/> 各グループをより有効に機能させるために必要な管理運営体制の検討	<input checked="" type="checkbox"/> 検討結果を踏まえた管理運営体制の構築に向けた取り組み	<input type="checkbox"/> 左記の継続	<input type="checkbox"/> 左記の継続	<input type="checkbox"/> 左記の継続	<input type="checkbox"/> 左記の継続	学校司書配置校の増加に伴い、学校図書館支援グループの体制整備を行った。 サービス種別単位のグループ編成を継続した
			資料の充実	28年度以降継続	資料費	<input checked="" type="checkbox"/> 生み出した資源に見合った資料費の確保と資料の充実	<input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<ul style="list-style-type: none"> 効率的な図書館運営を求められる中、昨年度と同額の図書費を維持した。 「子どもに本を届ける基金」から350万円を予算化し、図書2446冊を購入。なお、平成29年度は、子どもに本を届ける事業として小学校45校に1校50冊を学期ごと（2学期・3学期）に団体貸出して届けたが、団体貸出という形態を見直し、当該貸出に使用していた本は除籍し、小学校の学校図書館蔵書として届けた。また、平成30年度の子どもに本を届ける事業の予算で小学校45校に各50冊程度の本を購入し、学校図書館蔵書として届けた。

取り組みの方向	施策	具体的な取り組み	今後の予定 (数値は平成)	評価指標	目標とする到達点					平成30年度末の 進捗状況	
					平成28年度	29年度	30年度	31年度	32年度		
b. 効果的・効率的な図書館運営	市立図書館コンピュータシステムの更新と情報関連機器のさらなる導入の検討	市立図書館コンピュータシステムの更新と学校図書館システムとのオンライン化	28年度以降継続	*システム更新の実施・未実施 *学校図書館システムとのオンライン化の実施・未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 市立図書館コンピュータシステムの更新 <input checked="" type="checkbox"/> 学校図書館システムとのオンライン化 <input checked="" type="checkbox"/> 学校図書館の利用状況の学校への情報提供と状況分析に基づく魅力ある蔵書の構築	<input checked="" type="checkbox"/> システムの運用 <input checked="" type="checkbox"/> システムの運用 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	児童生徒用端末を更新するため平成31年度の予算化を検討した。
d. 職員の知識・技術・能力の育成・継承	核となる専門的スタッフの計画的な育成	専門的な知識・技術を持ったスタッフの計画的な育成（図書館内部での研修実施・外部研修への職員派遣）（研修内容事例）	28年度以降継続	育成研修開催・派遣回数及び参加者数							<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府図書館司書セミナーへの参加（延べ30人） ・大阪府図書館司書セミナー（基本編）への参加（延べ17人）
		*レファレンス・IT関連の研修			<input type="checkbox"/> 育成計画に基づくレファレンス・IT関連の研修の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービスに関するレファレンスについて研修を実施した（講師：大阪府立図書館職員、55人参加） ・参考業務実務研修参加（OLA主催 参加1） 	
		*選書技術関連の研修			<input type="checkbox"/> 育成計画に基づく選書技術関連の研修の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	蔵書や利用状況など、選書に関連するデータを共有化するとともに、選書会議やリクエスト検討会議などを通じ、選書に係る知識の向上を図った。	
		*子ども読書活動関連の研修			<input type="checkbox"/> 育成計画に基づく子ども読書活動関連の研修の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	児童書の書評作成や読み聞かせの研修を行った。（4回 134人参加） 府立レファレンス研修 55人 分室研修（読み聞かせ/正置友子） 38人 YAリスト書評 35人 紙芝居講座 6人 OLA児童サービス基本研修（参加3） OLA児童サービス実務研修（参加1）	
		*行政職員としての知識・技術関連の研修			<input type="checkbox"/> 育成計画に基づく行政職員としての知識・技術関連の研修の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	市内外の行政職員研修への積極的な参加を行った。	
		*図書館政策の企画・立案関連の研修			<input type="checkbox"/> 育成計画に基づく図書館政策の企画・立案関連の研修の実施	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	今後の図書館政策を企画するための情報収集のため、先進都市派遣研修やビジネスライブラリアン研修などの参加を行った。	
	専門的スタッフの計画的な配置	現在まで蓄積した知識・技術の継承と向上が可能な体制の構築	28年度以降継続	専門的スタッフの司書率	<input type="checkbox"/> 計画的な専門職員の育成と配置						ジョブローテーションにより、正職員、再任用職員、任期付職員を含めた知識・技術の継承と向上を図った。

平成30年度 職員研修受講一覧

	No.	研修名	月 日	主催	研修主催者名
図書館研修	1	おはなし会・わらべうた研修	4月24日	中央	枚方市立中央図書館
	2	OLA H30年度児童サービス基本研修	6月22日	外部	大阪府立中央図書館
	3	平成30年度大阪府図書館司書セミナー基本編(1)	7月5日	外部	大阪府立中央図書館
	4	平成30年度大阪府図書館司書セミナー基本編(2)	7月20日	外部	大阪府立中央図書館
	5	ビブリオバトル研修	7月24日	外部	大阪府教育庁
	6	平成30年度全国書誌データ・レファレンス協同データベース活用研修会「百花繚乱！ガーデニングの世界」	8月17日	外部	国立国会図書館
	7	平成30年度大阪府図書館司書セミナー	9月6日	外部	大阪府立中央図書館
	8	これからのまちづくりに求められる図書館の役割&NDLサーチ	9月25日	中央	枚方市立中央図書館
	9	国立国会図書館集合研修「資料保存研修」	9月28日	外部	国立国会図書館
	10	OLA第一回研修会「公共図書館として次の地震に備えてすべきこと」	10月5日	外部	大阪公共図書館協会
	11	ボランティア修理講習会	10月10日	中央	枚方市立中央図書館
	12	図書館資料の修理	10月12日	外部	大阪府立中央図書館
	13	平成30年度大阪府図書館司書セミナー	11月21日	外部	大阪府立中央図書館
	14	大阪府立図書館「出前講習」児童サービスにおけるレファレンス	11月27日	中央	枚方市立中央図書館
	15	講演会「おはなしのせかいで子どもたちと遊ぼう でこぼこ工房 森島孝さんの『おはなし組木』と『おはなし牛乳パック』の話」	1月13日	外部	大阪府立中央図書館
	16	乳幼児向け絵本講座	1月22日	中央	枚方市立中央図書館
	17	参考業務基礎研修	2月1日	外部	大阪府立中央図書館
	18	先進都市派遣研修	11月13日～14日	外部	人事課
	19	第14回LLブックセミナー LLブックを進める	1月27日	外部	知的障害・自閉症児者のための読書活動を進める会・(共催)大阪市立中央図書館
	20	ビジネスライブラリアン講習会	2月25日～27日	外部	
	21	データ利活用研修(データアカデミー)(1)	8月20日・21日	庁内	情報推進課
	22	紙芝居ボランティア講座	9月20日・27日	中央	枚方市立中央図書館
	23	展示論講座	9月6日～8日	外部	展示論学会
	1	平成30年度指導者育成研修	4月10日	庁内	人事課
	2	防火管理者講習会	5月17日～18日	外部	枚方寝屋川消防署
	3	新入任期付・非常勤職員研修	5月22日	庁内	人事課
	4	避難所職員研修	6月5日	庁内	危機管理室

職員研修	5	統合型地図情報システム活用研修	6月24日	庁内	情報推進課
	6	性別って2つだけ？	7月25日	庁内	枚方人権まちづくり協会
	7	青色防犯パトロール講習会	7月25日	庁内	危機管理室
	8	環境マネジメントシステム日常研修	10月4日	中央	枚方市立中央図書館
	9	広報担当者向け研修	10月25日	庁内	広報課
	10	救命講習会 応急手当普及員講習	11月19日～21日	外部	枚方寝屋川消防署
	11	統合型地図情報システム活用研修(応用)	11月29日	庁内	情報推進課
	12	LGBT研修	1月22日	中央	枚方市立中央図書館
	13	LGBT研修	2月7日	中央	枚方市立中央図書館
	14	公務員倫理研修	1月22日	中央	枚方市立中央図書館
	15	公務員倫理研修	2月7日	中央	枚方市立中央図書館
	16	安全運転講習会	1月23日	庁内	総務課
	17	個人情報漏えい防止研修	2月7日	中央	枚方市立中央図書館
	18	憲法研修	2月12日	庁内	人事課
	19	入札・契約に係る研修会(第1部)	3月1日	庁内	契約課
	20	入札・契約に係る研修会(第2部)	3月1日	庁内	契約課
	21	電子決裁システムに関する操作研修	2月14日	庁内	コンプライアンス推進課
	22	(OJT指導者向け)新人・若手のホウ・レン・ソウ強化研修	3月11日	外部	株式会社インソース
	23	業務フロー作成研修	9月3日	外部	株式会社インソース

(1) 子ども読書活動推進事業 (図書館主催)

(単位:人)

区分	行 事 内 容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
全 館	ひらかた絵本まつり (おはなし会)	4月23日～5月13日	職員・ボランティア	230	
	読書ボランティアのなつやすみおはなし会	7月14日～8月26日	ボランティア	600	
	夏やすみの「こわいはなし」	7月24日～8月11日	職員・ボランティア	260	
中 央 図 書 館	ひらかた絵本まつり (リアルミッケ「京阪バスをさがせ」)	4月23日～5月13日	職員	334	
	子ども夢基金活用事業プレイベント 手話出前講座「手話を一緒に学んでみませんか?」	西長尾小:5月12日 小倉小:5月23日 津田小:5月24日	職員	93 90 106	
	子ども夢基金活用事業 言葉をつかわないコミュニケーション・ワークショップ	7月7日	(株)サイレントボイス 代表取締役 尾中友哉 他	42	
	子ども夢基金活用事業講演会 「リュウグウからの玉手箱」	7月21日	JAXA准教授・山田 哲哉	97	
	子ども夢基金活用事業ワークショップ 「傘袋ロケットをつくろう」	7月22日	職員	112	
	子ども夢基金活用事業展示会 「めざせ宇宙」・宇宙服試着会	7月28日～8月12日	—	1,433	
	子ども司書連続講座 (全3回)	8月7日～9日	職員	27	
	「紙芝居を演じてみよう!紙芝居ボランティア養成講座」 (全2回)	9月20日・27日	紙芝居サークルよっちゃん 南 純子	37	
	紙芝居deおはなし会 (紙芝居ボランティア養成講座実演)	10月28日・11月3日 11月4日・2月24日 3月24日	ボランティア	142	
	バリアフリー体験会 (ワークショップ) 「さわって!みて!きいて!五感をつかってあそんでみよう!」	11月4日	職員	496	
	第7回中学生の調べ学習コンクール 展示	11月17日～12月16日	-	158	
	第7回中学生の調べ学習コンクール表彰式	12月16日	職員	30	
	事前学習会「朗読を楽しく学ぼう」	12月26日	関西朗読家クラブ代表 端田 宏三	43	
	第6回こころをつたえよう!ひらかた朗読大会	1月20日	審査委員長:端田 宏三 職員	89	
	子ども読書活動推進ボランティア交流会	2月21日	職員	52	
	子ども読書活動推進ボランティア研修会 「えほんのひろばの実際」	2月21日	子ども読書活動推進ボラン ティア連絡会 ゆるよこ	52	
	子ども読書活動推進ボランティア研修会 実習「本がぎょうさんならんだら」	2月23日・24日	職員・ボランティア	327	
	多言語おはなし会	3月10日	Tatiana Sezonenko, David William Johnson	44	
	世界のバリアフリー児童図書展	3月11日～17日	—	129	
	第4回中学生のビブリオバトル	3月17日	職員・学校司書	126	
	おはなし会	第1・2・3・5土曜日	職員	932	
	おはなしひろば (乳幼児向け)	第2・第4水曜日	職員	537	
	手話でたのしむおはなし会	第4土曜日 (全12回)	職員	286	
	楠 葉	おはなし会	毎週土曜日	職員	372
		おはなし会 (乳幼児対象)	第2水曜日	職員	115
		ヨネヤンのおはなしと工作の会	8月7日	(株)一声社・米山 傑	12
		夏休み工作会 (2部構成)	8月11日	職員	25
		子ども向け福袋	1月5日～15日	職員	49
	菅 原	定例おはなし会	毎週水曜日・土曜日	職員	629
		おはなしと工作の会	8月7日	(株)一声社・米山 傑	12
ガラス窓に絵を描こう		8月5日・11月4日・1月6日	職員	40	
読書感想画を描こう		8月19日	職員	10	
	本の福袋	1月5日～12日	職員	70	

区分	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
津 田	おはなし会	毎週土曜日	職員	271
	おはなし会スペシャル	毎月の最終土曜日	職員	92
	七夕飾りつけ	7月1日～7日	職員	97
	「ペットボトルでスノードームを作ろう！」	8月16日	職員	32
	センター主催の「夏休み！宿題大作戦 お出かけガス科学館」での関連図書の出	8月18日	職員	8
	クリスマスツリーに星形短冊飾りつけ	12月5日～26日	職員	216
	スタンプラリー	1月4日～31日	職員	347
	子ども向け福袋	1月5日～15日	職員	65
	ヨネヤんのおはなし&こうさくの会	2月9日	(株) 一声社・米山 傑	20
	つだフェスタ2019 折り紙遊び、図書館の本で調べるクイズ	3月24日	職員	154
御殿山	おはなし会	毎週土曜日・日曜日 (計93回)	職員・ボランティア	596
	おはなし会スペシャル	10月27日・28日・ 11月3日	職員	47
	ひらかた絵本まつり（おはなし会スペシャル工作「こどものひ こうさくのかい」）	5月4日・5日	職員	12
	ひらかた絵本まつり（リアルミッケ・京阪電車をさがせ！）	5月4日・5日・6日	職員	42
	御殿山フェスタ おはなし会	6月9日	職員	25
	リアルミッケ・京阪電車をさがせfile2	7月19日～29日	職員	114
	図書館員のおすすめブックリストの配布	7月20日～8月26日	職員	-
	夏休みこどもこうさくのかい	7月21日	職員	20
	みんなで大きな海と生き物をつくろう (美術センター主催事業)	8月5日	美術センター職員 (図書館は絵本の読み聞かせ を担当)	18
	夏休み宿題大作戦	8月20日・21日	職員 美術センター職員	24
	子ども向け本の福袋(90冊)	1月5日・6日	職員	-
	ヨネヤんのおはなし&こうさくの会	2月9日	(株) 一声社・米山 傑	12
牧 野	おやこで楽しむおはなし会（乳幼児対象）	第3水曜日	職員	145
	おはなし会	毎週土曜日	職員	246
	青空おはなし会	5月5日	職員	13
	絵本の広場	6月16日・17日	職員	189
	折り紙を楽しもう	6月30日・9月29日 3月30日	職員	34
	夏休み工作会	7月22日	職員	8
	じどうわくわく袋	10月27日～11月9日	職員	50
	クリスマスファミリーコンサート	12月24日	田中 あつ子 矢吹 直美	80
	人形劇フェスティバル・パフォーマンス コーナーミニおはなし会	3月23日	職員	30
	蹉 跎	おはなし会	毎週土曜日	職員
おはなし会（乳幼児対象）		第1・3水曜日	職員	230
ひらかた絵本まつり（本のおたのしみ袋）		4月24日～5月5日	職員	40
Let's play ボードゲーム		5月26日・8月26日・1月6日	職員	115
ぬいぐるみの図書館おとまり会		7月22日	職員	34
おにいさんのおはなし会		6月17日	職員	7
夏のおたのしみ会「かんたんモーターをつくろう」		7月30日	関西電気保安協会職員	12
夏のおたのしみ会「むくむくおばけ」		8月4日	職員	19
今日は一日おはなし三昧		10月27日	職員	52
レッツメイク&プレイボードゲーム		10月28日	渡辺 彰	4
ハロウィーンおはなし会		10月31日	職員	12
めりちゃんのパルーン教室		11月3日	めりちゃん	41

区分	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
図書館	みんな集まれ!! Let's enjoy Christmas☆	12月15日	千田 やすし	29	
	本の福袋	1月4日～12日	職員	85	
	節分おはなし会	2月2日	職員	14	
	春のおたのしみ会	3月21日	職員	29	
分室	枚方公園	ひらかた絵本まつり (しおりのプレゼント他)	4月23日～5月13日	職員	134
		おはなし会 他	毎週水曜日他	職員	230
		えほんの会 (乳幼児対象)	第2木曜日	職員	118
	村野	おはなし会・工作他	毎週水・土曜日他	職員	472
		秋の図書館まつり (おはなし会)	10月27日～11月9日	職員	17
		秋の図書館まつり (リサイクル市)	10月27日～11月9日	職員	35
		秋の図書館まつり (おすすめ本・しおりのプレゼント)	10月27日～11月9日	職員	27
	藤阪	おはなし会・工作他	毎週土曜日他	職員	262
		おはなし会 (乳幼児対象)	第1金曜日	職員	12
		秋の図書館まつり行事 (「秋の本をさがそう」他)	10月27日～11月9日	職員	97
	香里園	おはなし会・工作他	毎週水曜日他	職員	489
		ひらかた絵本まつり (ぼくのわたしのおすすめのほん)	4月25日～5月12日	職員	28
		秋の図書館まつり (おはなし会)	10月31日	職員	3
		秋の図書館まつり (読書クイズ)	10月27日～11月9日	職員	45
		おはなし会 (乳幼児対象)	第1金曜日	職員	46
	宮之阪	秋の図書館まつり	10月27日・31日・11月7日	職員	2
		おはなし会・工作他	毎週水・土曜日他	職員	271
	東香里	おはなし会・工作他	毎週土曜日他	職員	387
		ひらかた絵本まつり 工作「こいのぼりをつくろう」	4月28日	職員	15
		秋の図書館まつり (読み聞かせプラスおりがみ)	10月31日	職員	5
	氷室	おはなし会・工作他	毎週土曜日他	職員	409
		おはなし会 (乳幼児対象)	毎週木曜日	職員	106
		秋の図書館まつり	10月27日	職員	3
		七夕行事	6月27日～7月7日	職員	30
		おりがみ教室	8月6日・20日・27日	職員	28
	茄子作	おはなし会 (乳幼児対象)	第2・4木曜日	職員	12
		おはなし会・工作他	毎週水曜日他	職員	163
ひらかた絵本まつり (スペシャルスタンプ)		4月23日～5月13日	職員	47	
秋の図書館まつり (スペシャルスタンプ)		10月27日～11月10日	職員	65	
釈尊寺	おはなし会・工作他	毎週水・土曜日他	職員	980	
	おはなし会 (乳幼児対象)	第2金曜日	職員	10	
	その他行事	6月27日～7月7日他	職員	43	
合 計				16,822	

(2) ボランティアによるおはなし会 (子ども読書活動推進事業)

(単位:人)

区分	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数		
図書館	中央	ひらりんかたりんおはなし会	第1木曜日・第2火曜日・ 第3水曜日・第4月曜日・ 第4土曜日	ひらりんかたりん	527	
		ほっぺちゃんおはなし会	第4木曜日	ほっぺちゃん	99	
		おはなしソラシド	偶数月第3日曜日	ホリデーおはなし会	129	
	楠葉	おはなし会	第4土曜日	くずはおはなしを語る会	131	
		春のおはなし会	3月21日	おはなし会あいうえお	31	
	御殿山	おはなし会	毎月第1水曜日 (計8回)	紙芝居サークルよっちゃん	30	
		なつやすみおはなし会	8月8日	紙芝居サークルよっちゃん	13	
		なつやすみおはなし会	7月21日	月曜会	20	
		ふゆのおはなし会	12月15日	月曜会 職員	17	
		はるのおはなし会	3月16日	月曜会 職員	17	
	津田	なつのおはなし会	7月14日	おはなしサークル 月曜会	14	
		ふゆのおはなし会	12月8日	おはなしサークル 月曜会	18	
		はるのおはなし会	3月9日	おはなしサークル 月曜会	10	
	牧野	えほんのおはなし会	第4水曜日・第4土曜日	牧野おはなし「かくれんぼ」	101	
	蹉跎	おはなしなーじょおはなし会	第4日曜日	おはなしなーじょ	87	
	分室	枚方公園	おはなしふうせんのおはなし会	第2土曜日	おはなしふうせん	82
		藤阪	ぼけっとの会のおはなし会	第3土曜日	ストーリーテリング ぼけっとの会	41
		香里園	おはなしメリーさんのおはなし会	第1土曜日	おはなしメリーさん	60
宮之阪		ビスケットの会のおはなし会	第3土曜日	ビスケットの会	12	
合 計				1,439		

(3) 成人対象の行事

(単位：人)

区分	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数
図 書 館	大人の学校「枚方の遺跡」	4月18日	文化財課職員 竹原 伸仁	55
	大人の学校「脳を活性化して充実ライフ」	6月13日	保健センター職員	38
	手話ブックトーク	6月17日・11月17日 3月17日	職員	125
	平和ライブラリーコンサート	8月4日	ピアニスト 池田 純子 ソプラノ歌手 安部 り麻	108
	大人の学校「鶴島昭雄さんに聞く戦争体験」	8月21日	鶴島 昭雄	28
	大人の学校「ろう者の歴史&手話講座」	9月18日	中央図書館職員 山元 亮	47
	中央図書館バックヤードツアー	10月28日午前	職員	20
		10月28日午後		23
	大人の学校「①民具としての箱を考える ②現地見学会」	①10月30日	文化財課職員 武知 邦博	18
		②11月2日		3
	「天使のいる図書館」上映会	11月3日午前	-	20
		11月3日午後		35
	大人の学校「国内友好都市の紹介」	11月7日	産業文化政策課職員 川嶋 徹也	13
	大人の学校「百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録」	12月18日	百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議事務局 職員 福田 英人	38
	クリスマスライブラリーコンサート	12月23日	ヘルマンハーブの森代表 森 ひろみ	185
	バリアフリー映画上映会 上映作品「もういちど」	1月19日	職員	57
	大人の学校「ネットの情報セキュリティ」	1月29日	総合技術士連合 梶巻 正男	29
	大人の学校「楽10体操でリフレッシュ」	2月20日	枚方体育協会 倉田 智栄子	40
	公開講座「学習障害って何だろう？読み書き障害の特徴と支援方法の実際」	2月17日	金沢星稜大学人間科学部教授 河野俊寛	54
	大人の学校「ネコの正しい飼い方」	3月5日	(株) イン・クローバー主任 ケアスタッフ 関 拓真	31
平和ライブラリーコンサート春	3月10日	サクソフォン奏者 山添 悟 ピアニスト 大迫 朋子	111	
楠 葉	よるとしよ：講演会（「豊かな人生を送るために」）	10月27日	大阪府金融広報委員会 森島 憲治	16
	講演・実演・交流会（「錯覚 3Dアートの世界」）	3月3日	3Dアート画家・絵本作家 永井 秀幸	30
菅 原	ボッチャ体験会	10月20日	職員	40
	本の福袋	10月27日～11月10日	職員	170
	大人のぬり絵	3月3日	(株) サクラクレパス 柴 正幸	22
	ものがたりCooking	3月17日	山田 和子	20
津 田	大人の福袋	10月27日～11月11日	職員	105
	私のおすすめ本	11月27日～12月15日	職員	89
	「元昭和天皇の料理番 谷部金次郎氏による講演会」関連図書紹介・展示・関連図書リスト配布	2月10日	職員	100

区分	行事内容	実施日・期間	講師・出演者等	参加延人数	
図書館	大人の塗り絵 「マーブリングであなただけのbookカバーを作ろう！」 つだフェスタ2019リサイクルブック市	2月24日	(株) サクラクレパス 柴 正幸	20	
		3月17日	墨運堂講師	16	
		3月24日	職員	68	
	御殿山	御殿山フェスタ ブックコート体験	6月9日・10日	職員	14
		御殿山フェスタ リサイクル雑誌市	6月9日・10日	職員	74
		本の福袋 (96冊)	10月27日～11月9日	職員	…
		第1回 御殿山ビブリオバトル	11月4日	バトラー5人	36
		大人の塗り絵	2月24日	(株) サクラクレパス 柴 正幸	21
		マナビスト講座「御殿山の歴史と日本の歌」(美術センター主催事業)	3月10日	御殿山神社宮司 片岡 伸介 (図書館は司会とブックリスト作成を担当)	64
	牧野	第5回地域歴史講座	6月10日	堀家 啓男	45
		第6回地域歴史講座	9月15日	鍵屋資料館学芸員 片山 正彦	47
		第2回牧野地域歴史セミナー	8月29日	片碓神社宮司 岡田 広幸	120
		招堤を歩く	10月7日	堀家 啓男 谷 勝巳	12
		くずし字講座	10月9日・16日・23日・30日	鍵屋資料館学芸員 片山 正彦	65
		大人のための朗読会	4月11日・7月18日	牧内 多美子	43
		朗読を楽しむ	11月7日・12月5日 1月9日・2月6日 3月6日	牧内 多美子	70
		大人のためのえほんのおはなし会	1月30日	牧野おはなし「かくれんぼ」 職員	26
		大人の塗り絵教室	11月3日	登内 敬子	19
		鉄道おもしろ講座	2月23日	谷口 保孝	31
		バリアフリー映画会「愛を積むひと」	3月21日	-	111
	蹉跎	第4回地域歴史講座	4月27日	上野 幸夫	16
		本・雑誌のリサイクル市	5月27日・11月4日	職員	84
		くずし字講座	9月7日・14日・21日・28日	鍵屋資料館学芸員 片山 正彦	68
		さだまちあるき倶楽部第1回防災まちあるき	10月15日	枚方寝屋川消防組合職員	11
		大人の読書手帳	10月27日～11月12日	職員	50
		本と親しむワークショップ	11月2日	福田 容子	7
		第5回地域歴史講座	12月19日	上野 幸夫	25
		本の福袋	1月4日～12日	職員	25
	鉄道おもしろ講座	2月2日	谷口 保孝	38	
	分室	枚方公園	成人読書会	第3金曜日	職員
村野		成人読書会	第3水曜日	職員	35
		成人読書会アリスの会	第2水曜日	職員	24
藤阪		成人読書会ティッチの会	第3水曜日	職員	41
		手話の会	第2・4月曜日	職員	84
香里園		成人読書会	第3月曜日	職員	53
		手話の会	第2・4金曜日	職員	102
氷室		成人読書会	月1回	職員	41
茄子作	成人読書会	月1回	職員	43	
合 計				3,344	